

東アジアと我が国との関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成 (九州圏の個性と魅力を創出する国際交流・協力の推進 (その1))

- 東アジアの中で九州圏の個性と魅力を創出していくため、九州を舞台とした多彩な国際イベントや海外の自治体との国境を越えた地域レベルでの友好関係の構築等により、東アジアと我が国との特色ある多彩な交流を先導的に推進する。
- アジアにおける国際的な交流拠点の形成・強化に向けて、国際交流機能、コンベンション機能等の充実・強化を図る。

<アジアとの交流を基軸とした国際交流・連携の推進 (イメージ) >



【九州圏を舞台とした国際イベントの推進 (事例)】

【福岡アジアマンス】

福岡市では、福岡アジア文化賞、アジアフォーカス・福岡国際映画祭、アジア太平洋フェスティバル福岡など、アジアの文化、芸術、学術を中心に集中的にイベントを行う福岡アジアマンスを通じて国際交流を推進している。



福岡アジアマンス (福岡市)
出典 (C)ASIAN MONTH COMMITTEE 2008

【海外の自治体との国際交流・連携の推進 (事例)】

【アジア太平洋都市サミット】

アジア太平洋地域の都市間問題の解決に向けた相互協力と都市の一層の発展に向けたネットワークを構築するため、首長が一同に会する市長会議と実務者会議を交互に隔年で実施している。現在13カ国28都市が参加、事務局は福岡市。



アジア太平洋都市サミット (中国 大連市)

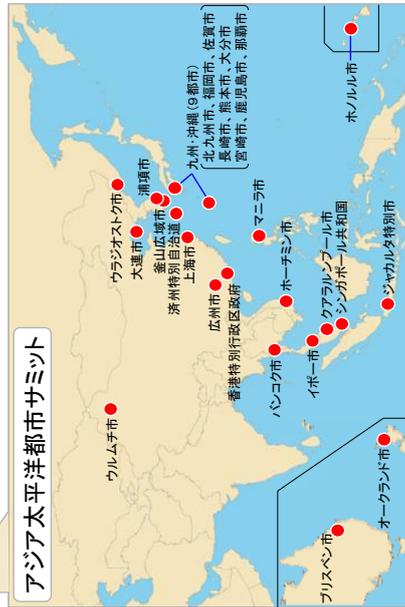
【アジアにおける国際的な交流拠点の形成・強化 (事例)】

【九州国立博物館における国際文化交流・情報発信機能の強化】

九州国立博物館は、展示及び博物館科学機能を担う独立行政法人と、アジア文化交流センターが連携・協力して管理運営を行っている。アジア文化交流センターでは、世界各国の生活文化を体験できる施設「あじつば」を運営するなど、国際文化交流・情報発信等の強化を進めている。



九州国立博物館内施設「あじつば」 (太宰府市)



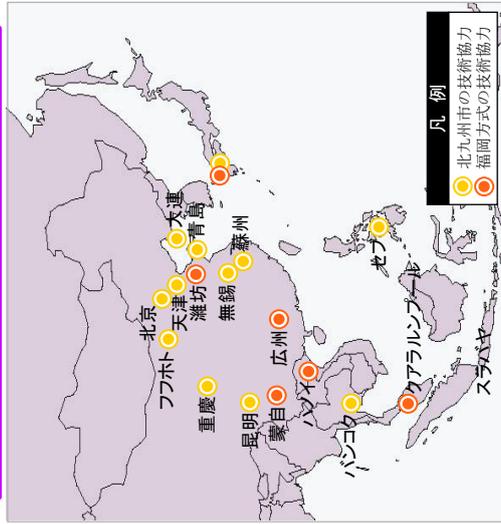
東アジアと我が国との関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成 (九州圏の個性と魅力を創出する国際交流・協力の推進 (その2))

- ・アジアの共通課題解決に向けた国際協力・貢献を推進していくため、九州圏が有する技術・経験を活かしながら、大学間連携、都市間協力を促進し、環境ビジネスを通じた連携への発展を図るなど、重層的な連携関係を構築していく。
- ・海外の自治体との技術協力や草の根交流等、各地域における国際的な課題解決に向けた取組を推進する。

＜九州圏が有する技術・経験を活かした国際協力・貢献の推進 (イメージ)＞

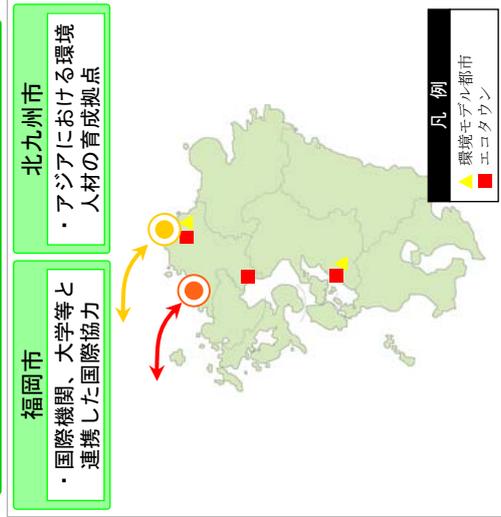
アジアにおける課題

- ・砂漠化防止・酸性雨
- ・循環経済・節約型成長方式
- ・廃棄物処理
- ・環境対策



九州圏のポテンシャル

- ・産業公害の克服
- ・エコタウン、環境モデル都市
- ・福岡方式(嗜好気性理立)の実績
- ・クリナーナードプロジェクトの集積



【九州圏が有する技術・経験を活かした国際協力・貢献の推進 (事例)】

【アジアの環境人材育成拠点形成事業】

北九州市では、エコタウン事業に代表される資源循環型社会形成に向けた北九州市ならではの環境研修コースを開発するなど、開発途上国の研修員受け入れや専門家派遣を行うことにより、アジア地域の環境人材育成の拠点となることを目指している。



プラントメンテナンス技術コース

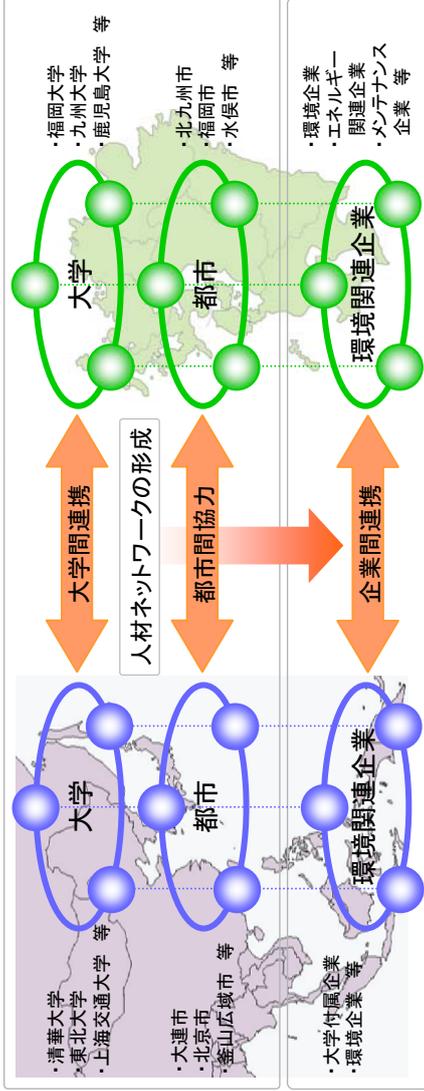
【嗜好気性理立構造(福岡方式)による技術支援】

発展途上国が、それぞれの都市廃棄物を環境に配慮して管理できるようにするため、福岡大学、福岡市、国連ハビタット福岡本部や国際協力機構 JICA 等の国際協力機関と連携し、嗜好気性理立構造(福岡方式)による技術支援を進める。



埋立場 (中国 濰坊市)

＜大学、都市間等における人的ネットワークの形成と環境ビジネスを通じた連携 (イメージ)＞



【海外の自治体と各地域における国際的な課題解決に向けた取組の推進 (事例)】

【水産資源分野の技術協力】

水産資源の回復と持続的利用を図るため、管理に関する地域レベルでの交流として、福建省や浙江省等の漁業代表団や研修生の相互派遣、漁業研究会の相互開催等の交流事業を推進する。



出典) 長崎県水産部「ゆめとびネットワーク」

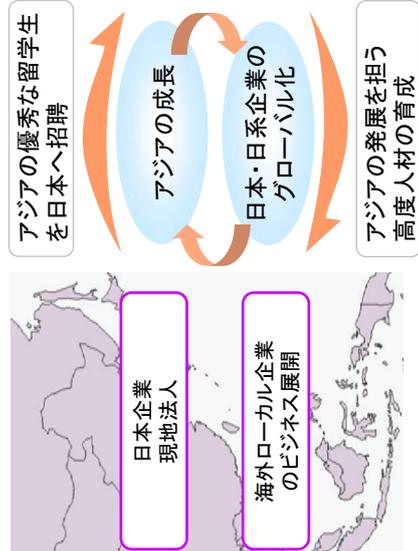
東アジアと我が国との関係をリードする魅力ある国際交流フロンティアの形成 (東アジア(環黄海)経済圏の確立とアジア規模の知的拠点の形成)

・21世紀の成長をリードしていくことが期待される東アジアの成長と連動した発展を図るため、経済活動・交流が活発化する環黄海地域を中心とした東アジア経済圏の確立を目指し、経済活動や主要都市間の活動において緊密な連携・協力関係を構築していくとともに、アジア規模の高度な知識・人材が集積する国際的に魅力ある環境の形成を促進していく。

＜アジア各国との産業・経済交流の推進(イメージ)＞



＜東アジアにおける高度人材交流の推進(イメージ)＞



【国際的な産業・経済交流の推進(事例)】

【環黄海経済・技術交流会議】

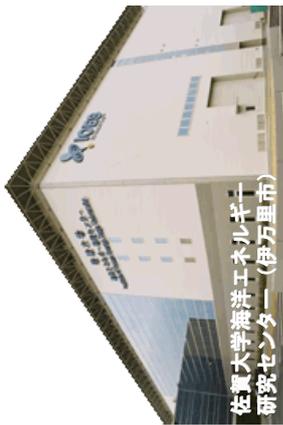
GDPベースでASEANを上回る経済規模を有する環黄海地域の発展に向けて、日本、韓国、中国の政府や関係自治体、経済団体、企業、研究者等が一堂に会し、貿易・投資、技術・人材等の相互協力について意見交換を行っている。



【アジアにおける国際的な研究開発・技術研修拠点の形成、強化(事例)】

【佐賀大学海洋エネルギー研究センター】

環境にやさしいエネルギーである海洋温度差発電の実用化に向けた基礎的及び応用的研究の総合的施設として、研究者・研究機関の国際交流と国際的な情報発信を行っている。



【アジアからの留学生を始めとする海外の高度な人材の活用(事例)】

【アジア人財資金構想】

我が国企業への強い就職意思を持ち、能力・意欲が高いアジア等の留学生に対し、ビジネス日本語教育からインターンシップ、就職支援までをパッケージングで提供し、産業界で活躍できる高度外国人材の育成を図る。



九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成 (カーアイルランドの形成)

- ・北部九州における自動車生産技術の蓄積等の優位性を九州全域に波及させるため、九州各地の工業用地等の確保、港湾、高規格幹線道路やアクセス道路の整備を推進するとともに、自動車部品メーカー等への企業誘致活動を推進する。
- ・地場企業の参入等を支援し、圏域内調達率の向上を図るとともに、次世代自動車の研究開発・生産技術拠点の形成を図る。

<カーアイルランドの形成(イメージ)>

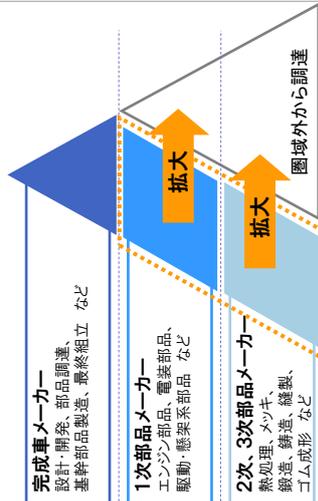
北部九州における自動車生産技術等の優位性の九州全域への波及

北部九州における自動車関連産業・技術の集積

- ・交通基盤の整備
- ・企業誘致活動の推進

九州全域への波及

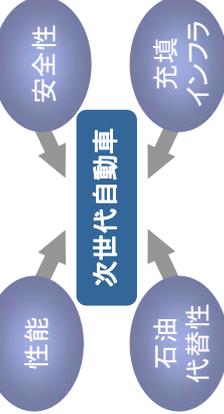
九州圏における自動車関連部品の域内調達率の向上



次世代自動車の研究開発・生産技術拠点の形成

- ・エンジン制御システム
- ・カーナビゲーション
- ・車載用PC等

次世代自動車



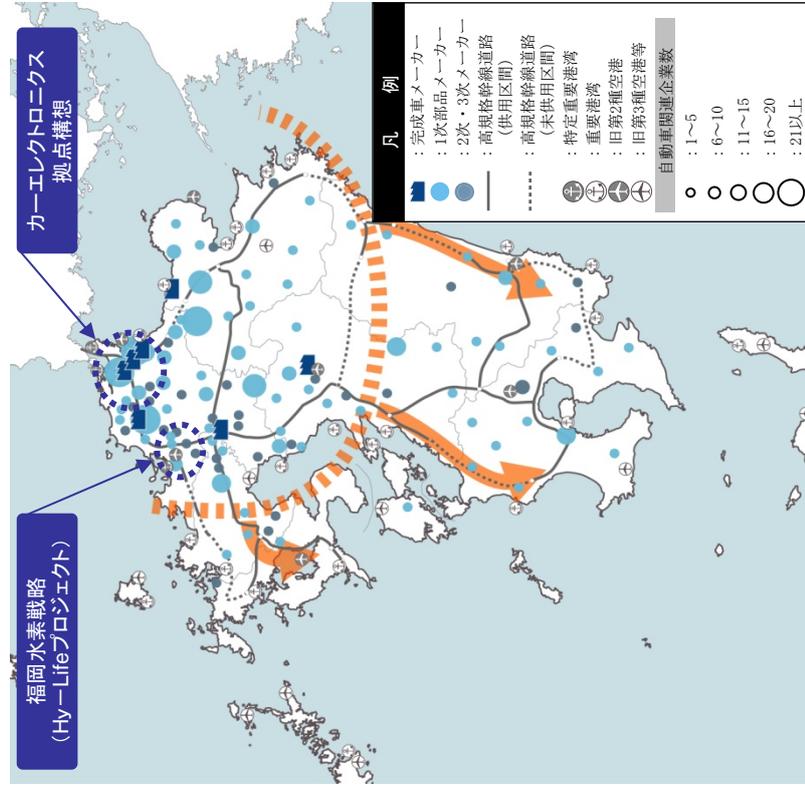
- ・レニキープサポートシステム
- ・走行支援システム等

福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)

九州大学を中心とした燃料電池技術研究開発や実証等の実施

カーエレクトロニクス拠点構想

車載用半導体に関する人材育成や研究・開発拠点づくり



【北部九州の優位性を九州全域に波及させるための産業基盤の整備(事例)】

【東九州自動車道の整備】

高速交通ネットワークの整備率の低い東九州地域において、東九州自動車道を整備することにより、北部九州の自動車産業の集積を九州全域へ波及させるとともに、企業立地環境の向上による自動車部品メーカーの進出を促進することが期待されている。



東九州自動車道の整備(末吉財部~大隅間)

【次世代自動車の研究開発・生産技術拠点の形成(事例)】

【カーエレクトロニクス拠点構想】

自動車産業の今後の発展を担うといわれている、自動車のエレクトロニクス化を踏まえ、九州圏に集積する半導体産業の技術や大学等の研究開発機能を活かし、車載用半導体などの開発支援や生産拠点の形成を推進する。



カーエレクトロニクスセンター(北九州市)

九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成 (基幹産業、成長型・牽引型産業の発展)

- 「造船アイランド」と呼ばれている九州圏における造船産業の更なる発展に向けて、その国際競争力の強化を図るため、海上輸送の効率化に資する船舶の省エネルギー技術の研究開発等を支援するとともに、次世代の人材育成と造船技術の継承を図るため、長崎、大分における造船技術研修拠点の機能強化等を図る。

<造船産業の国際競争力の強化（イメージ）>

次世代の人材育成と造船技術の継承

- 熟練技能者の高齢化
- 団塊世代の定年退職



- 人材確保、人材育成
- 技能の継承

造船技術研修センターの設置

海上輸送の効率化に資する船舶の省エネルギー技術の研究開発等の支援

- 韓国造船業の躍進（世界1位の建造量）
- 中国造船業の脅威（国策として推進）



- 安全で高性能な船舶を供給する
最高レベルの技術力を保有
- 先進的な研究開発

九州造船業の持続的な優位性の確立

- 生産設備の更新、IT化等による生産性の向上
- ソフト開発（低燃費・環境負荷低減）の推進と実用化に向けた実証実験
- スーパーエコシップ（内航船）の建造推進

九州圏における主な建造実績



LNG 船※
※液化天然ガスを運搬するタンカー



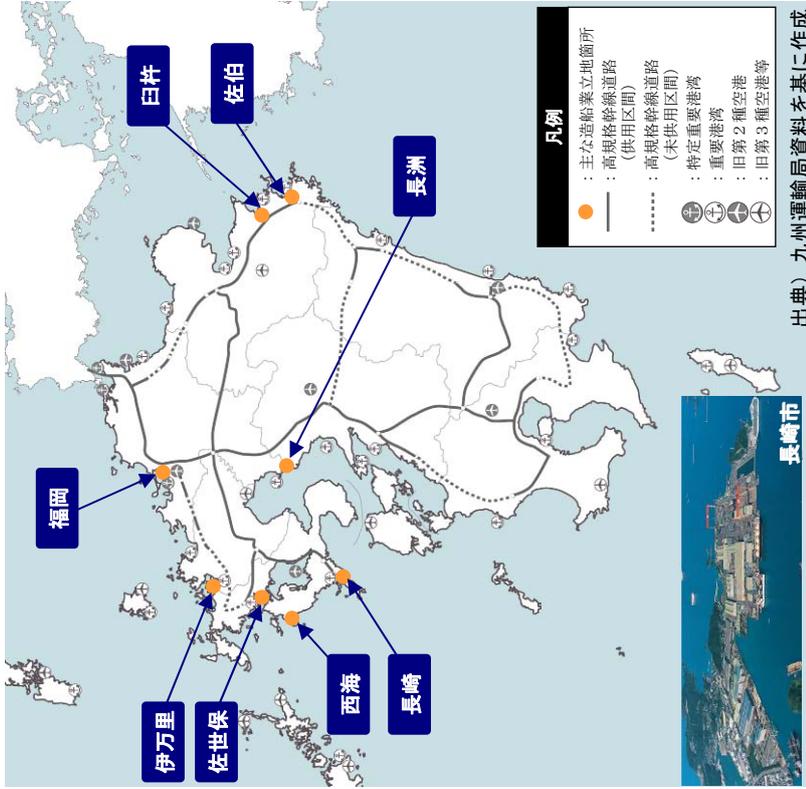
VLCC※
※20万t以上の原油を積載できる
大型タンカー



大型海洋掘削リグ



大型貨物船（RO-RO船）



【造船産業の国際競争力の強化（事例）】

【次世代人材育成事業】（長崎県、大分県）

長崎県や大分県では、造船業界の発展および地域経済の発展に寄与していくことを目的に、造船技術センターを設立し、世界的に優れた高いレベルの造船技能を、新人職員や経験の浅い若者に対して教育・実技訓練を行うことにより、造船技術の伝承・造船業の安定的な企業経営を図っている。



教育・実技訓練
(長崎県造船技術研修センター)

教育・実技訓練
(大分県造船技術センター)

【省エネルギー技術の研究開発支援（事例）】

【次世代内航船（スーパーエコシップ）の開発】

スーパーエコシップの開発・実用化により、従来の内航船と比較して環境負荷が低く、経済性でも約20%の貨物積載量の増加および約10%の燃費効率の向上が可能となった。

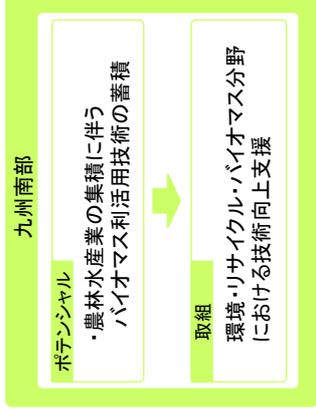
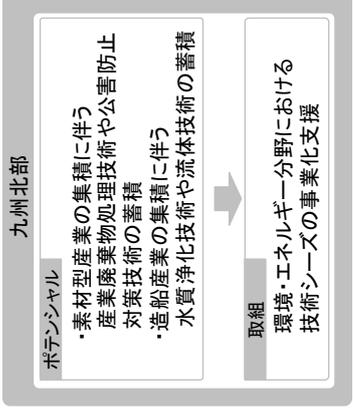


スーパーエコシップ（内航タンカー）

九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成 (次世代に向けた成長期待産業の育成 (その1))

- ・環境・リサイクル関連産業の発展に向けて、九州各地の技術・資源等を活かした特色ある技術研究開発・産業集積拠点の形成を図るとともに、環境・リサイクル関連分野における産業クラスター活動を促進する。
- ・環境・リサイクルビジネスのアジア地域への展開を図るため、環黄海環境ビジネスを推進する。

九州各地の技術・資源等を活かした特色ある環境・リサイクル関連産業の振興



環境・リサイクル分野の産業クラスター

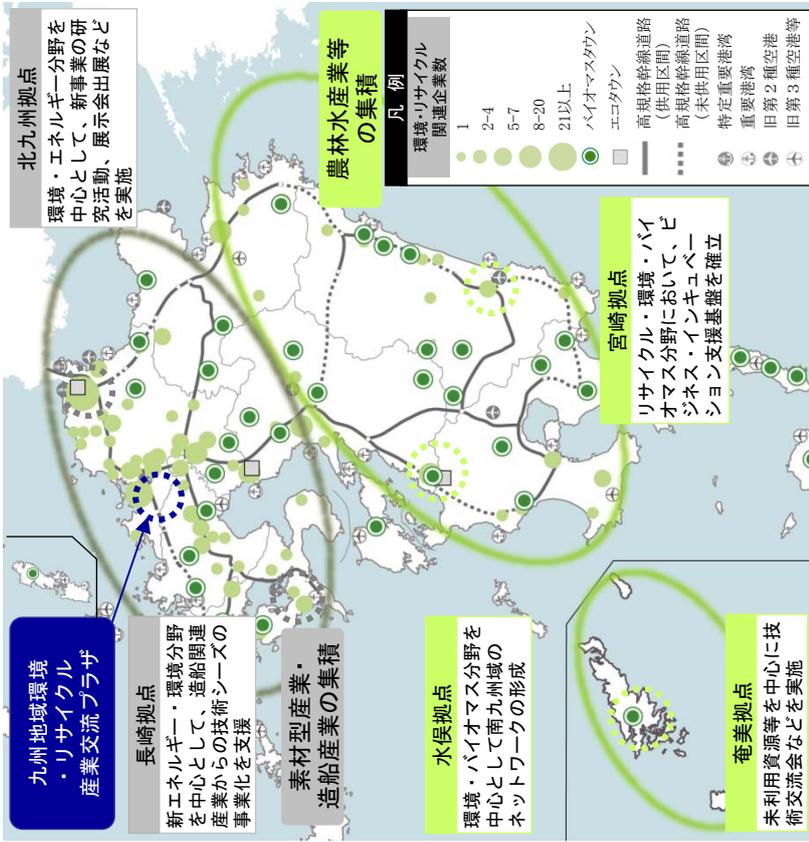
構成	463会員
(平成21年7月30日現在)	
法人会員	256
NPO会員	11
個人会員	80
学術会員	74
特別会員	42

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) (環境・リサイクル分野)



- 大学
- 企業
- 金融
- 商社
- 行政
- 地域

<九州圏における環境・リサイクル関連産業の振興 (イメージ)>



【九州各地の技術・資源等を活かした特色ある環境・リサイクル関連産業の振興 (事例)】

【長崎環境・エネルギー産業ネットワーク】

長崎県では、環境・エネルギー分野の新たなビジネスを創出するため、産学官が連携し、事業化に向けた研究事業や、インキュベーション施設 (既存事業者の新規事業を含む起業支援施設) との連携による新事業創出支援体制の整備、環境関連産業の展示会への技術・製品の出展支援等を進める。



【環境・リサイクルビジネスのアジア地域への展開 (事例)】

【環黄海環境ビジネスの推進】

環境・エネルギービジネスの東アジアへの展開を図るため、九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ等を中心とした環境交流等を通じて、中国・大連における環境ビジネスモデルの構築を図るとともに、アジア各地における専門家派遣、受入れ研修等を通じて、大連モデルを中国の他地域・アジア諸国へ展開している。

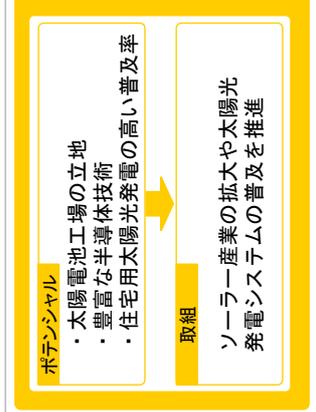


九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成 (次世代に向けた成長期待産業の育成 (その2))

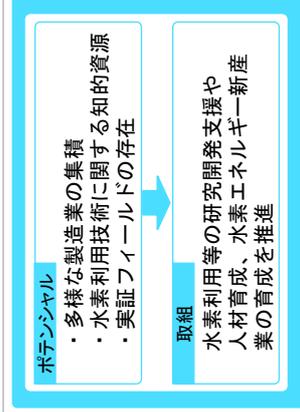
・ エネルギー関連産業の発展に向けて、次世代の太陽光関連産業の集積拠点の形成や、水素利用の先導地域の形成を通じた水素エネルギーの事業化・実用化を推進するとともに、九州各地における新エネルギーの実用化・事業化に向けた取組を推進する。

九州圏におけるエネルギー関連産業の振興 (イメージ) >

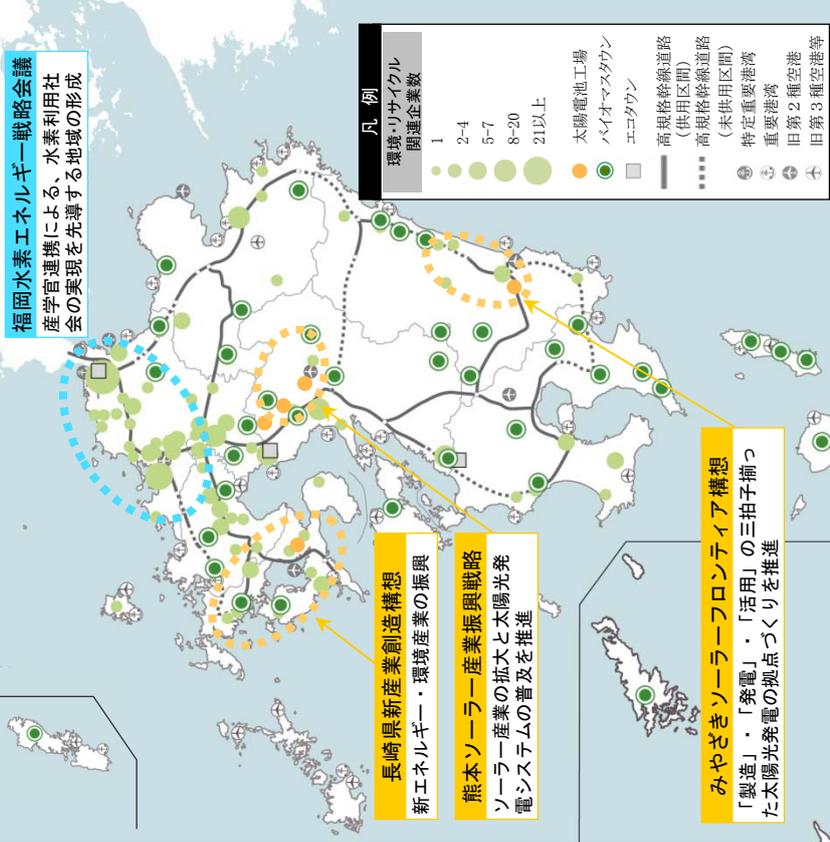
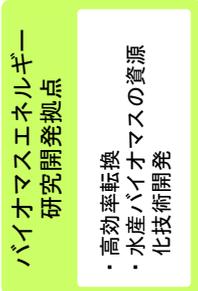
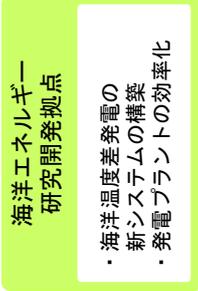
次世代の太陽光関連産業の集積拠点の形成



水素利用の先導地域の形成を通じた事業化・実用化の推進



新エネルギー産業の実用化・事業化の推進



【次世代の太陽光関連産業の集積拠点の形成 (事例)】

【熊本ソーラー産業振興戦略】

熊本県では、産学官連携によるソーラーエネルギー等事業推進協議会の下、企業と大学等の共同研究の支援や個人住宅向け太陽光発電システム設置の融資制度等、普及の推進につながるような制度や仕組みの紹介等を図る。



【水素利用の先導地域の形成を通じた水素エネルギーの事業化・実用化の推進 (事例)】

【福岡水素戦略 (Hy-Lifeプロジェクト)】

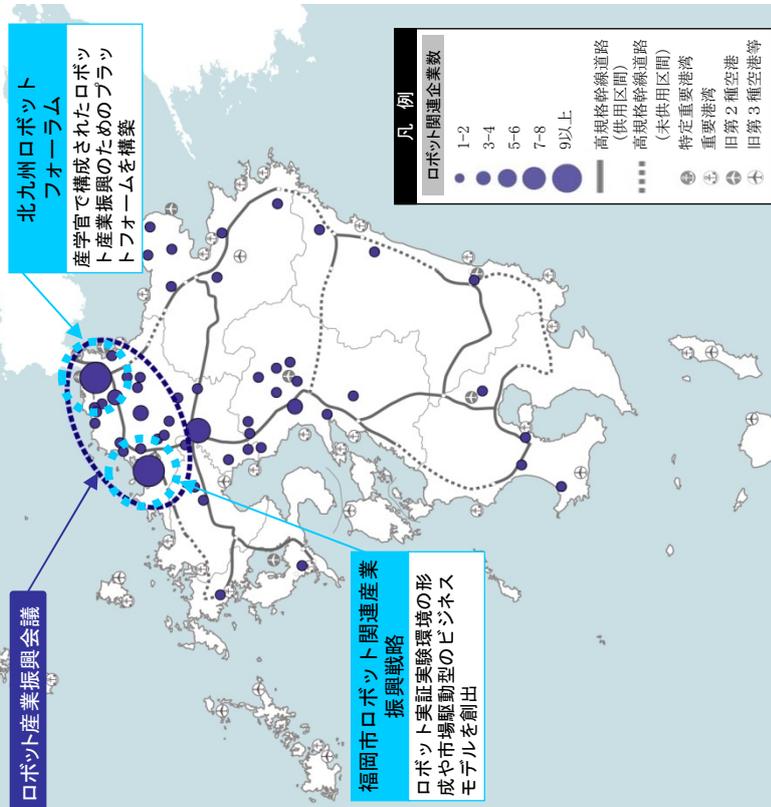
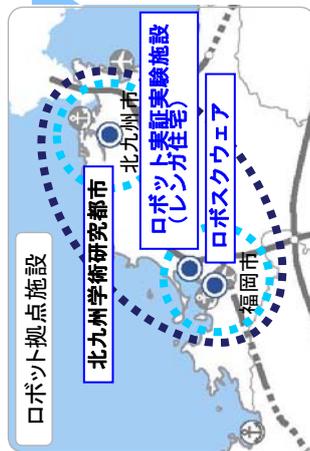
福岡県では、水素関連分野で全国初となる産学官連携組織の福岡水素エネルギー戦略会議と連携して、水素エネルギーの開発・普及を総合的に推進する「福岡水素戦略」を実施。その柱のひとつである社会実証の第一陣として、福岡県前原市において、家庭用燃料電池システム150台を集中設置する世界最大の「福岡水素タウン」を展開中。



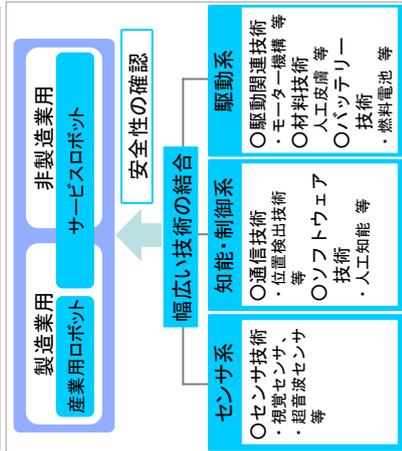
九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成 (次世代に向けた成長期待産業の育成 (その3))

- ・ ロボット産業の発展に向けて、産業用ロボットの高度化・高機能化を推進するため、地場企業の技術高度化等によるロボット関連部品産業への参加を促進するとともに、次世代サービスロボットの実用化・市場創出を促進するため、研究開発、産業化等を図る推進体制の構築や、福岡市における生活空間を想定した実証フィールドの活用等を推進する。

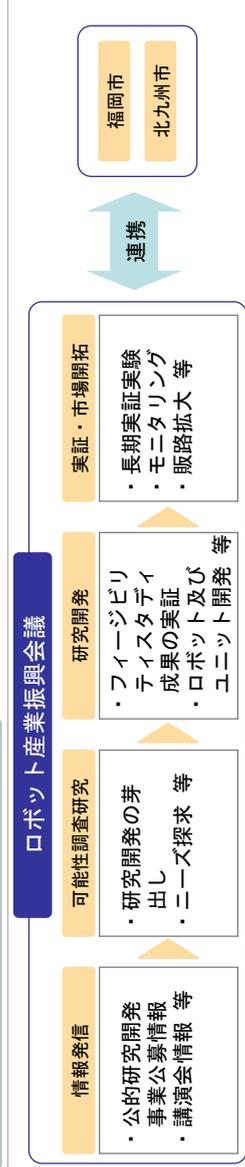
＜九州圏におけるロボット関連産業の振興（イメージ）＞



産業用ロボットの高度化・高機能化の推進



次世代の家庭用ロボットの実用化・市場創出の促進



【次世代のサービスロボットの 実用化・市場創出の促進（事例）】

【北九州ロボットフォーラム】

北九州市では、ロボットの製品化・商品化に向けて、ロボットニーズ調査から試作品づくりまでの、データ連携体制を構築するとともに、大学や企業等で進められている様々な研究開発プロジェクトに対し、ユーザー側とのマッチング等のコーディネート活動を図る。



【福岡市ロボット関連産業振興戦略】

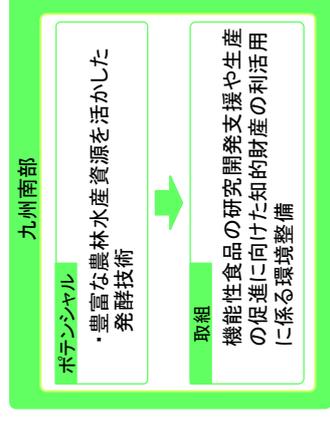
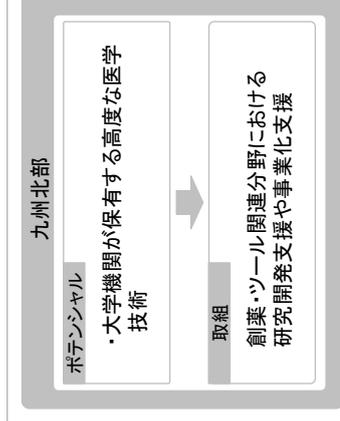
福岡市では、「ロボットに出会うまち・福岡」の実現を目指し、ロボスクエア・レンガ住宅などを活用しながらロボットに関する研究支援に加え、ロボット技術を活用した企業の集積を図る。



九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成 (次世代に向けた成長期待産業の育成 (その4))

- バイオ関連産業の発展に向けて、九州各地に地域特性に応じた特色あるバイオ関連産業クラスターの形成を図るとともに、新産業の創出を図るため、研究受託ビジネスの振興や創薬、機能性食品等の研究開発・量産化を支援し、産業クラスター活動を促進する。

九州各地の技術・資源等を活かした特色あるバイオ関連産業の振興



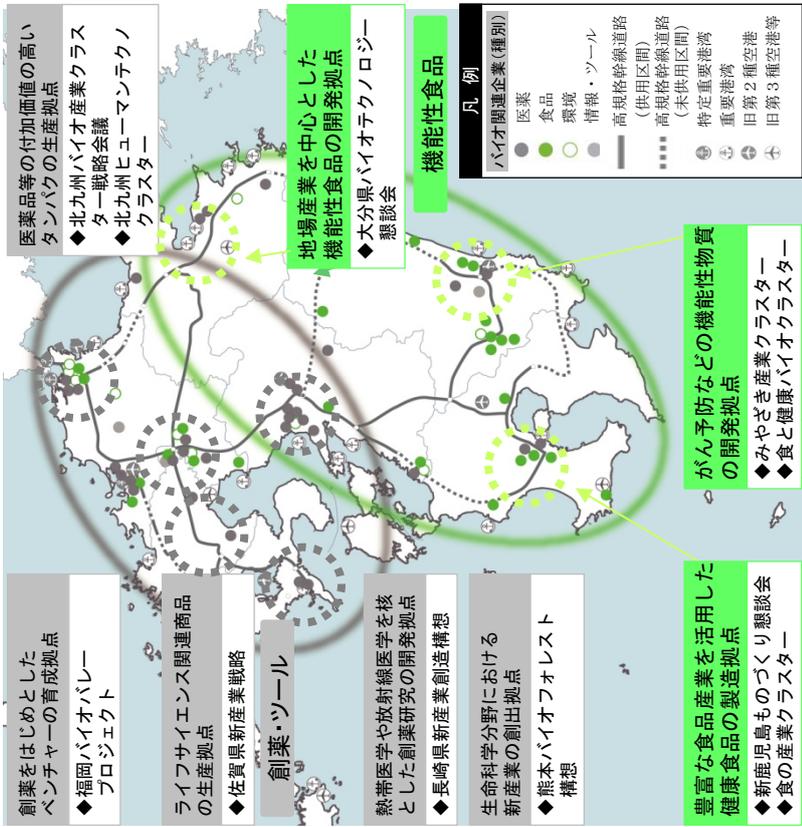
九州地域バイオクラスター推進体制

構成 143社・機関
(平成21年4月1日現在)

企業 96
行政機関等 19
大学・公設試等 18
金融・商社等 10



<九州圏におけるバイオ関連産業の振興 (イメージ)>



医薬品等の付加価値の高いタンパクの生産拠点
◆北九州バイオ産業クラスター戦略会議
◆北九州ヒューマンテクノロジークラスター

創薬をはじめとしたベンチャーの育成拠点
◆福岡バイオバレープロジェクト

ライフサイエンス関連商品の生産拠点
◆佐賀県新産業戦略
創薬・ツール

創薬・ツール
熱帯医学や放射線医学を核とした創薬研究の開発拠点
◆長崎県新産業創造構想

生命科学分野における新産業の創出拠点
◆熊本バイオフォレスト構想

豊富な食品産業を活用した健康食品の製造拠点
◆新鹿児島ものづくり懇談会
◆食の産業クラスター

がん予防などの機能性物質の開発拠点
◆みやざき産業クラスター
◆食と健康バイオクラスター

機能性食品
◆大分県バイオテクノロジー懇談会

凡例
バイオ関連企業(種別)
○ 医薬
● 食品
○ 環境
○ 情報・ツール
— 高規格幹線道路(供用区間)
--- 高規格幹線道路(未供用区間)
④ 特定重要港湾
③ 重要港湾
② 旧第2種空港
① 旧第3種空港等

【九州各地の技術・資源等を活かした特色あるバイオ関連産業の振興 (事例)】

【福岡バイオバレープロジェクト】

福岡県では、バイオベンチャーの創出を図るため、福岡バイオインキュベーションセンターやバイオ関連企業が研究成果の実用化に向けて、試作・製造に利用できる貸工場として、福岡バイオファクトリーなどのインフラ整備を推進することにより、久留米市を中心としたバイオクラスターの形成促進を図る。



福岡バイオインキュベーションセンター (久留米市)

【みやざき産業クラスター】

宮崎県では、ベンチャー企業・新分野進出企業を創出し、産業クラスターの創出を図るため、豊かな農林水産資源と発達した発酵技術を活かした研究支援や産業界への大学技術の移転支援や情報提供等を進めることにより、食品・農業系バイオ産業等の集積促進を図る。



バイオインキュベーションにおける研究交流 (宮崎市)

東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成 (フードアイランドの形成 (その1))

・フードアイランドの形成に向けて、東アジアへの輸出や我が国の食の安定供給に応える高品質で個性あふれる食料生産地の形成を図ることにより、国際的・広域的に魅力的な食の先進地としての発展を目指していく。

<食の安定供給を支える高品質で個性あふれる農林水産物の生産地づくり (イメージ) >



【食の安定供給を支える高品質で個性あふれる農林水産物の生産地づくり (事例)】

【いちご・次世代「あまおう」開発事業】 (福岡県)
～収益性の高い農林水産業の振興～

福岡県では、福岡県産ブランドのいちご「あまおう」について、近年の気候温暖化により、炭疽病被害の増大、花芽分化遅延による1～2月の生産量減少等の問題が顕在化したため、平成20年から5ヵ年計画にて、最新のバイオテクノロジーを活用し、「あまおう」の高品質を維持しながら、炭疽病に強く、安定した収量が得られる新品種「次世代あまおう」を育成している。



【くまもとオンリーワン農産物研究開発事業】 (熊本県)

熊本県では、肥後五鶏のひとつとして復元された「天草大王」や、肥後のあか牛と呼ばれる褐毛和種における優秀な種雄牛「第十六光重」をはじめ、鶏や豚などの県オリジナルの品種や系統の開発および優良家畜を育成することともに、その特性を最大限に引き出す栽培技術や飼養技術の開発を推進している。



東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成 (フードアイランドの形成 (その2))

・フードアイランドの形成に向けて、環境との調和に配慮した農水産物・食品の生産地づくりや、生産者から消費者までの一貫した食の安全対策・安心対策等を推進することにより、安全・安心で環境にも配慮した食料供給基地の形成を図る。

<安全・安心で環境にも配慮した食料供給基地の形成 (イメージ)>

環境との調和に配慮した農水産物・食品の生産地づくり

・長崎における環境保全型農業の推進



・エコファーマーや有機農業の促進



・化学肥料・農薬の適正・使用

安全・安心な食に関する理解促進

・地域で生産された農水産物を地域で消費する地産地消の推進



・健全な食生活を実践できる人育てる食育の推進



【環境との調和に配慮した農林水産物の生産地の形成 (事例)】

【諫早湾干拓地における環境配慮型の大規模農業の推進】 (長崎県)

諫早湾干拓農地での営農は、大規模平坦な優良農地であるという優位な条件を活かして、ばいばいしよやレタスなどの土地利用型野菜の大規模生産やアスパラガスやいちごなどの施設園芸作物の導入といった生産性・収益性の高い農業経営、減農薬・減化学肥料栽培等の環境にやさしい農業が展開されている。



諫早湾干拓地



レタス畑

【生産から流通・販売までの一貫した食の安全・安心対策の推進 (事例)】

【トレーサビリティの普及の促進】 (大分県)

大分県では、乾しいたけのブランド化への取り組みとして、トレーサビリティ・システム(乾しいたけの生産から加工流通履歴を追跡できるシステムで生産者と関係流通業者が一体となって実施)の導入、しいたけウォッチャー(県職員による偽装表示の監視・摘発)の配置、シンボルマーク制度(第三者機関による使用権の認証)の導入を進めている。



大分しいたけ



大分しいたけシンボルマーク



生産から流通・販売までの一貫した食の安全・安心対策の推進

- ・産地、農業者が農業生産工程全体を通じ、適正な農業を実現する取組
- ・トレーサビリティの普及の促進
- ・食品表示・JAS規格の普及・啓発 等

東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成 (フードアイランドの形成 (その3))

- ・ フードアイランドの形成に向けて、東アジア等における新たな市場開拓を推進するとともに、輸出先における品揃えや食品鮮度の確保を図るため、高速かつ効率的な輸送を支える物流基盤の整備等を進めることにより、国際的・広域的に魅力ある食の先進地としての発展を目指していく。

＜東アジア等における新たな市場開拓に向けた取組＞



【海外市場における販路拡大 (事例)】

【合同物産展・商談会の開催】 (九州各県、山口県、沖縄県)

各県がそれぞれで行っている海外販路拡大への取組を、「九州」として一体的に取り組むことにより、海外市場における「九州」の認知度を向上させ、販路拡大につなげている。



日本国九州食品フェア in 上海

【輸出先における品揃えや食品鮮度の確保 (事例)】

【高速RORO船を利用した農水産物の輸出】

コンテナを積載したシャシーを車体ごと輸送する高速RORO船 (Roll On Roll Off方式) により、博多港-上海間は週2便頻度で約28時間で結ばれており、博多港-上海間の日には上海での納入が可能となっている。今後、鮮度が求められる農水産物等については、高速RORO船を利用した輸出促進を図っている。



高速RORO船を利用した上海への輸出状況

東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイルランドの形成 (観光アイルランドの形成 (その1))

・観光アイルランドの形成に向けて、複数市町村が連携して滞在型観光を実現する観光圏の形成や、地域資源を発掘・活用した個性あふれる観光地づくりを進めることにより、国際的・広域的に魅力ある一大観光地としての発展を目指していく。

<地域資源を発掘・活用した個性あふれる観光地づくり (イメージ)>



出典) 東北・九州地熱資源図(独立行政法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 2002) を基に作成

【地域資源を発掘・活用した 魅力あふれる観光圏の形成 (事例)】

【阿蘇くじゅう観光圏】(熊本県、大分県)

世界最大級のカルデラ地形のただ中にある阿蘇五岳や、北東部のくじゅう連山の草原からなる「阿蘇くじゅう国立公園」は、年間2千万人以上の観光客が訪れる、我が国でも代表的な国立公園である。

この「阿蘇くじゅう国立公園」を活かしたエコツーリズムを柱とし、温泉、自然、歴史等を連携させた九州No.1の滞在交流型観光地づくりを目指している。



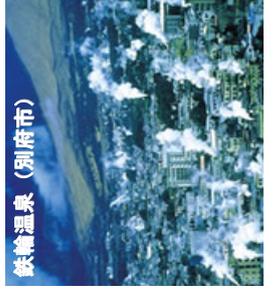
阿蘇中岳火口

くじゅう連山

【新東九州観光圏】(大分県、宮崎県)

自然豊かな大分県では、別府や湯布院が全国的にも有名な観光地になっているものの、「2泊されるお客様が極端に少ない」といった問題を抱えている。

平成20年6月に東九州自動車道が佐伯まで延伸したこと为契机に、旅行者(特に宿泊客)に圧倒的人気の高い「温泉地」を持つ「隠れた魅力」と、認知度の低い日豊海岸の「浦」が有する独特な「秘められた魅力」を相互に連携することにより、2泊3日以上以上の滞在を促す新たな観光ブランドを創出している。



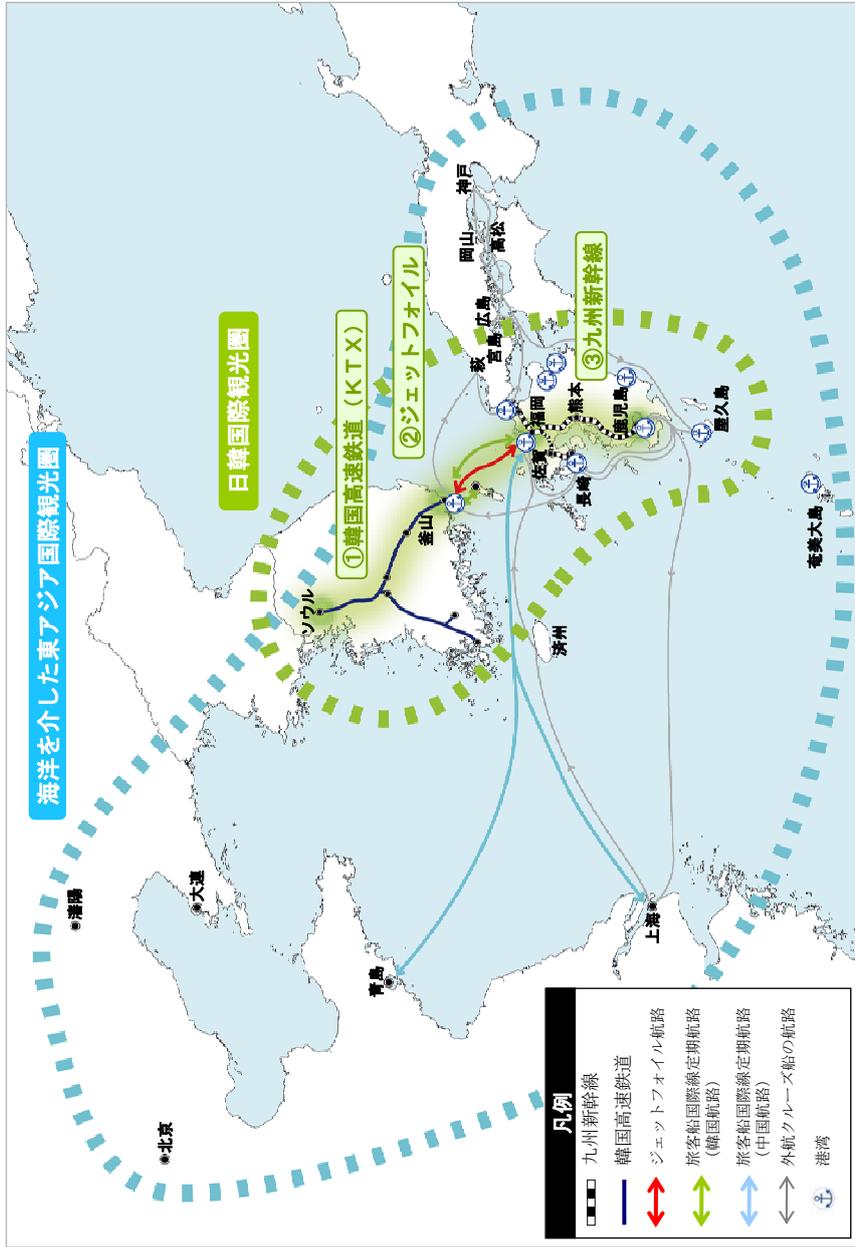
鉄輪温泉(別府市)

リアス式海岸(日豊海岸)

東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイルランドの形成 (観光アイルランドの形成 (その2))

・観光アイルランドの形成に向けて、海洋・海峡を介した国際的な観光圏の形成を促進するとともに、広域的な連携による観光地の魅力向上を図ることにより、国際的・広域的に魅力ある一大観光地としての発展を目指していく。

<海洋・海峡を介した国際的な観光圏の形成 (イメージ)>



【海洋・海峡を介した国際的な観光圏の形成 (事例)】

【クルーズ観光の推進】 (鹿児島県)

鹿児島県では、国際クルーズ船の鹿児島入港において歓迎行事、観光案内等の実施や海外からの観光客等の誘致等を推進し、国際的な観光地の形成を目指している。名瀬港 (奄美大島) では、大型旅客船専用パースの供用により、港内で宿泊するステイクルーズが可能となり、今後の観光振興への効果が期待されている。



【広域的な連携による観光地の魅力向上 (事例)】

【九州新幹線全線開通に向けた交流連携協定事業】 (福岡市、熊本市、鹿児島市)

平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開通を見据え、九州の縦軸を構成する福岡市、熊本市、鹿児島市の3市は、九州の一体的な発展に向けた交流連携に取り組みため、平成20年8月に協定を調印した。その一環として、市民交流が促進されるように、各都市が市民向けに実施している動物園や美術館等の施設入場料金を無料化もしくは割引するサービスを、3都市の市民に拡大している。

①韓国高速鉄道 (KTX)

韓国における高速鉄道であり、2004年の開通により、釜山間が約2時間40分で結ばれた。

②ジェットフォイル

ジェットフォイルの高速船で、博多港-釜山港間を約3時間結んでいる。

③九州新幹線 (鹿児島ルート)

2011年に全線開通を予定しており、開通後は、博多-鹿児島中央間を1時間20分で結ぶ。



JR九州高速船 (ビートル)



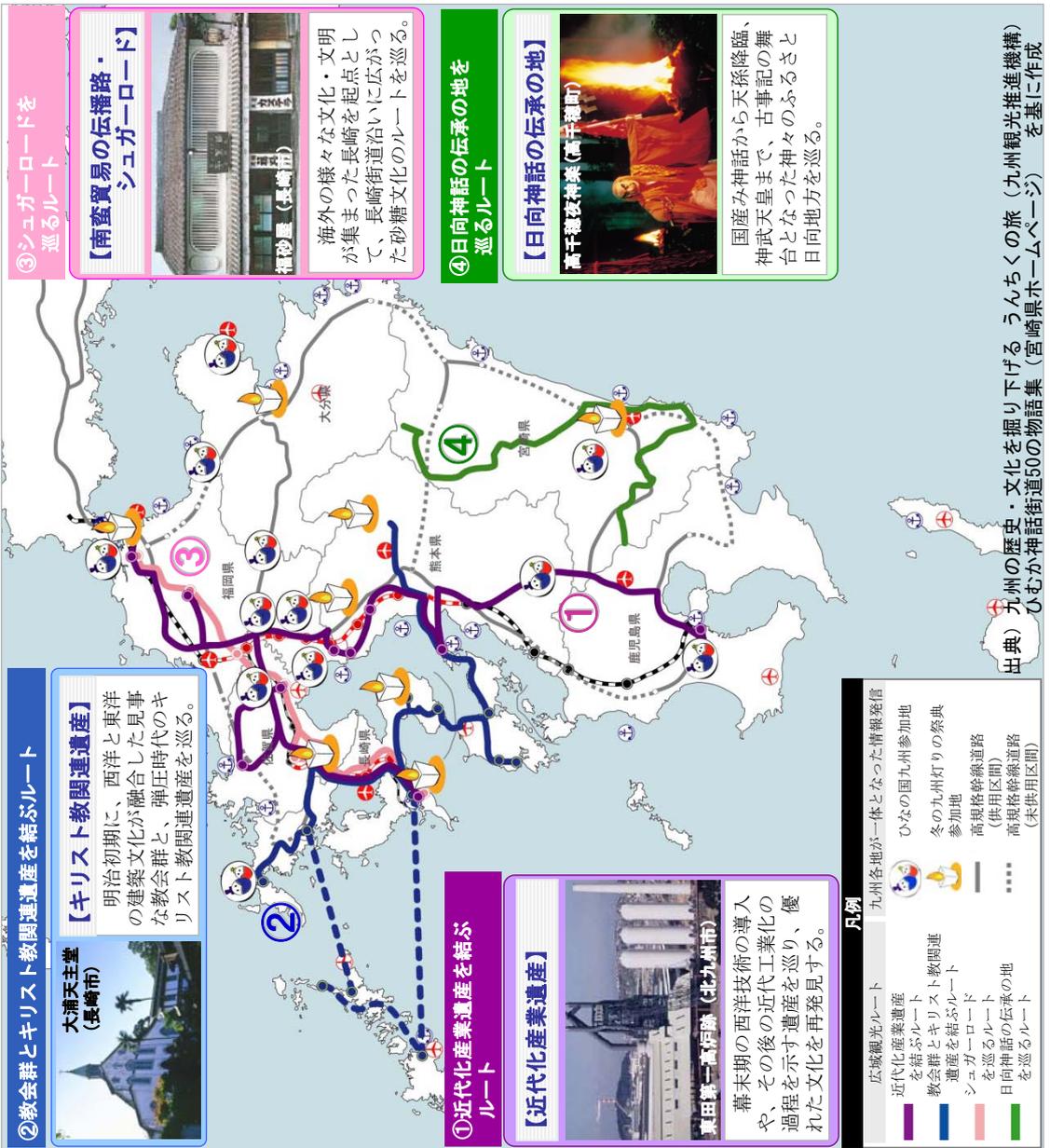
九州新幹線800系つばめ



東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイルランドの形成 (観光アイルランドの形成 (その3))

・観光アイルランドの形成に向けて、歴史・文化を掘り下げ、九州独自の魅力あふれるテーマに沿った広域観光ルートの形成や、九州圏が一体となった情報発信等を推進することにより、国内外の多様な観光ニーズに対応した観光振興を目指していく。

＜九州独自の魅力あふれるテーマに沿った広域観光ルートの形成 (イメージ)＞



【九州圏が一体となった情報発信の推進 (事例)】

【ひなの国九州】

旧街道沿いの由緒深いまちや歴史ある城下町で、「ひな祭り」を九州各地で一斉に開催し、各地の歴史や時代の営みを発見できる。



【冬の九州灯りの祭典】

灯りをテーマとした多様な祭りを1月～2月にかけて各地で一斉に開催し、夜の闇の中で幻想的な灯りが人々の目を魅了させる。



【誰もが快適な旅行を実現する環境づくり (事例)】

【公共交通移動円滑化設備整備事業】

長崎県では、「福祉のまちづくり条例」及び「長崎県障害者基本計画」を策定しバリアフリー化に取り組みとともに、公共交通機関もバリアフリー化の推進を図ることとし、移動円滑化を図る。



【通り名で道案内】

土地に不慣れな方に、通りの名前と距離を表す番号を表示した「地点標」でわかりやすく道案内しようという試みを、平成18年度から長崎市を皮切りに、九州全域で展開している。



凡例

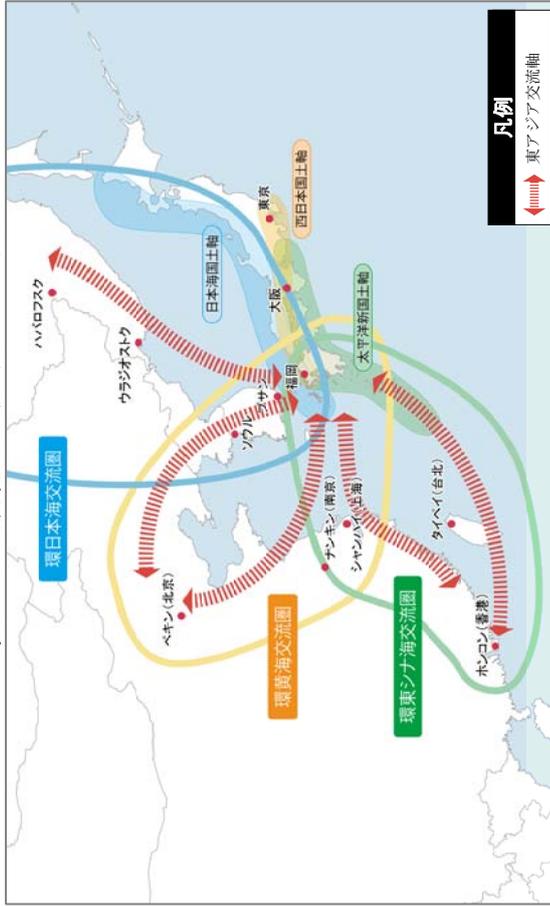
広域観光ルートを結ぶルート	九州各地が一体となった情報発信
近代化産業遺産	ひなの国九州参加地
教会群とキリスト教関連遺産を結ぶルート	冬の九州灯りの祭典参加地
シユガーロード	高規格幹線道路 (供用区間)
日向神話の伝承の地を巡るルート	高規格幹線道路 (未供用区間)

出典)九州の歴史・文化を掘り下げる「うんちくの旅 (九州観光推進機構) ひむか神話街道50の物語集 (宮崎県ホームページ) を基に作成

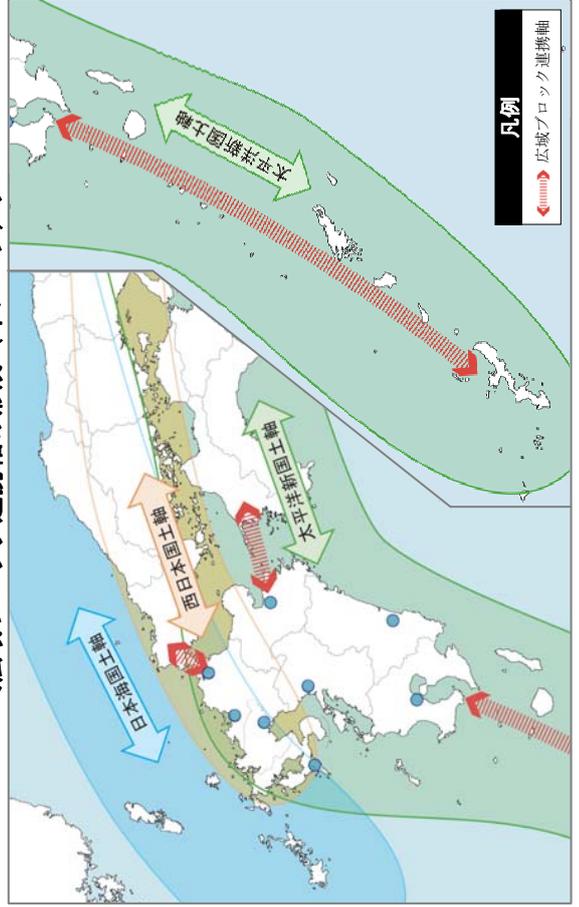
新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進 (東アジア交流軸、広域ブロック連携軸の形成)

- ・近接する東アジア、広域ブロックと九州圏のそれぞれの地域の広域的な交流・連携を推進し、九州圏の新たな発展の機会を創出するため、これら主要都市間を有機的に連結する東アジア交流軸と広域ブロック連携軸の形成を促進する。

＜東アジア交流軸の形成（イメージ）＞



＜広域ブロック連携軸の形成（イメージ）＞



【環黄海地域における国際的な交流ネットワークの形成（事例）】

【日韓海峡沿岸都市道交流知事会議】 (福岡、佐賀、長崎、山口各県)

日韓海峡を挟んだ九州北部三県及び山口県と韓国南岸一市三道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）との間で交流知事会議を開催し、両地域の交流の現状と今後の展望に関して率直な意見交換を行い、様々な分野における交流を促進するための共同交流事業を実施している。



高層会の開催
(韓国済州特別自治道)

【関門地域における交流・連携の推進（事例）】

【関門連携】 (北九州市、下関市)

两市間で一日約1万人の通勤・通学移動があり、関門景観条例の制定を始め、高齢者福祉施設を相互利用するなど、行政や民間、市民レベルで果境を越えて交流の深い関門地域では、関門海峡という地理的特性や歴史的なつながりを活かして日常的な交流を推進している。



関門海峡（北九州市、下関市）

【南九州から南の海洋に連なる地域における交流・連携の推進（事例）】

【やんばる・奄美の交流】 (与論島)

沖縄県北部のやんばる地域から鹿児島県与論島へ開港地を広げて駅伝大会が開催されるなど、歴史的、文化的に果境を越えてつながりの深い奄美・やんばる地域では、行政や民間、市民レベルで文化スポーツ交流、特産品の相互販売など広域的な連携を推進している。

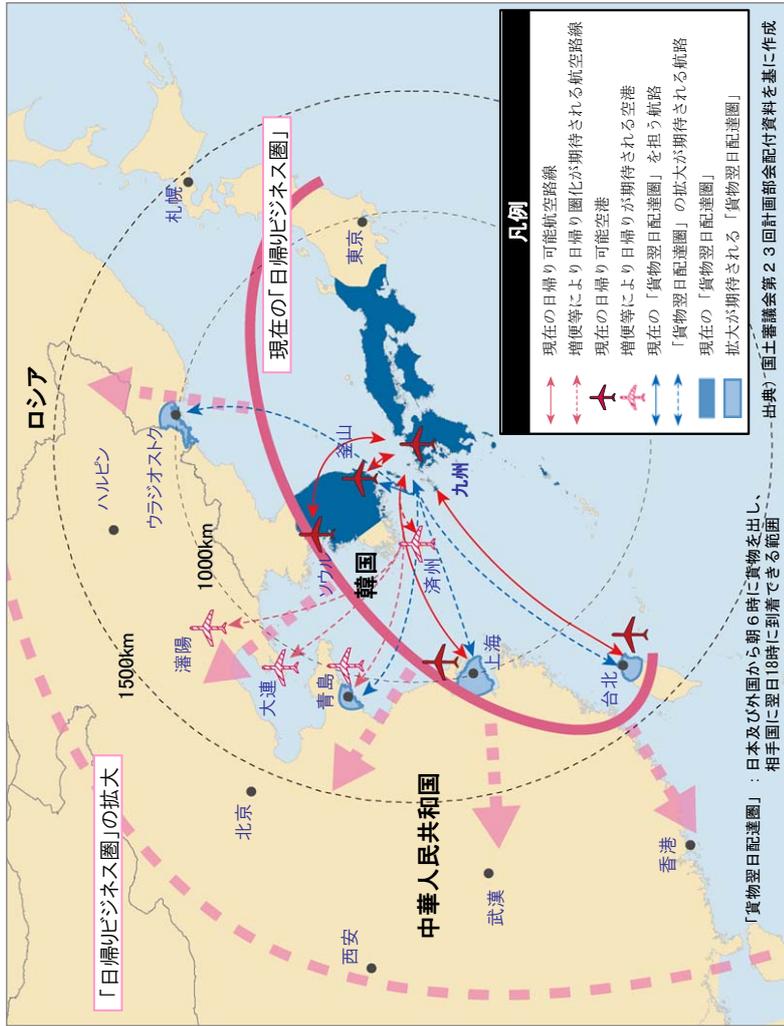


やんばる・奄美の交流（与論島）

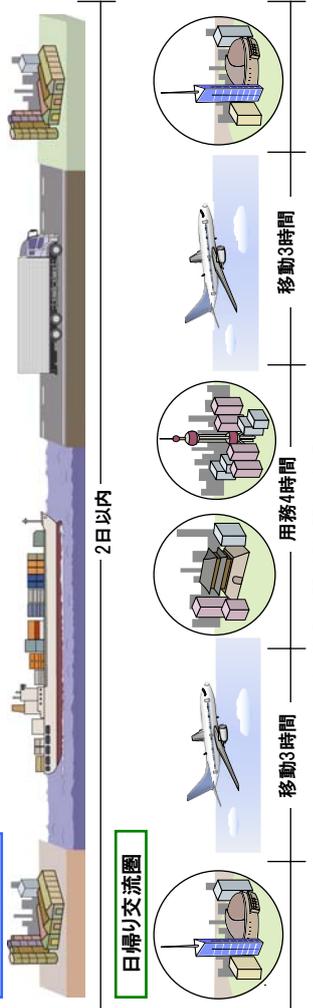
新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進 (東アジア等へのゲートウェイ機能の強化 (その1))

- 東アジアへのゲートウェイ機能の充実・強化に向けて、空港・港湾の機能強化を図るとともに、空港・港湾へのアクセス道路等の交通基盤の必要な整備を推進する。

<東アジア等へのゲートウェイ機能の強化 (イメージ)>



貨物翌日配達圏



【空港機能の強化 (事例)】

【将来需要への適切な対応】 (福岡空港)

福岡空港では、抜本的な空港能力向上方策等に関する調査等が進められており、その結果を踏まえ、地元の合意形成を図りつつ、将来需要に適切に対応するための方策を講じている。



【港湾機能の強化 (事例)】

【国際海上コンテナターミナル整備】 (博多港)

博多港アイランドシティ地区では、輸送コストの低い大型船舶に対応した博多港国際海上コンテナターミナルの整備が進められている。



【空港、港湾へのアクセス機能の強化 (事例)】

【地域高規格道路の整備】 (新若戸道路)

ひびきコンテナターミナルの供用に増大する交通量へ対応するため、洞海湾を海底トンネルで横断する新若戸道路の建設を推進している。



新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進 (東アジア等へのゲートウェイ機能の強化 (その2))

福岡空港については、抜本的な空港能力向上方策等に関する調査等が進められており、その結果を踏まえ、地元の合意形成を図りつつ、将来需要に適切に対応するための方策を講じる。

経緯と今後の進め方

福岡空港の総合的な調査とPIの実施 (平成15~20年度)

- ステップ1 ... 福岡空港の現状と課題、空港利用者の視点に立った航空サービスの評価基準、福岡空港の能力について検討
- ステップ2 ... 地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測について検討
- ステップ3 ... 検討すべき対応案と対応案を評価する視点の検討
- ステップ4 ... 評価の視点に基づき対応案の比較評価と方向性(案)の作成

福岡空港の総合的な調査の終了

H21.5.8

関係行政機関(国・福岡県・福岡市)による最終的な対応案の決定

H21.5.13 第1回開催

福岡空港構想・施設計画検討協議会

○幅広い選択肢から、滑走路の概ねの位置、方位などの基本的な諸元に関する候補を選定する

○具体的な施設の配置等の計画案を決定する

構想・施設計画段階におけるPIの実施

事業の評価及び採択

事業実施

「福岡空港における滑走路増設」案の検討へ移行

福岡空港滑走路増設に関する検討について

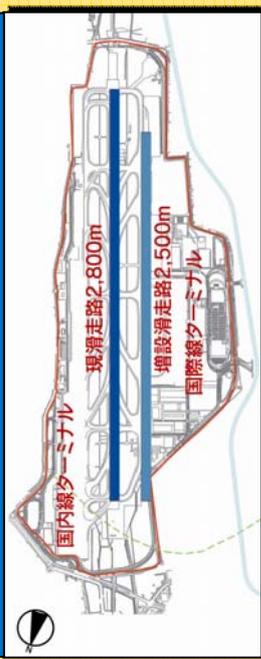
総合的な調査及びそのパブリック・インボリューション(PI)の結果や、地元自治体の意見等を踏まえ、福岡空港については「現空港における滑走路増設」案で構想・施設計画段階に移行することとし、「福岡空港構想・施設計画検討協議会」を設置して検討を進めているところ。

【福岡空港構想・施設計画段階における検討内容】

- ・航空需要予測の精査
- ・滑走路等の配置の確定
- ・施設配置計画等の確定と拡張用地規模の検討
- ・航空機騒音の影響
- ・コスト縮減・工期短縮等の検討
- ・費用便益分析
- など

現空港における滑走路増設案

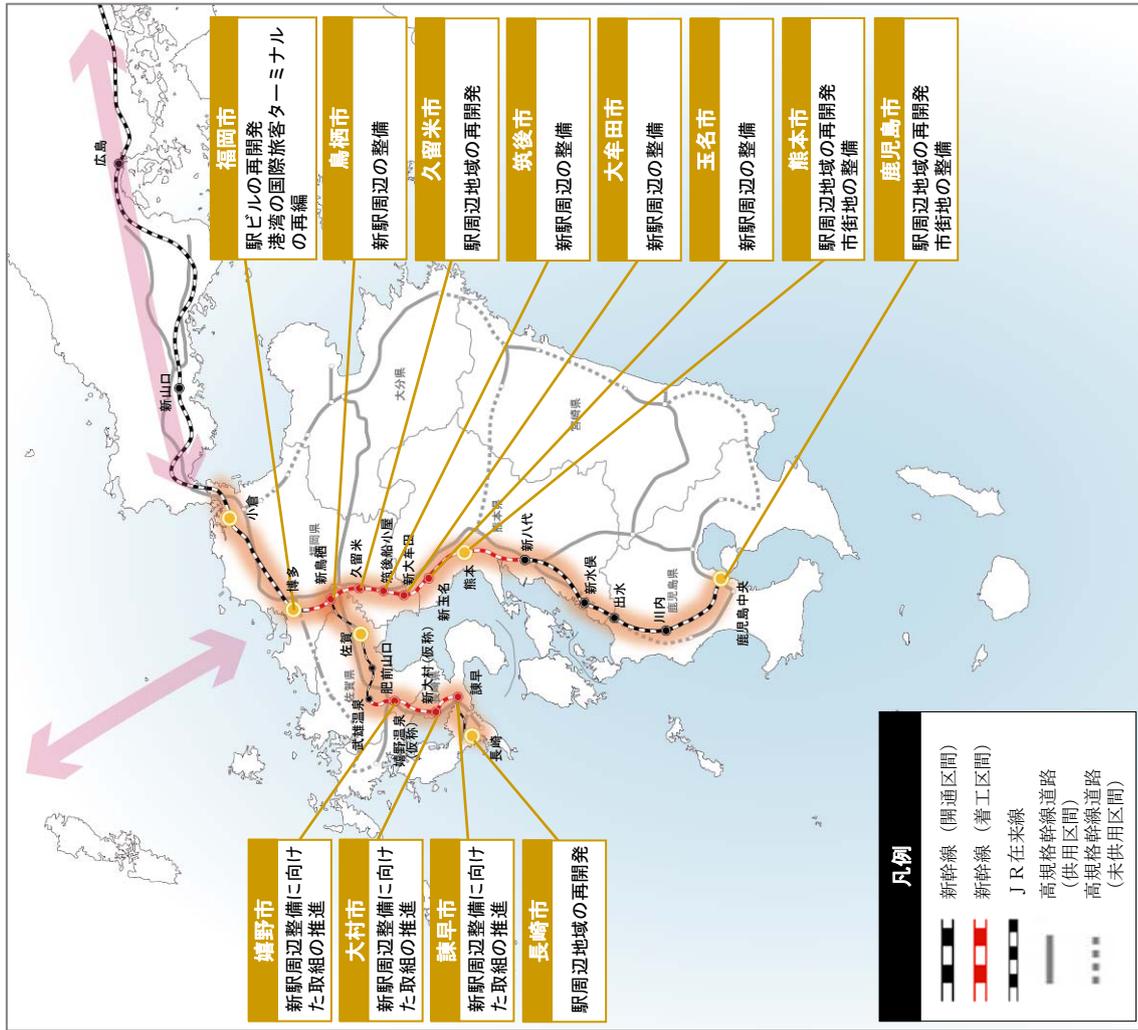
(西側配置(滑走路間隔210m)改良案)



東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化 (九州新幹線の全線開通に向けた基盤整備)

・九州新幹線鹿児島ルート¹の全線開通および長崎ルート²の開通に向けて、九州新幹線の整備インパクトを最大限に発揮するため、九州各県の玄関口となる新幹線駅周辺の市街地整備等を推進する。

<九州新幹線の全線開通に向けた基盤整備 (イメージ)>

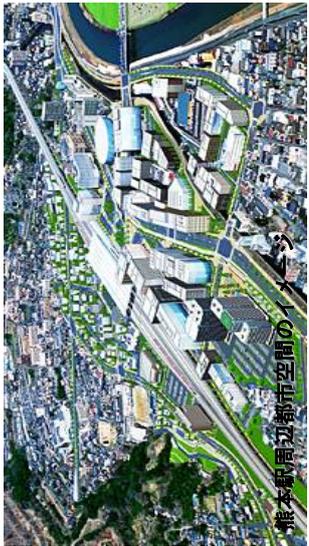


【九州新幹線鹿児島ルート¹の全線開通に向けた基盤整備 (事例)】

【J R博多駅ビル 整備事業】 (福岡市)
J R博多駅ビルは、九州新幹線鹿児島ルート¹の全線開通に併せて開業予定であり、百貨店や専門店に加え、エンターテインメント・サービスなどの機能を持たせた複合商業施設の立地とあわせ、駅前広場の再整備を一体的に進めている。

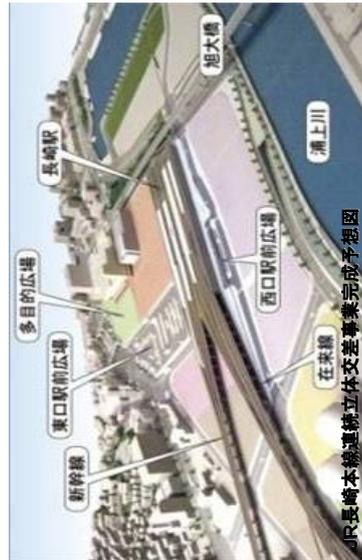


【熊本駅周辺関連 整備事業】 (熊本県)
平成23年に予定されている九州新幹線の全線開業を契機として、熊本駅周辺では連続立体交差、市街地再開発、土地区画整理、駅前広場、街路等の都市基盤整備事業や合同庁舎の移転などが進められている。



【九州新幹線長崎ルート²の全線開通に向けた基盤整備 (事例)】

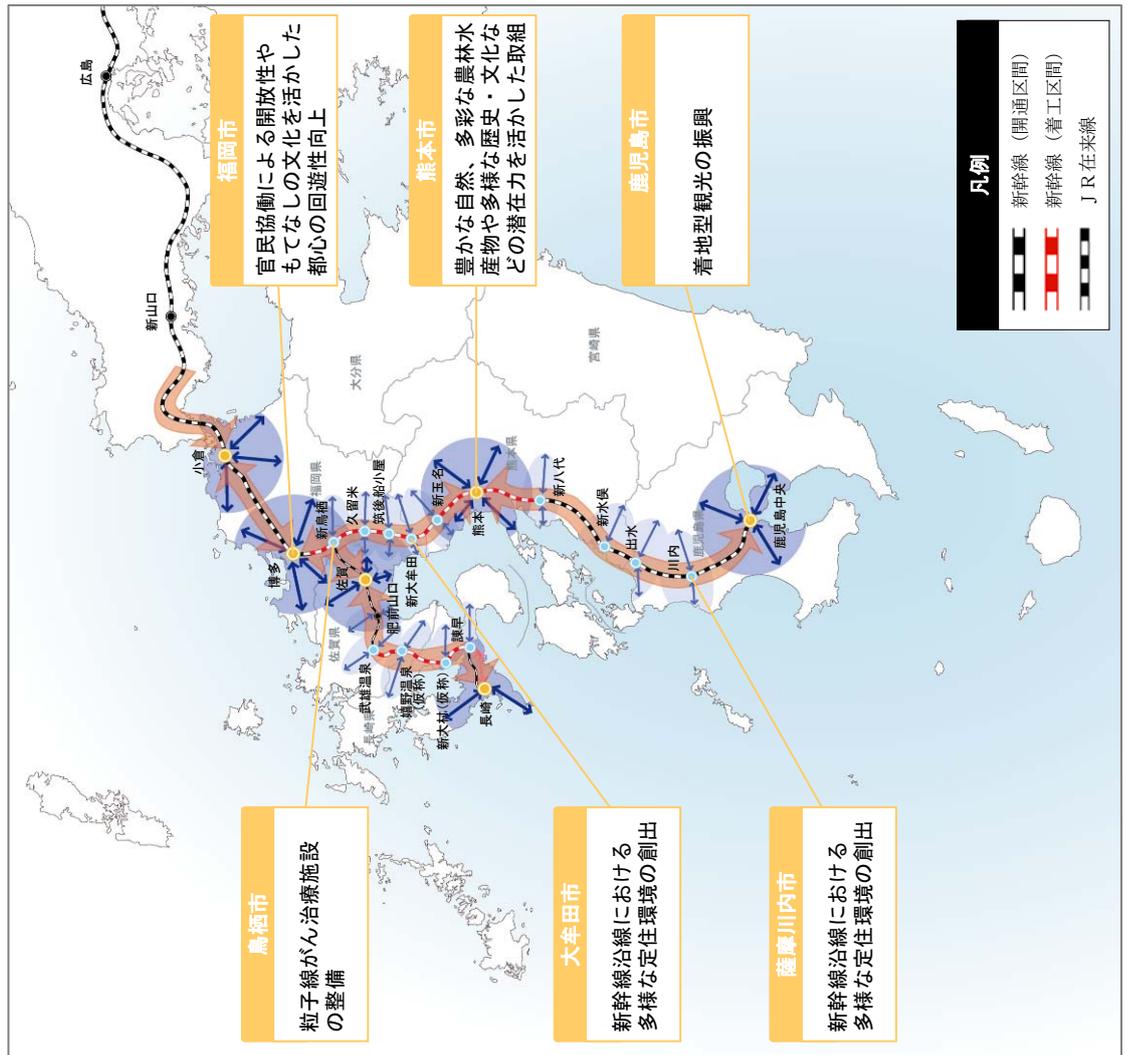
【J R長崎本線連続立体交差事業】 (長崎県)
J R長崎駅からJ R浦上駅までの鉄道高架化により、踏切を無くし、長崎市内の都市交通の円滑化や東西市街地の一体的・均衡ある発展を図る。また、長崎県庁舎移転計画と併せ、観光客をお迎えし、おもてなしをする長崎の「顔」とする。



東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化 (九州新幹線の整備による交流・ビジネス人口の増加、商圏・通勤圏等の拡大)

- ・ 来訪者の増加による地域の活性化を図るため、各新幹線駅周辺の都市のにぎわい創出やビクターズ・インダストリーの振興を推進するとともに、商圏・通勤圏・通学圏や医療圏等の拡大を図るため、広域的な観点からの利用が求められる施設の新幹線沿線における整備や市街地整備等を進める。

<交流・ビジネス人口の増加、商圏・通勤圏等の拡大(イメージ)>



【来訪者の増加による地域の活性化(事例)】

【新幹線くまもと創り】 (熊本県)

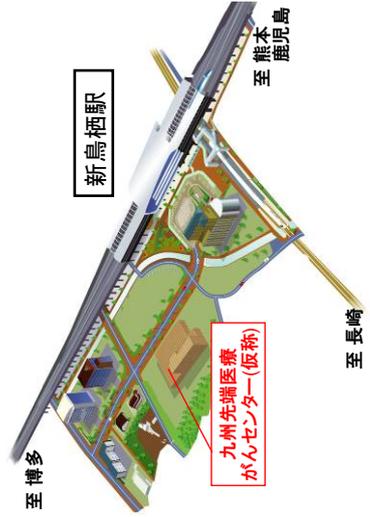
熊本県は、平成23年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業に向けて、中心市街地の活性化および人流人口の増加を目指し、官民協働による様々な取り組み「新幹線くまもと創り」を実施している。このうち、熊本市における市民創造型の祭り「みずあかり」は、熊本の象徴である城下町や水、火をPRすることにより、域外にも熊本の本のイメージを発信している。



【商圏・通勤・通学圏や医療圏等の拡大(事例)】

【粒子線がん治療施設の整備】 (佐賀県)

佐賀県は、九州新幹線による医療圏の拡大に向けて、鹿児島ルートと長崎ルートのクロスポイントである「新鳥栖駅」に着目し、九州初の粒子線がん治療施設となる「九州先端医療がんセンター(仮称)」の立地を進めている。

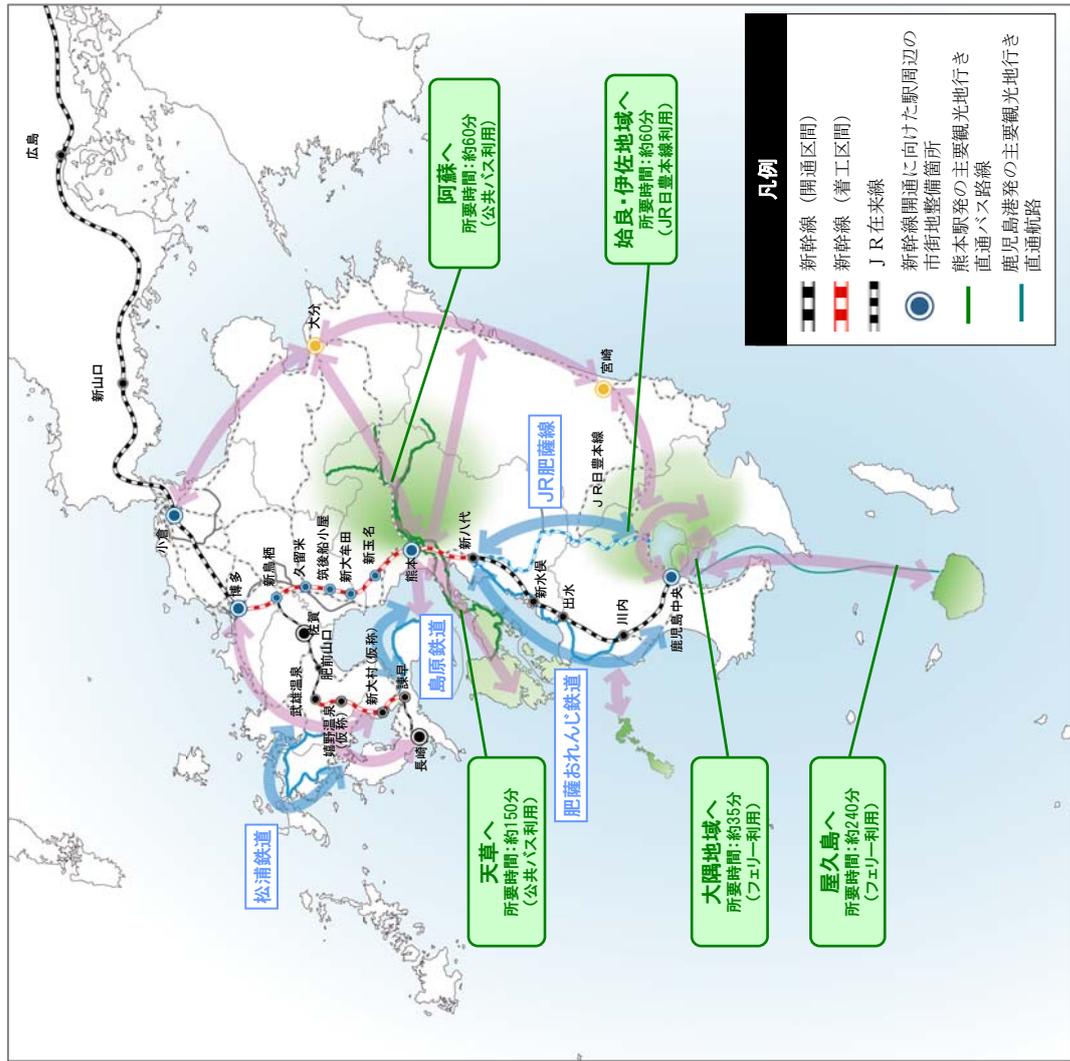


九州新幹線「新鳥栖駅」周辺(完成予想図)

東アジア、近畿圏以西と直結する九州新幹線の整備インパクトの最大化 (増加する交流人口を広域的に広げる対策)

九州新幹線の整備を見据えた魅力ある観光・周遊ルートの形成を図るため、新幹線駅を起終点とした魅力ある広域観光ルートや、新幹線沿線地域から東九州地域等に向けた広域観光ルートの形成を進めるとともに、広域的な波及効果を実現するため、新幹線駅から周辺地域へのアクセスの向上等を推進する。

<主要な新幹線各駅からの交通アクセスの向上に向けた取組 (イメージ)>



【新幹線駅を起終点とした魅力ある広域観光ルートの形成(事例)】

【直通快速列車の運行】

肥薩おれんじ鉄道では、第3セクターによる厳しい経営状況の中で、平成21年5月に策定した肥薩おれんじ鉄道再生プランに基づき、沿線自治体等と連携した乗車運動や新しい旅行商品の開発など、経営状況の改善に向けた取組を進めるとともに、九州新幹線の全線開通も見据え、快速列車の直通運行を推進している。



【蒸気機関車の運行】

日本三大急流の一つである球磨川に沿って、深い渓谷を縫って走る景観を彩るJR肥薩線では、肥薩線全線開通100周年を記念して、熊本～人吉間における蒸気機関車の運行を推進している。



【JR線への乗入れ再開による周遊性の確保】

松浦鉄道沿線の4市4町では、交流人口の増大、地域の活性化および公共交通機関の維持存続を目的として、休止していた松浦鉄道列車のJR線(佐世保～ハウステンボス)への乗入れについて、2年間の実証実験として再開する。



【新幹線駅から周辺地域へのアクセス向上(事例)】

【統一感ある案内標識の充実】(鹿児島県)

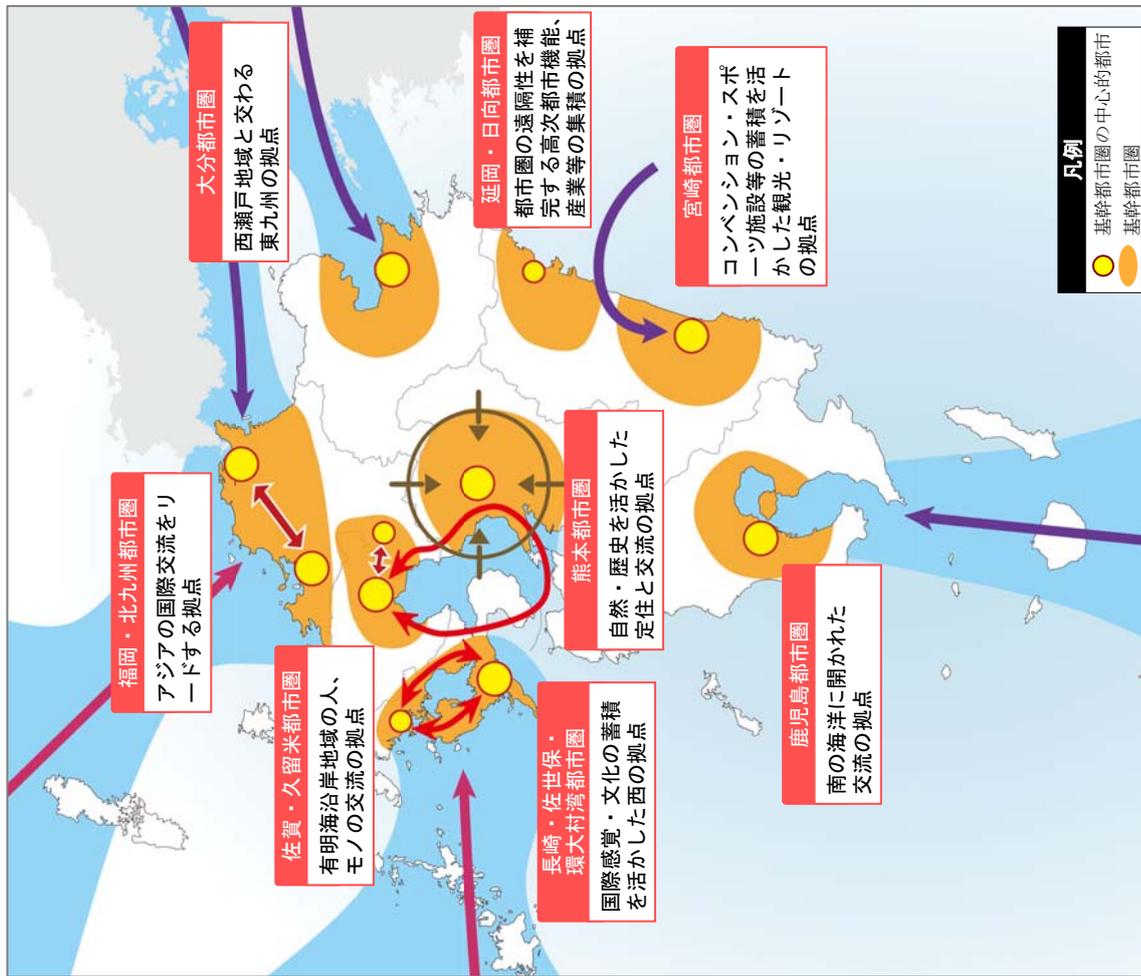
鹿児島県では、鹿児島県内の主要な観光地である霧島地域の誘客促進及び利便性の向上を図るため、観光ルート上における総合観光案内板や統一感のある観光案内標識等の設置を推進する。



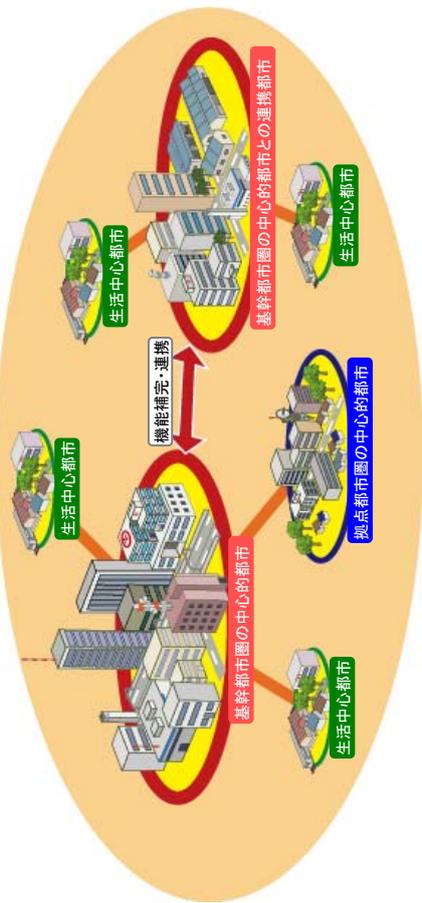
多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成 (多極型圏土構造の極となる基幹都市圏の形成)

九州圏の各地域の個性や魅力を創出する多極型圏土構造の極となる拠点となる拠点を圏域内にバランスよく形成していくことを目指し、福岡・北九州都市圏を中心としたアジア交流広域都市圏の形成を図るとともに、九州圏の東西南北等の拠点としての基幹都市圏における中心的都市と周辺市町村が連携しつつ、その規模や地域特性に応じた個性を活かして魅力の向上を図る。

<多極型圏土構造の極となる基幹都市圏の形成 (イメージ)>



<基幹都市圏の形成イメージ>



【基幹都市圏の形成を目指した展開 (事例)】

【熊本都市圏ビジョン基本構想】(熊本県)

熊本県都市圏では、九州中央の交流拠点の形成を目指して、熊本市と周辺市町村等が連携を図りつつ、「多核連携」を基本理念とした拠点性の向上に向けた様々な取組を推進している。



【コンベンション誘致推進事業】(宮崎県)

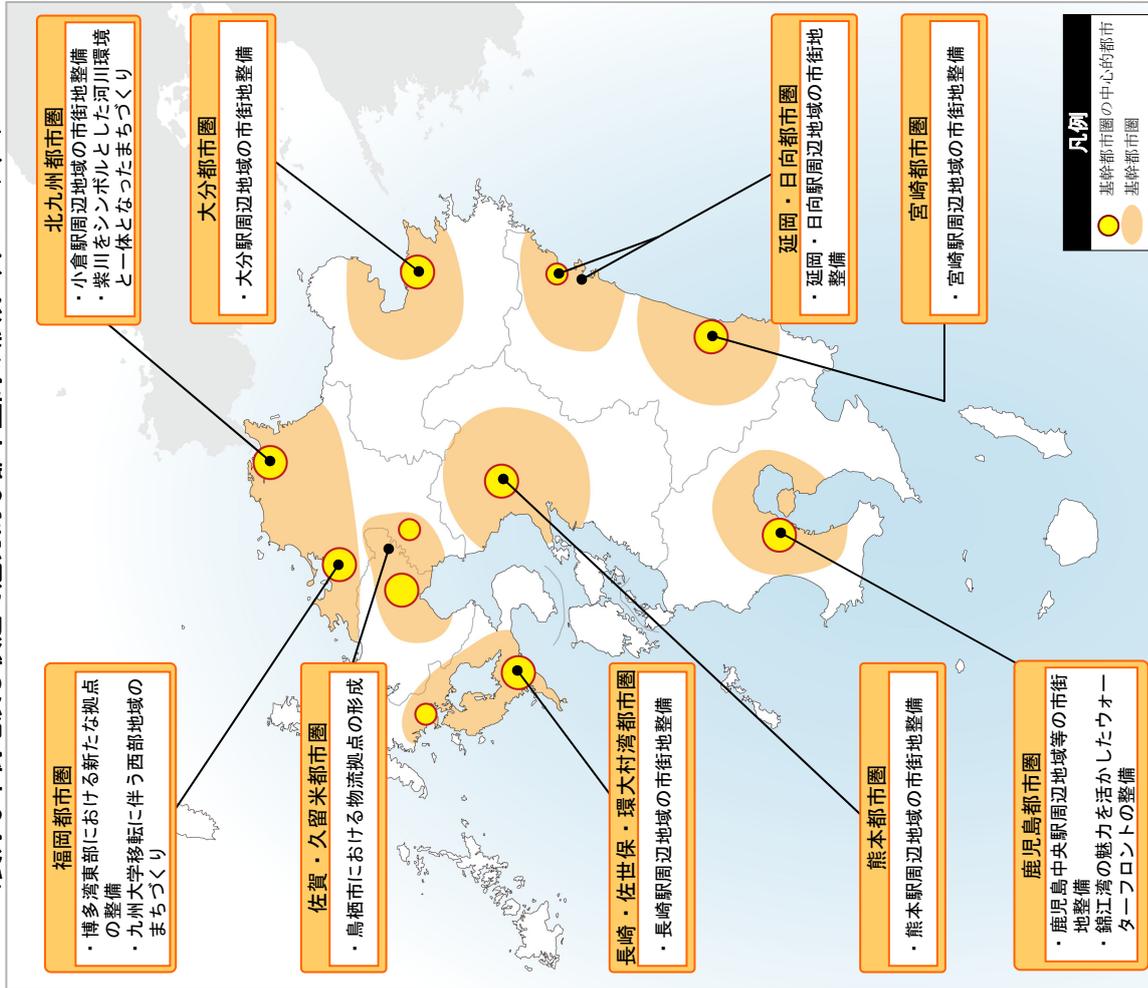
宮崎県では、競争力の高いコンベンション・リゾート施設に地域の魅力を活かした観光メニューを加えることで、コンベンション参加者を始め国内外から多くの人が訪れる観光・リゾート拠点の形成に向けた様々な取組を推進している。



多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成 (高次都市機能が高度に集積する基幹都市圏の形成)

・九州圏に住まう人々に高質の生活サービスや就業機会という、高次の都市的サービスを提供する地域の自立的発展の拠点を圏域内にバランスよく形成していくことを目指して、広域的な都市的利便性を実現する魅力的な基幹都市圏の形成を図る。

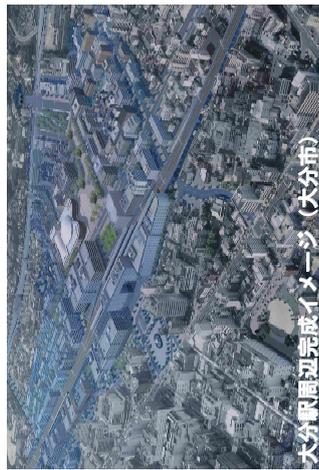
＜良好な市街地及び快適で魅力的な都市空間の形成（イメージ）＞



【良好な市街地の形成（事例）】

【土地区画整理事業等】 （福岡市）

福岡都市圏東部の香椎副都心において良好な市街地を形成するため、鉄道の高架化や幹線道路、駅前広場等の基盤を整備するとともに、副都心の核となる多様な都市機能の導入を図る。



【大分駅周辺総合整備事業】 （大分市）

鉄道により分断されていた大分駅南北市街地の一体化を図るため、連続立体交差事業、土地区画整理事業、関連街路事業の三つの事業を一体とした総合的なまちづくりを進めている。

【都市内交通の円滑化（事例）】



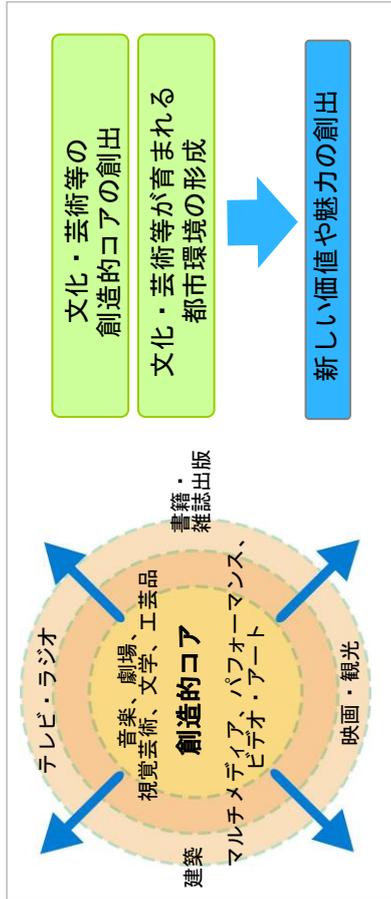
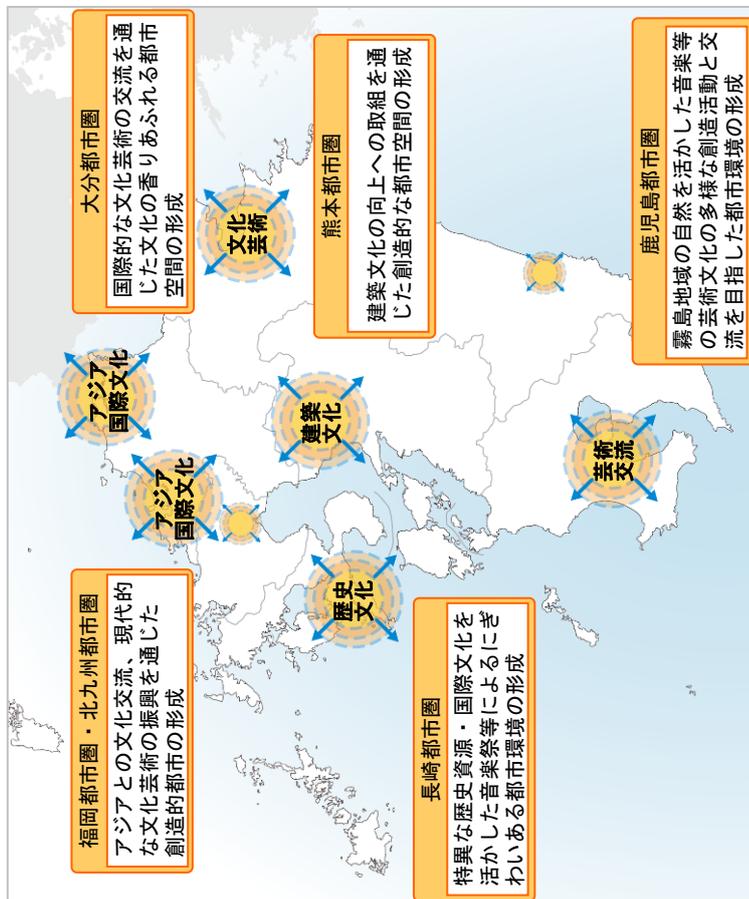
【環状道路の整備】 （熊本市）

都市圏内への流入交通の削減等により、都市内交通の円滑化を図るため、国道3号熊本北バイパス、国道57号熊本東バイパス、熊本西環状線道路等で構成される、地域高規格道路熊本環状道路の整備を推進している。

文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成 (文化芸術等による創造的都市の形成)

- ・創造的な文化芸術活動等を支える都市環境を形成していくため、熊本における建築文化の向上を通じた創造的な都市空間の形成を始めとして、個性豊かな新たな都市文化を創造し、情報発信していく都市環境の形成を推進する。

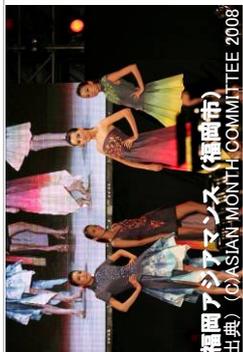
<文化芸術等による創造的都市の形成 (イメージ)>



【文化芸術等による創造的都市の形成 (事例)】

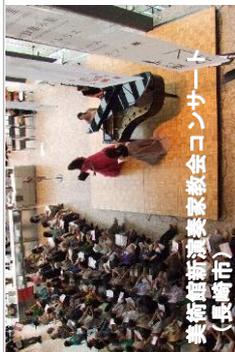
【福岡市文化芸術振興ビジョン】

福岡市では、文化芸術により都市の魅力創出や街の活性化を図るための「文化芸術振興ビジョン」を策定。文化芸術により、市民も都市も元気で、国内外から多彩な人々が集う、魅力あるまちづくりを進めている。



【ながさき音楽祭】

長崎県では、文化による新たなまちづくりとにぎわいの創出を図るため、長崎県美術館や酒蔵、五島・平戸の教会などで演奏会を開催し、文化交流の機会を拡げる等の活動による長崎県の歴史・文化の県外への発信拠点の形成を図る。



【くまもとアートポリス】

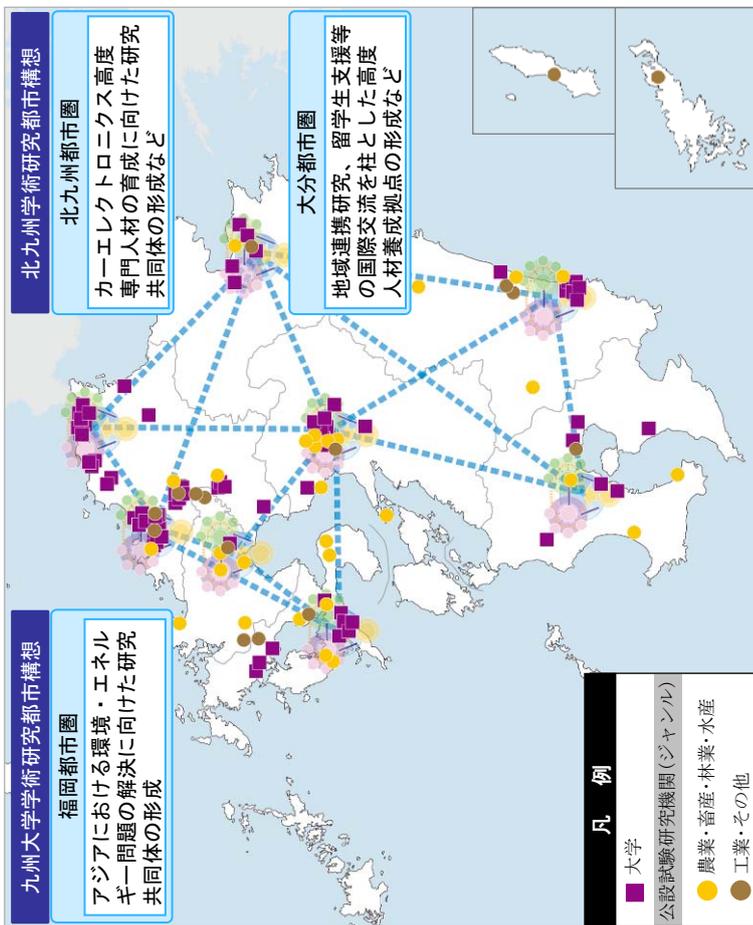
熊本県では、人々の環境デザインに対する関心を高めるとともに、都市文化並びに建築文化の向上を図り、地域活性化に貢献することを目指したアートポリス事業を昭和63年より実施している。デザイン性に優れた建築物の増加は、熊本独自の魅力ある文化の生活創造に大きく貢献している。



文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成 (知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成・確保)

・知識集約化による創造的都市の形成を図るため、技術イノベーション、国際化等の面で地域発展の原動力となる大学、研究開発機関等の高度な集積環境の形成を図るとともに、新たな産業の発展に結び付けていくための共同研究開発等を推進する。

<知識集約化による創造的都市の形成(イメージ)>



【知識集約化による創造的都市の形成(事例)】

【北九州学術研究都市圏】

先端技術開発の頭脳となる理工学系の国立・公立・私立大学や研究機関等を集積し、学術研究機能と産業界との連携を促進することにより、産業の高度化、新産業の創出を図り、ハイレベルな教育研究環境の形成と未来を担う人材の育成を行っている。

九州大学術研究都市圏(福岡市)

九州大学伊都キャンパス鳥瞰図(福岡市)

【九州大学術研究都市圏】

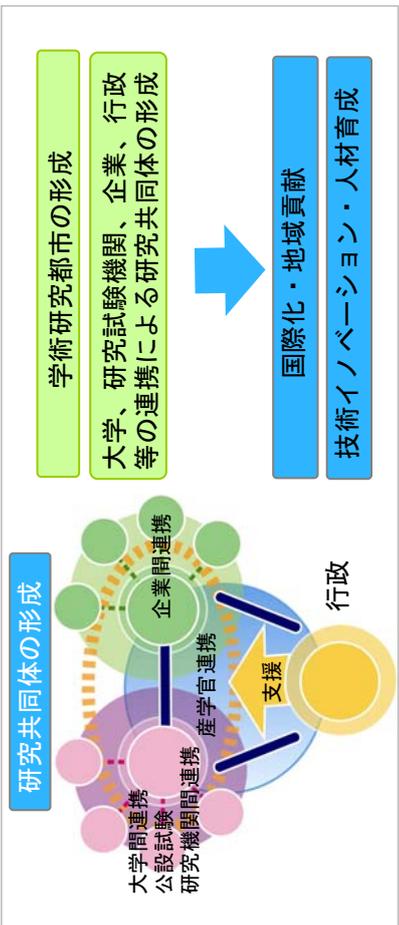
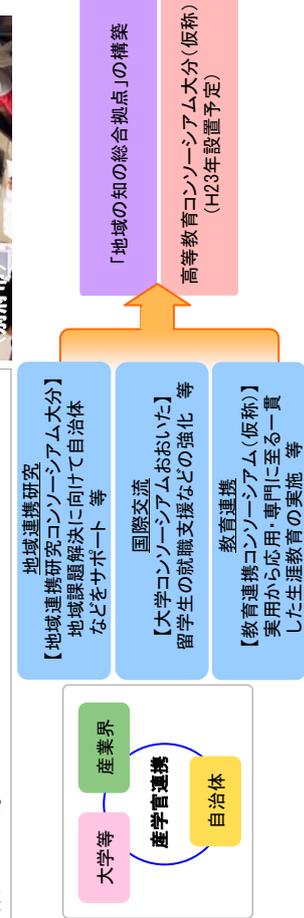
(財)九州大学学術研究都市推進機構のもとに、産官の連携により、九州大学の知的資源の活用と産業界の需要とを結びつけた伊都キャンパスを核とした日本とアジアの知的交流拠点としての学術研究都市づくりを進めている。

【地域連携研究・留学生支援等を柱とする高度人材養成拠点の形成】

大分県では、数多くの留学生が学び、生活をしているという地域特性を活かし、県民と留学生との交流を促進しながら、留学生に対する支援、地域社会との連携並びに国際性溢れる人材の育成等を図り、知の総合拠点を形成している。

【地域連携研究・留学生支援等を柱とする高度人材養成拠点の形成】

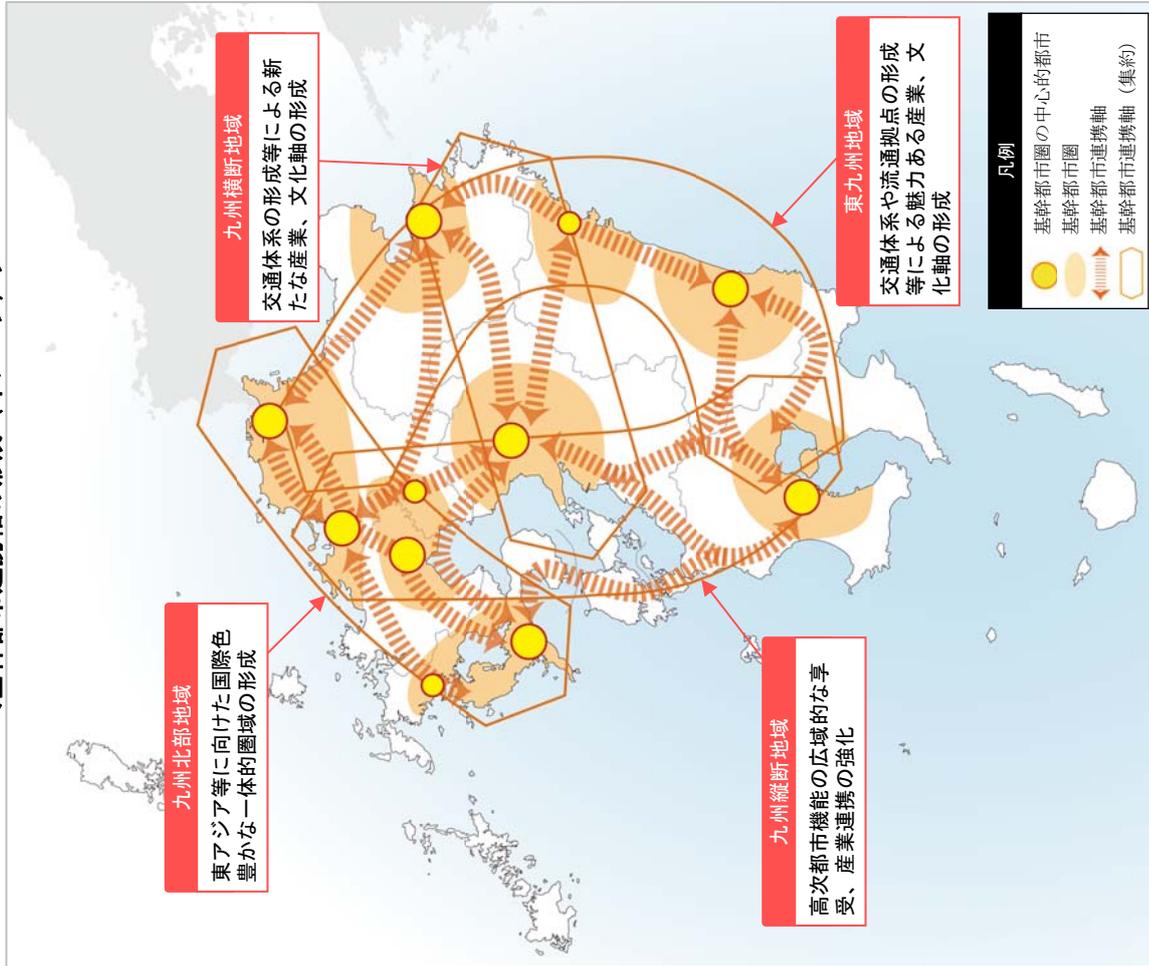
大分県では、数多くの留学生が学び、生活をしているという地域特性を活かし、県民と留学生との交流を促進しながら、留学生に対する支援、地域社会との連携並びに国際性溢れる人材の育成等を図り、知の総合拠点を形成している。



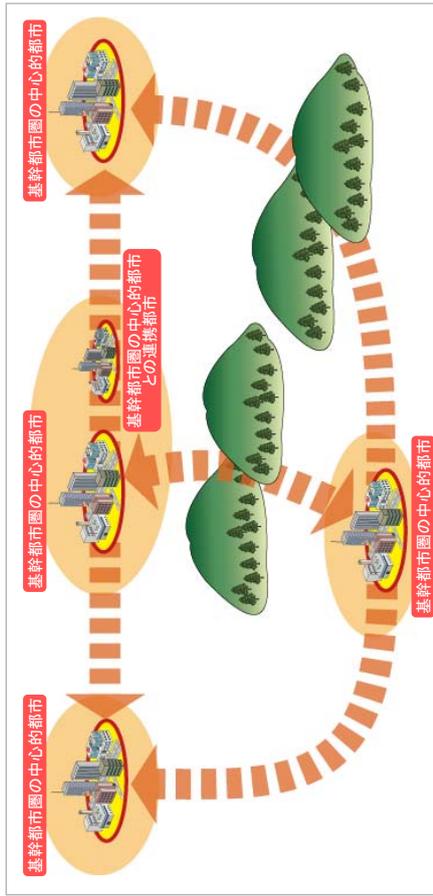
九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成 (基幹都市圏を有機的に連結する基幹都市連携軸の形成)

九州圏の高次都市機能が集積する基幹都市圏間において、広域的な交流・連携を推進し、圏域の一体的な発展を実現するため、これらを有機的に連結する基幹都市連携軸の形成を図る。

<基幹都市連携軸の形成 (イメージ)>



<基幹都市圏間の交流・連携 (イメージ)>



【九州縦断地域における交流・連携 (事例)】

【新幹線開業を見越した交流連携 (福岡市、熊本県、鹿児島市)】

九州の縦軸を構成する福岡、熊本、鹿児島3市では、九州圏の一体的な発展にも寄与する高次都市機能の広域的な享受や産業連携の強化に向けて、九州新幹線の全線開業を見越した様々な取組を推進している。



【東九州地域における魅力ある産業、文化軸の形成 (事例)】

【東九州軸構想の推進 (東九州軸推進機構)】

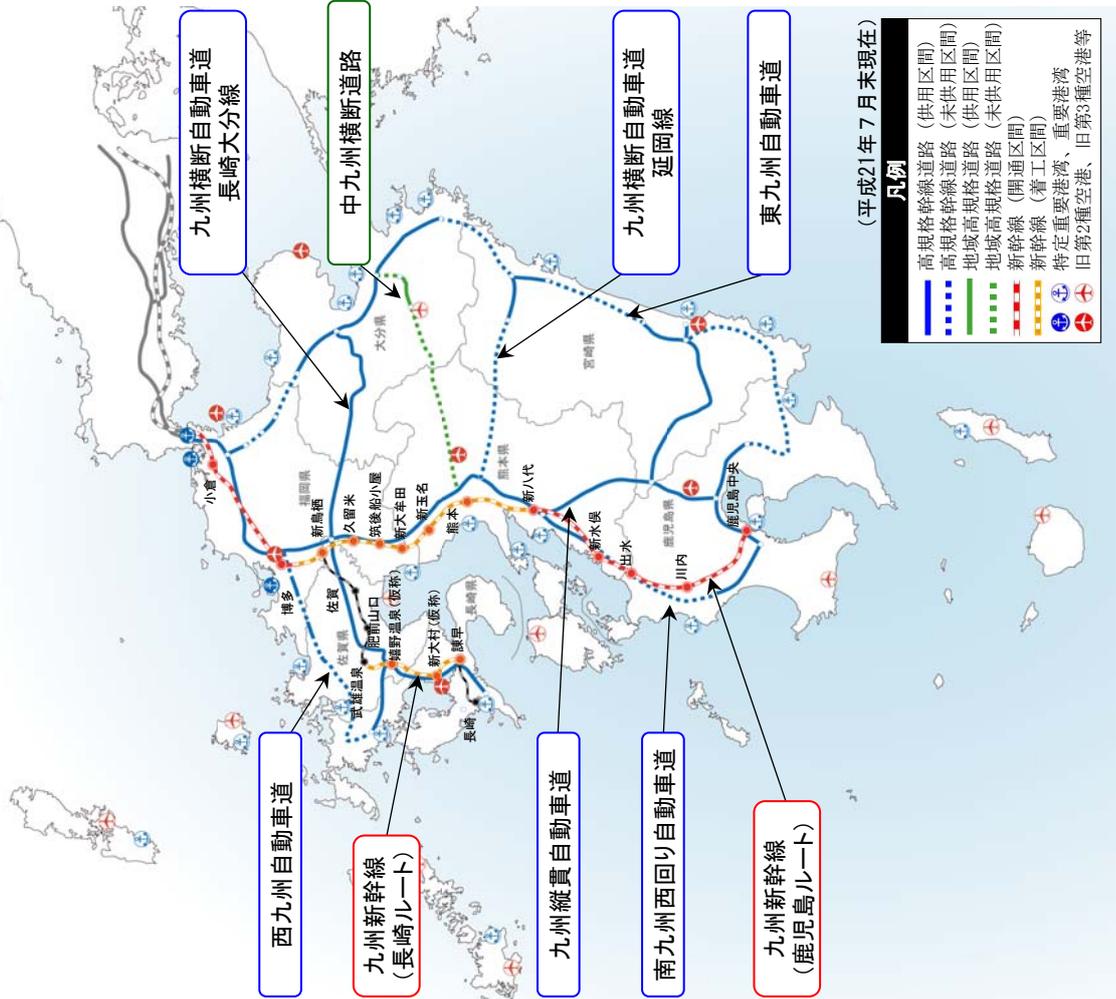
東九州地域では、産業、経済を始めとする地域社会の活性化を図ることにより魅力ある東九州経済圏へと発展させるため、東九州地域の関係機関や団体、企業等が一体となって東九州軸の構築を図る取組を推進している。



九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成 (基幹都市連携軸を支える高速交通基盤の整備 (その1))

九州圏の高次都市機能が集積する基幹都市圏等において、広域的な交流・連携を推進し、圏域の一体的な発展を実現するため、これらの交流・連携を支える高速交通基盤の整備を推進する。

<基幹都市連携軸を支える高速交通基盤の整備 (イメージ)>



【基幹都市圏間等の連結 (事例)】

【高規格幹線道路の整備】 (西九州自動車道)

九州西北部の地域経済の活性化および高速定時制の確保を図るため、福岡市から唐津市、佐世保市を経て武雄市に至る主要都市を結ぶルートにおいて、高規格幹線道路の整備を推進している。

【地域間移動の利便性の向上 (事例)】

【高速バスロケーションシステム】

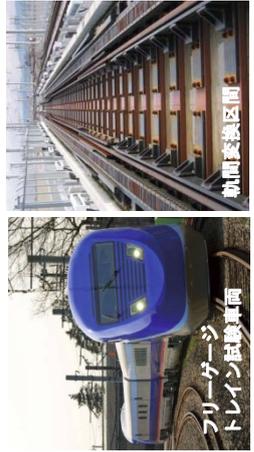
地域間移動の利便性向上に向け、高速バスロケーションシステム (高速バス等の走行履歴を収集し、遅れ時間や乗り継ぎ情報等を携帯電話やパソコンに提供するシステム: Qパスサーチ) を導入し、高速バス相互の乗り継ぎ情報の提供など「Qパスサーチ」を活用した施策などの取り組みを推進している。



【高速幹線交通の形成 (事例)】

【九州新幹線長崎ルートの整備】

地域の自立的発展および交流人口の拡大を図るため、九州新幹線長崎ルートを整備を推進するとともに、整備に当たっては、標準軌の新幹線区間と狭軌の在来線区間の直通運転を可能とするフリーゲージトレイン計画を計画している。



九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成
(基幹都市連携軸を支える高速交通基盤の整備 (その2))

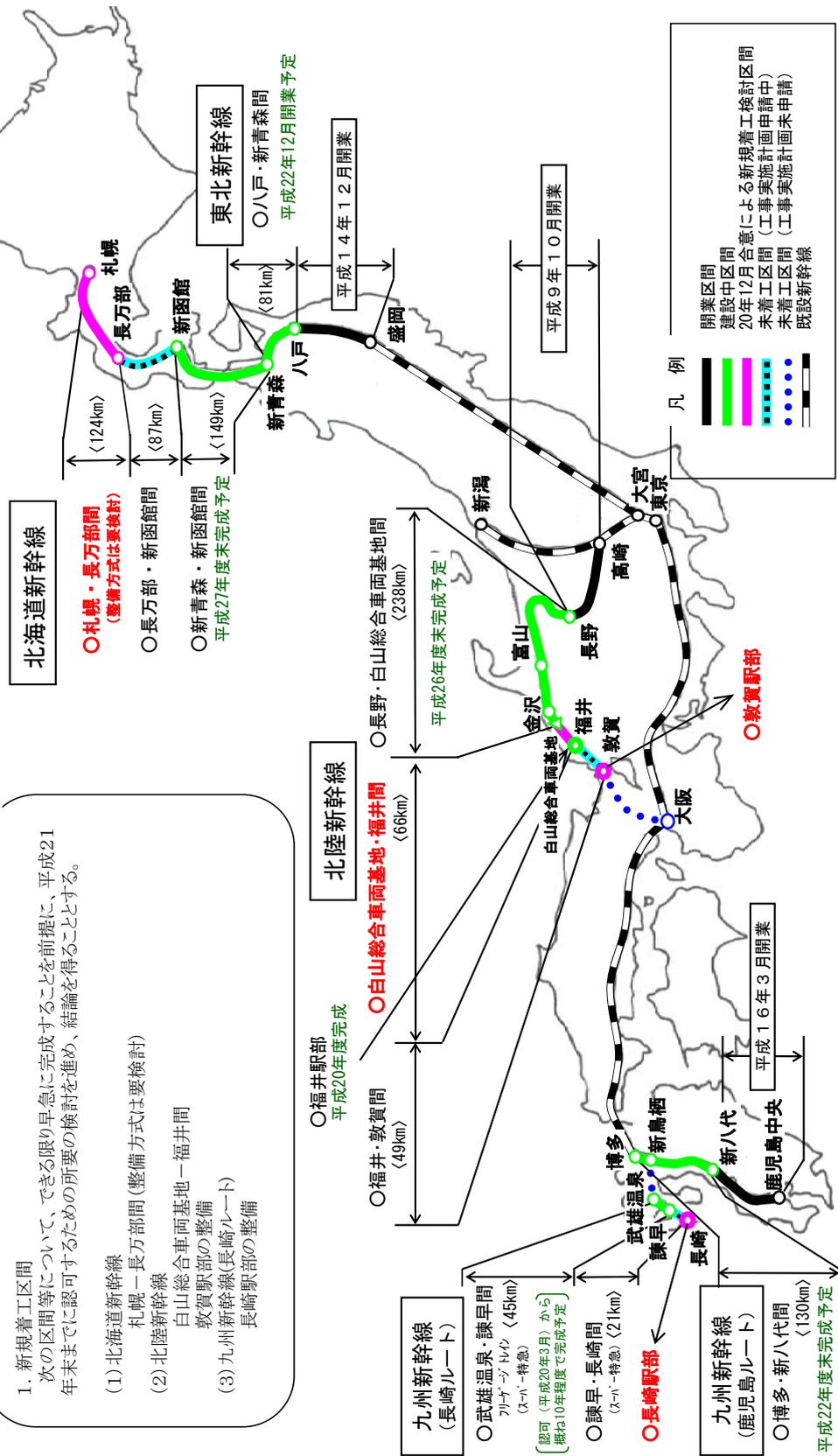
・高速幹線交通の形成を図るため、九州新幹線鹿児島ルート及び長崎ルートについては、整備新幹線に係る政府・与党申合せ等に基づき、着工区間の着実な整備を進めるとともに、それ以外の区間について所要の事業を進める。

整備新幹線に係る政府・与党ワーキンググループにおける合意事項
(平成20年12月16日)

整備新幹線に係る政府・与党ワーキンググループにおける合意事項(抄)

1. 新規着工区間
次の区間等について、できる限り早急に完成することを前提に、平成21年未だに認可するための所要の検討を進め、結論を得ることとする。

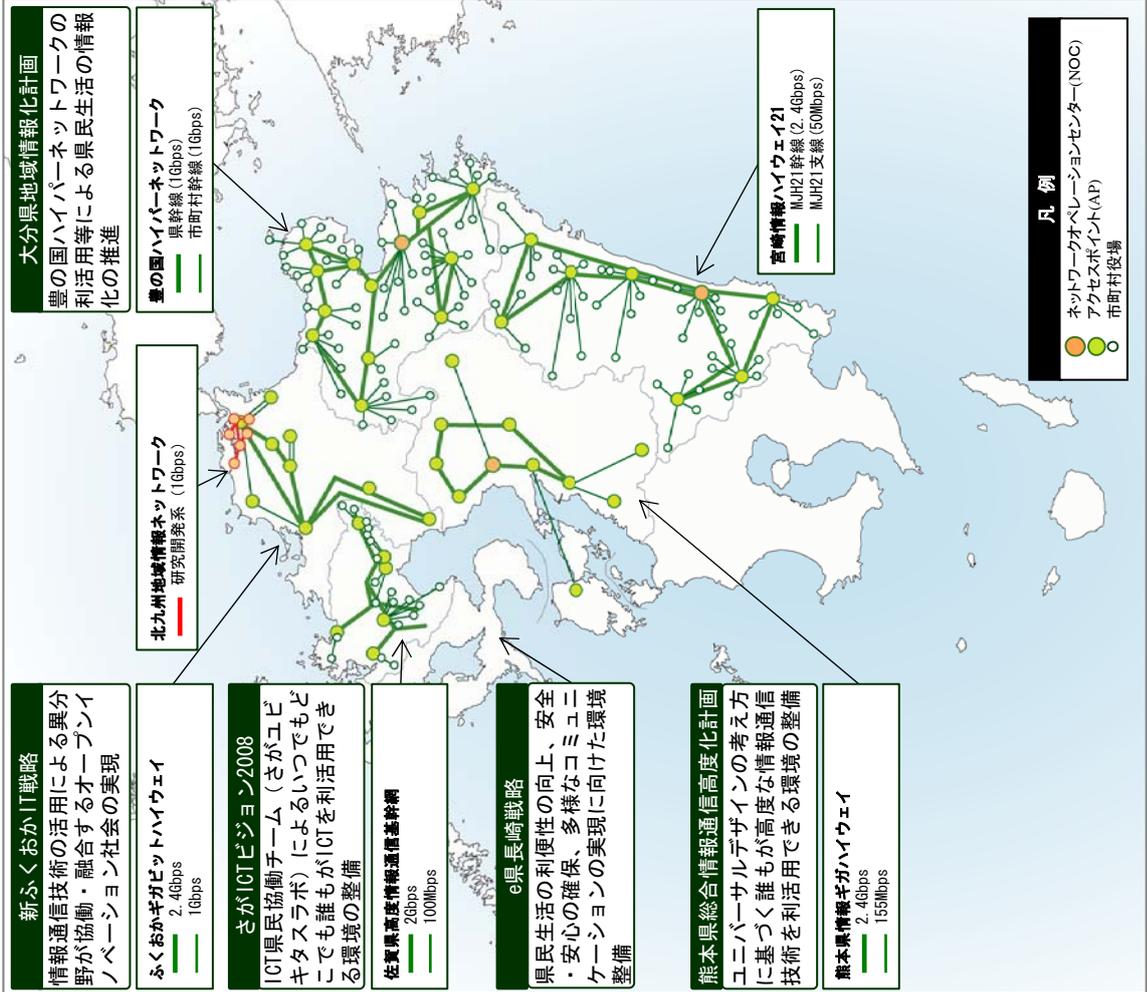
- (1) 北海道新幹線
札幌ー長万部間(整備方式は要検討)
- (2) 北陸新幹線
白山総合車両基地ー福井間
敦賀駅部の整備
- (3) 九州新幹線(長崎ルート)
長崎駅部の整備



九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成 (高度な情報通信技術の活用環境の総合的な整備)

- 九州圏における広域的な交流・連携を推進し、圏域の一体的な発展を実現するため、九州各地における高速情報通信基盤の整備状況に応じて、高度な情報通信技術の活用を総合的に推進する。

<高度な情報通信技術の活用環境の総合的な推進 (イメージ)>



【高度な情報通信技術の活用環境の総合的な推進 (事例)】

【ふくおかイノベーション構想】 (福岡県)

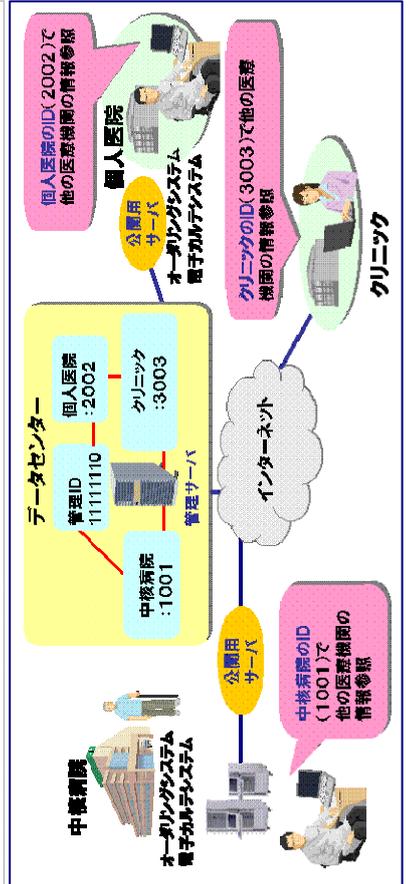
福岡県では、IT関連の産業・研究が集積する福岡の強みを活かし、新しい発想の商品やサービスの市場化を目指す企業、試作品作成、テストマーケティング等の全体のエコシステムネットワーク機能を実現するべくおおかITイノベーション構想を推進している。

<ふくおかイノベーション構想の推進(商品・サービス開発フロー)>



【地域ICT利活用モデル構築事業】 (佐賀県)

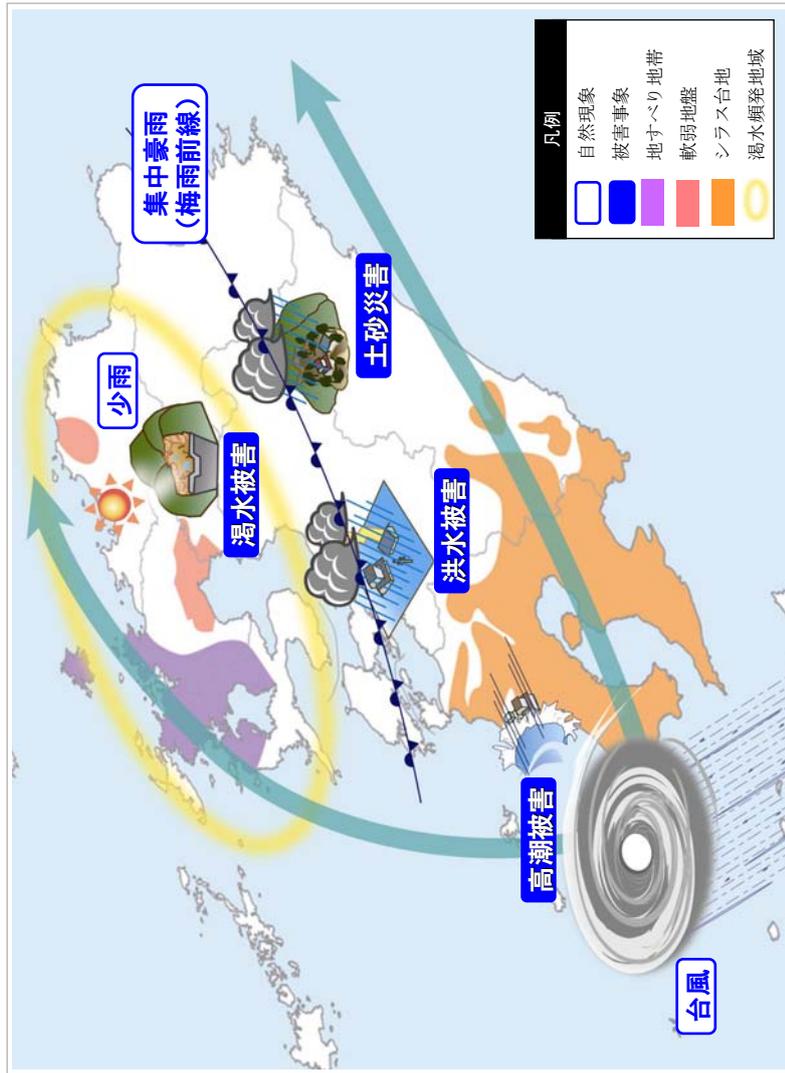
佐賀県では、地域医療機関同士で患者のIDを共有し、各々の医療機関が保有している診療情報をリンク収集できる「佐賀県民健康情報連携システム」を構築し、中核的医療機関の診療情報をかかりつけ病院で参照できるようにして、かかりつけ病院において、適時・適切な医療を提供できるようにする。



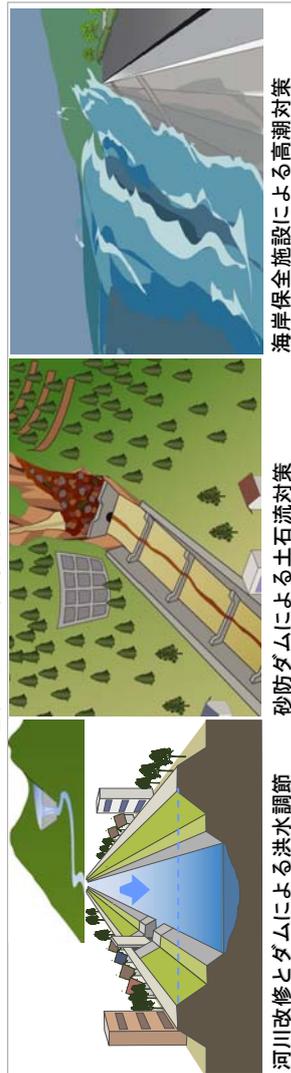
減災の視点も重視した災害に強い地域づくり （災害に強い地域づくりの実現に向けたハード対策の推進（その1））

・九州圏は、全国よりも早く異常気象の増加等に伴う災害の影響を受けることが懸念される圏域として、増大する様々な災害リスクに対して柔軟に対応できる圏域の形成を目指し、災害に強い地域づくりの実現に向けたハード対策を重点的に実施していく。

＜九州圏における災害発生イメージ（水害・土砂災害など）＞



＜想定される災害対策（イメージ）＞



【洪水等による災害の発生防止対策（事例）】

【ダム建設・再開発事業等の推進】

川内川流域の洪水被害を軽減するため、既設鶴田ダムの利水容量等を洪水調節容量に振り替えて洪水調節容量を増量を行うとともに、放流設備を増設することにより洪水調節機能を強化する。



【豪雨等による土砂災害防止機能の強化（事例）】

【特定緊急地すべり対策事業の推進】

地すべり等により人的被害、家屋被害等が発生した一定の地区について、被害をもたらした同規模の地すべりが再び発生した場合でも、安全が確保されるよう、周辺地域を含めた抜本的対策の集中的・重点的実施により、地すべりの現象を抑制・抑止する施設の整備を促進する。



【高潮等による災害の発生防止（事例）】

【海岸保全施設整備事業の推進】

高潮、波浪等の海水による災害を防止し、海岸背後地の住民の人命・資産を守るため、別府港海岸（北浜地区・餅ヶ浜地区・上人ヶ浜地区）において、波浪・高潮および地震に対する防護機能に加え、背後のまちづくりと一体となった良質な多面的機能を持った海岸保全施設の整備を図る。



【再度災害の防止に向けた対策の重点化（事例）】

【激甚災害対策特別緊急事業の推進】

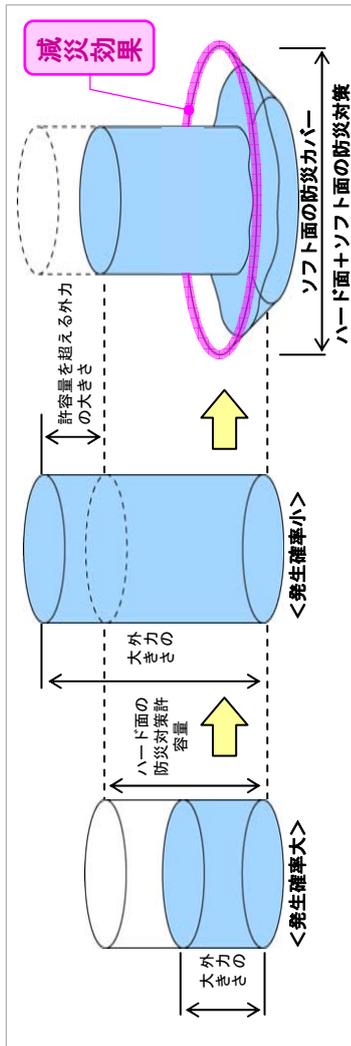
梅雨前線に伴う豪雨により、甚大な土砂災害が発生した美里町では、砂防激甚災害対策特別緊急事業による砂防えん堤などの施設整備を、災害関連緊急砂防事業と併せて実施することにより、一連地区の再度の土砂災害の防止を図る。



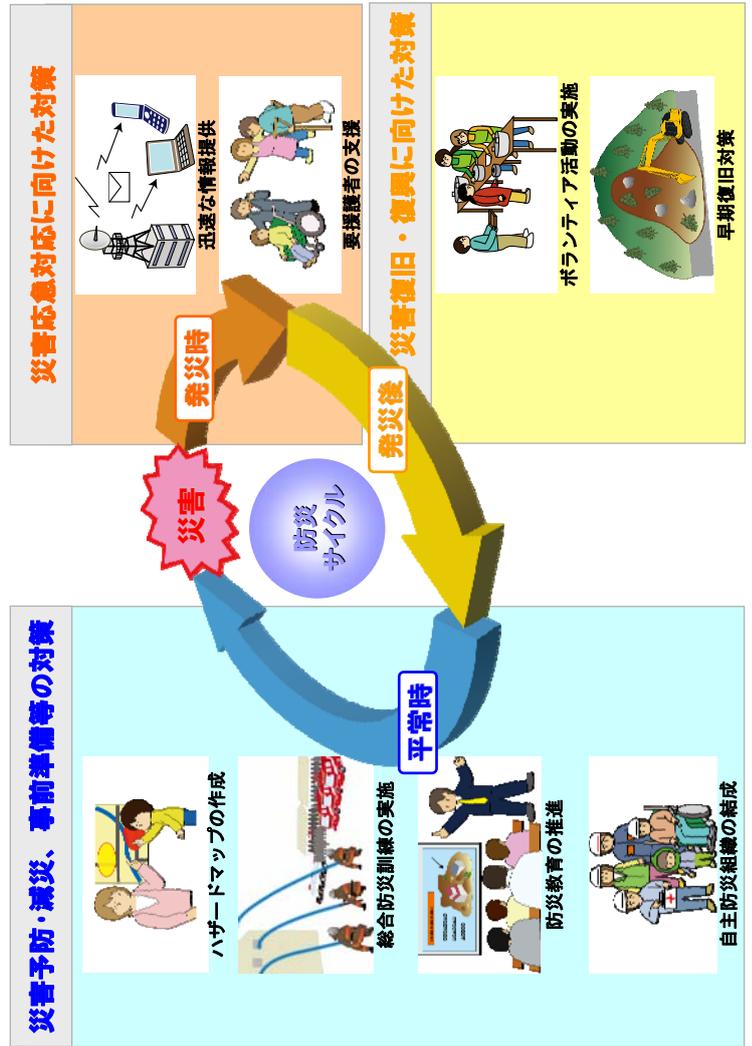
減災の視点も重視した災害に強い地域づくり (減災の視点も重視したソフト対策の強化)

・減災の視点も重視したソフト対策の強化に向けて、平常時から災害予防・減災、事前準備等の対策、発災時における災害応急対応に向けた対策、発災後における情報共有、災害復旧・復興等に向けた対策及び地域防災の担い手の育成を推進する。

<ソフト防災対策の必要性(イメージ)>



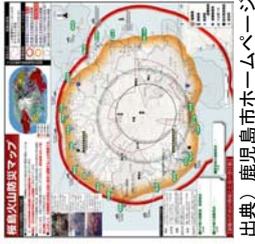
<防災対策の流れ(イメージ)>



【平常時に行う災害の予防対策(事例)】

【桜島広域火山防災マップの作成】 (鹿児島市、垂水市、鹿児島県など)

桜島における大規模噴火発生後において、数時間以内に危険な状態になる可能性のある範囲を示した「桜島火山防災マップ」を作成・配布し、市民に大規模噴火が始まる前に島外に避難するよう呼びかけている。



出典) 鹿児島市ホームページ

【大規模津波防災総合訓練】 (宮崎県、宮崎市ほか、国の機関など)

東南海・南海地震に伴う津波対策として、宮崎県・大分県の沿岸地域における行政、自衛隊、警察等が広域的に連携した対策を進めており、平成20年10月には「大規模津波防災総合訓練」が実施された。



進研防災急復旧訓練(宮崎市)

【発災時の迅速な情報提供(事例)】

【災害調査用ヘリによる情報収集】 (九州地方整備局、各県・市など)

発災直後の情報の収集・連絡、活動体制の確立等の対応として、CCTVカメラ、災害調査用ヘリコプター等による迅速な情報収集、多様な通信手段を活用した情報提供等の体制の構築を進めている。



災害調査用ヘリコプター
(九州地方整備局)

【発災後の早期復旧に向けた取組(事例)】

【災害ボランティアの支援】 (各県・市町村など)

佐賀県では、平成17年10月に開設した、防災対策拠点「佐賀県危機管理センター」内に全国で初めてボランティア活動が円滑に実施できるよう、連絡・調整のためのスペースを設置し、被災者の救済、食事配給および被災家屋の片付け・清掃など、近隣住民や遠方からの災害ボランティアの受け入れ体制づくりを進めている。

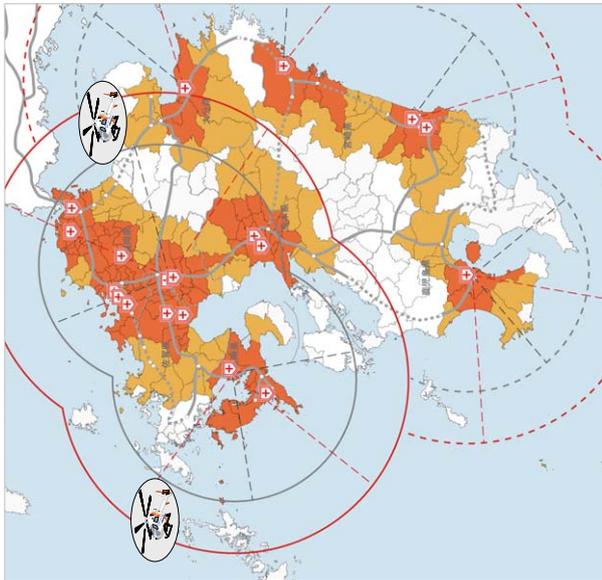


災害ボランティア活動

安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成 (九州圏のどこに住んでも、救急・高度医療を受けられる生活環境の形成)

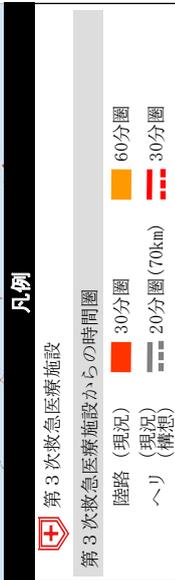
- ・九州圏のどこに住んでも、救急・高度医療を受けられる生活環境の形成に向けて、災害時・緊急時・緊急時の救急医療における広域的な連携強化、救急医療体制の充実や高度医療体制の強化を図っていく。

＜救急・高度医療の広域的な連携強化＞

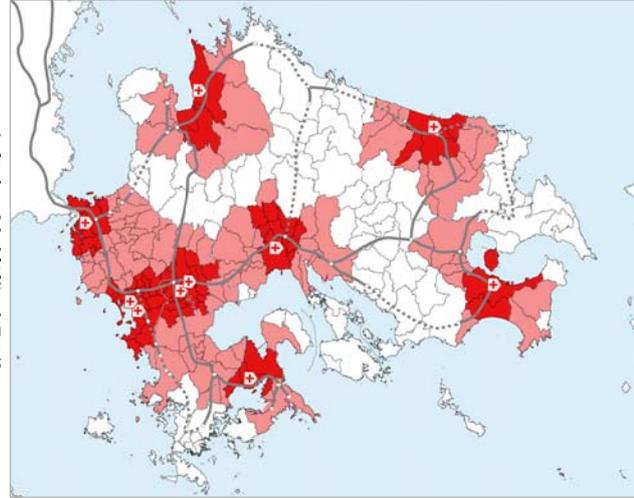


【ドクターヘリの運航】

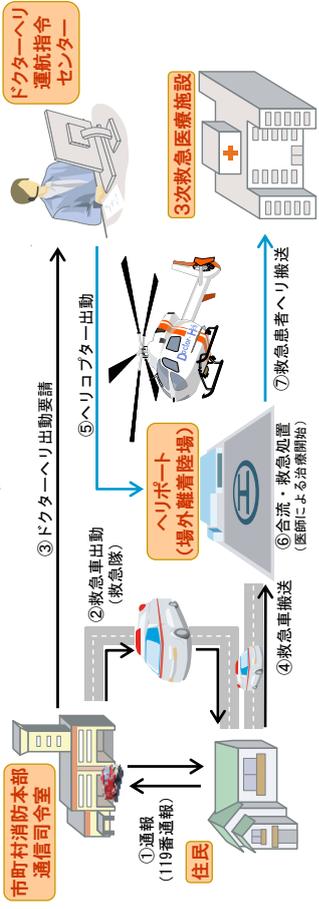
救急救命処置を必要とする患者が発生した現場に医師を到達させ、救急処置を迅速に開始できるようにするため、へき地、離島における救急医療体制の充実にもつなげる救急医療専用ヘリコプター（ドクターヘリ）の運航について、既に導入されているドクターヘリの共同利用を推進するとともに、未導入地域への導入を検討している。



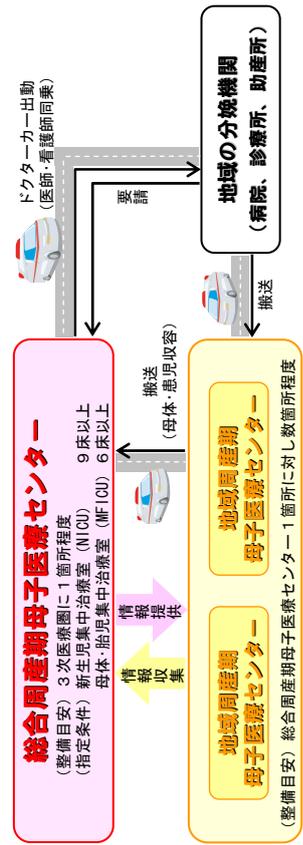
＜救急医療体制の充実＞



＜ドクターヘリの現場出動の流れ (イメージ)＞



＜周産期医療ネットワーク (イメージ)＞

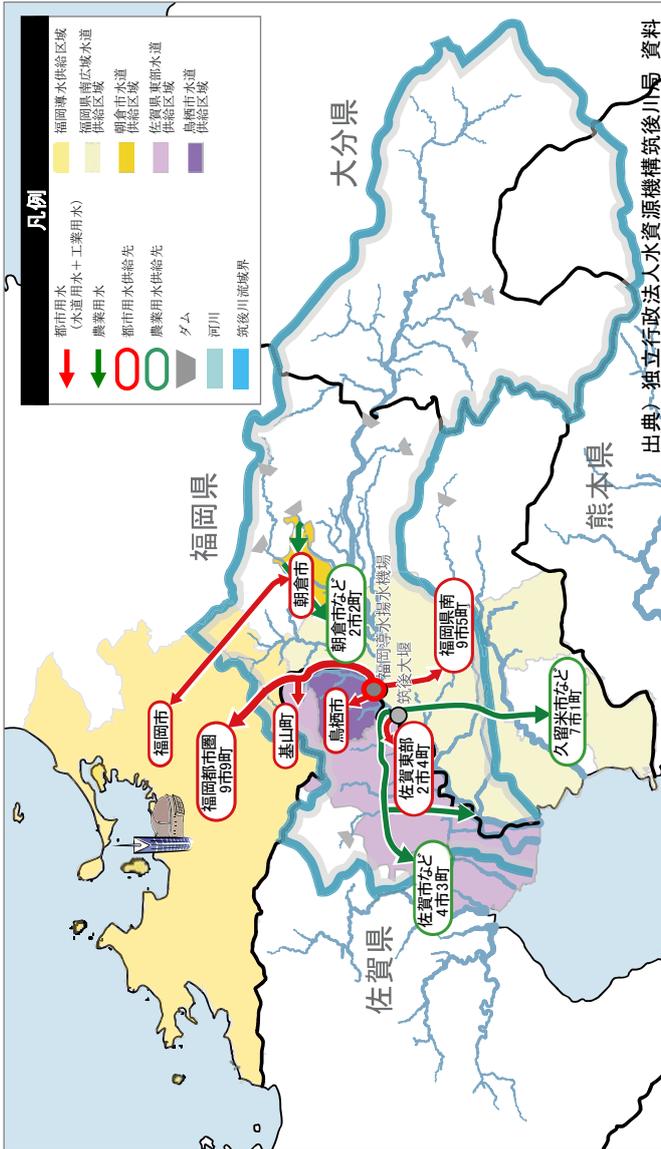


出典) 独立行政法人 福祉医療機構ホームページを基に作成

安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成 (北部九州における安定的な水資源の確保)

- ・北部九州における安定的な水資源の確保に向けて、広域的な連携強化や水を大切に使う循環型社会の形成を図るとともに、地震等の自然災害や施設事故等の緊急時における対策を推進する。

＜北部九州における広域的な水資源施設（イメージ）＞



【安定的な水資源の確保（事例）】

【多目的ダムの建設】

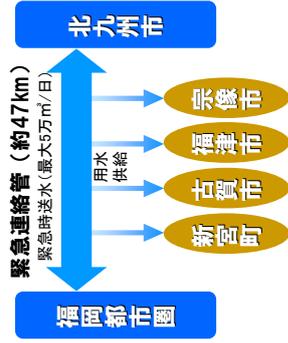
北部九州における都市用水などの水資源を安定的に供給するため、治水や周辺地域への利水を目的とした多目的ダムである大山ダムの建設を推進する。



【地震等の自然災害や施設事故等の緊急時における対策（事例）】

【北九州市と福岡都市圏における緊急時の相互連携】

北九州市と福岡都市圏間において、地震等の自然災害や施設事故等の緊急時における水道用水の都市間相互連携を図るため、緊急連絡管（約47km）の整備を推進している。また、緊急時の迅速な対応を图るため、平常時において、連絡管の維持用水を福岡都市圏の宗像市、福津市、古賀市および新宮町の3市1町に、合わせて最大日量2万2千m³供給する。

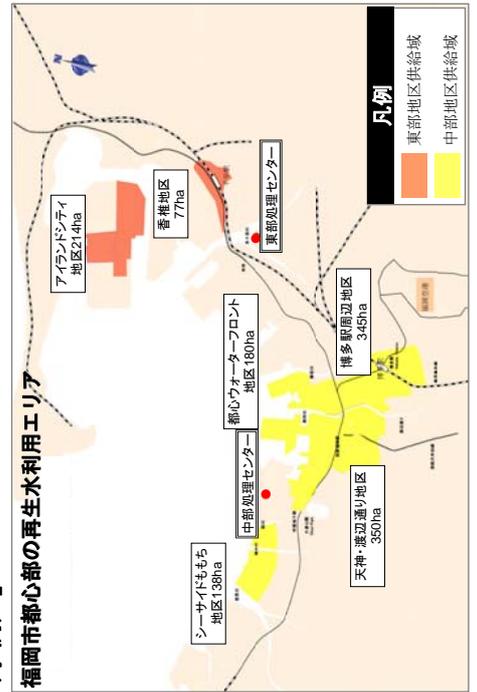


北部福岡緊急連絡管事業（イメージ）

【水を大切に使う循環型社会の形成（事例）】

【福岡都心部の再生水利用】

福岡市では、限られた水資源の有効活用を図るため、福岡市内に大型建築物を建てる場合に雑用水道の設置を義務付けており、都心部における再生水利用を積極的に推進する。



福岡市再生水利用
下水道事業の
ロゴマーク

【水を大切に使う循環型社会の形成（事例）】

【雨水の保水・浸透】

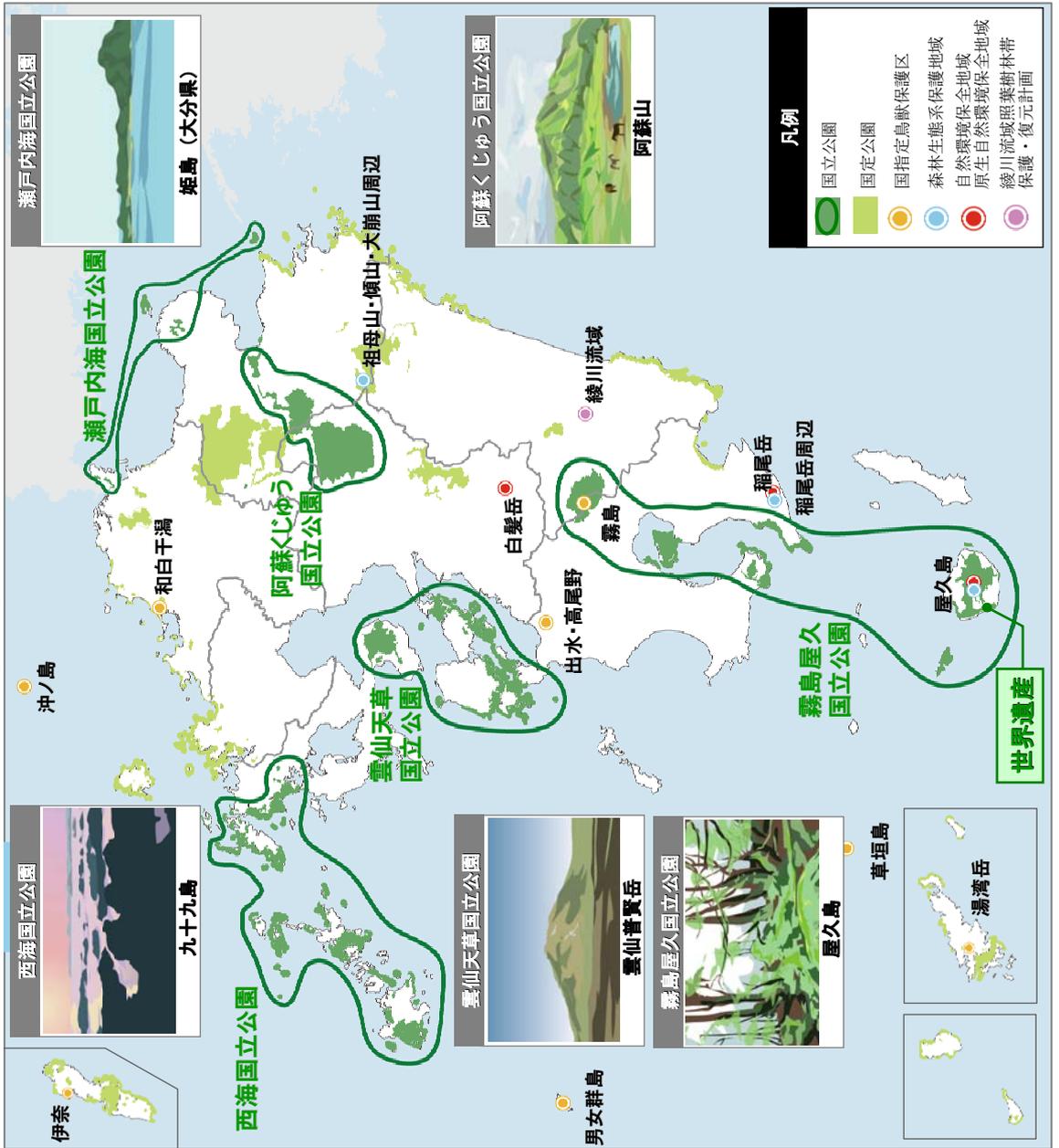
福岡市は福岡大学の仮設サッカー場整備を契機に協力連携し、雨水の流出抑制及びヒートアイランド対策、地下水かん養等に効果のある、保水・浸透機能を実証する人工芝グラウンドの実証研究を推進している。



美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり (豊かな自然環境・景観の保全)

- 九州圏の豊かな自然と人が持続して共生していくため、豊かな自然環境・景観の保全に向けて、自然的・社会的諸条件からみて、国立公園などの特に重要な地域の自然環境の保全、適切な利用等を推進するとともに、森林生態系保護地域や貴重な自然林の保全を図る。

<豊かな自然環境・景観の保全(イメージ)>



【特に重要な地域の自然環境の保全・適切な利用(事例)】

【阿蘇草原再生】(阿蘇くじゅう国立公園)

平成17年に設立され、各種団体や個人で構成される「阿蘇草原再生協議会」では、阿蘇草原再生の指針となる全体構想を策定し、この全体構想の考え方を共通認識として、各構成員が阿蘇の草原再生事業を進めている。

出典)九州地方環境事務所



【世界遺産地域の保全】(屋久島)

屋久島の環境保全に関わる関係機関・団体で構成する屋久島山岳部利用対策協議会では、屋久島を訪れる方々に募金いただくことにより、山岳部の込み取り式トイレのし尿を里地の処理施設まで人力で搬出し、環境保全に努めている。



【貴重な自然環境の保全(事例)】

【綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画】(宮崎県、綾町)

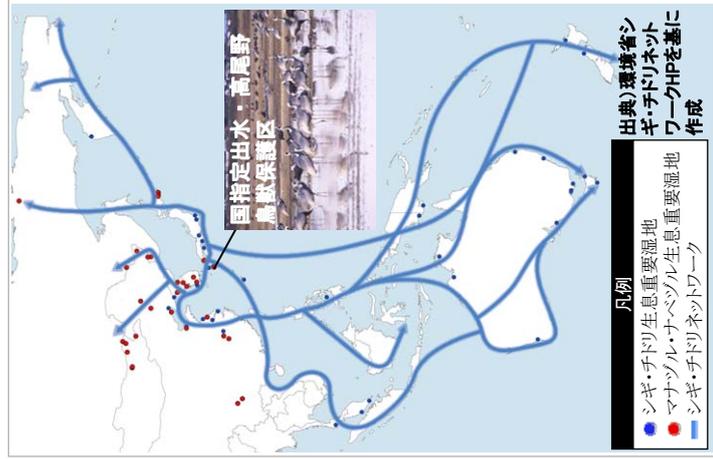
綾町では、貴重な地域資源の照葉樹林について、関係機関とともに保護・復元を図る「綾の照葉樹林プロジェクト」を推進しており、官民協働により、活動の輪を広げている。

出典)九州森林管理局

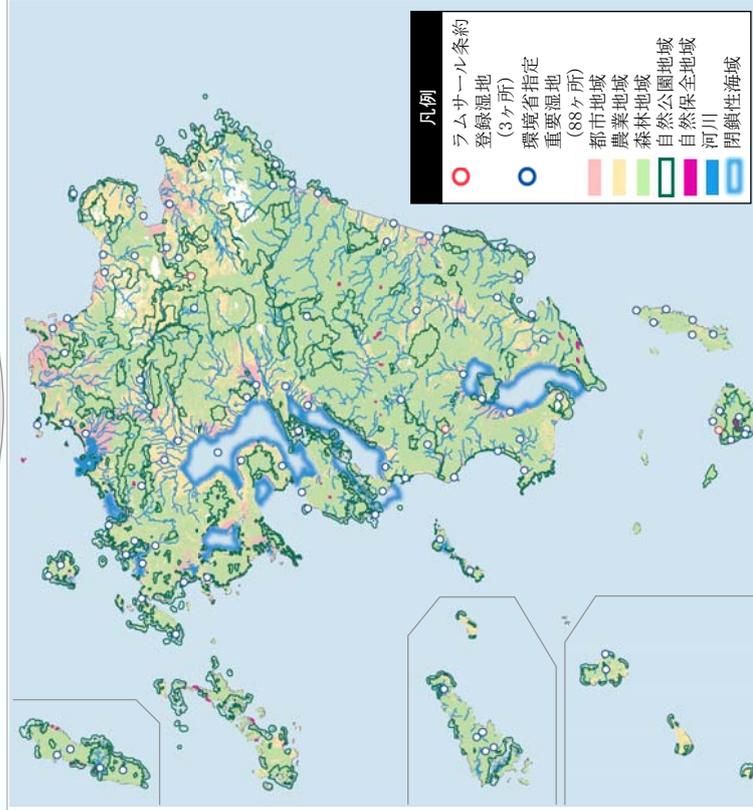


美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり (人と自然が共生した九州圏の形成 (その1))

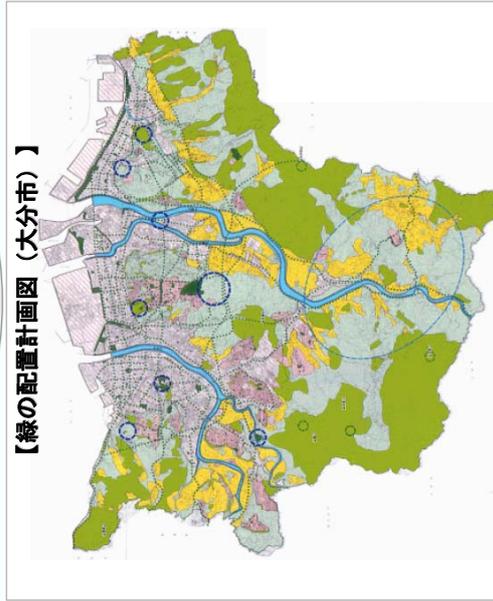
・人と自然とが共生した九州圏の形成に向けて、原始的な自然地域等の重要地域の核として、国際的、広域的な観点から、生態的なまとまりを考慮したネットワーク (エコロジカル・ネットワーク) の形成を図る。



東アジア・東南アジア及びオーストラリア地域において、各国政府の参加を得て、シギ・チドリ類、ツル類、ガンカモ類の3種類の渡り鳥の生息地に関する国際的なネットワークの形成を推進する。



重要湿地や自然保全地域等の原始的な自然地域を核として、森林、農地、都市内緑地、河川、海までと、その中に分布する湿原・干潟等の湿地を有機的に連結することにより、広域的なエコロジカル・ネットワークの形成を推進する。



凡例

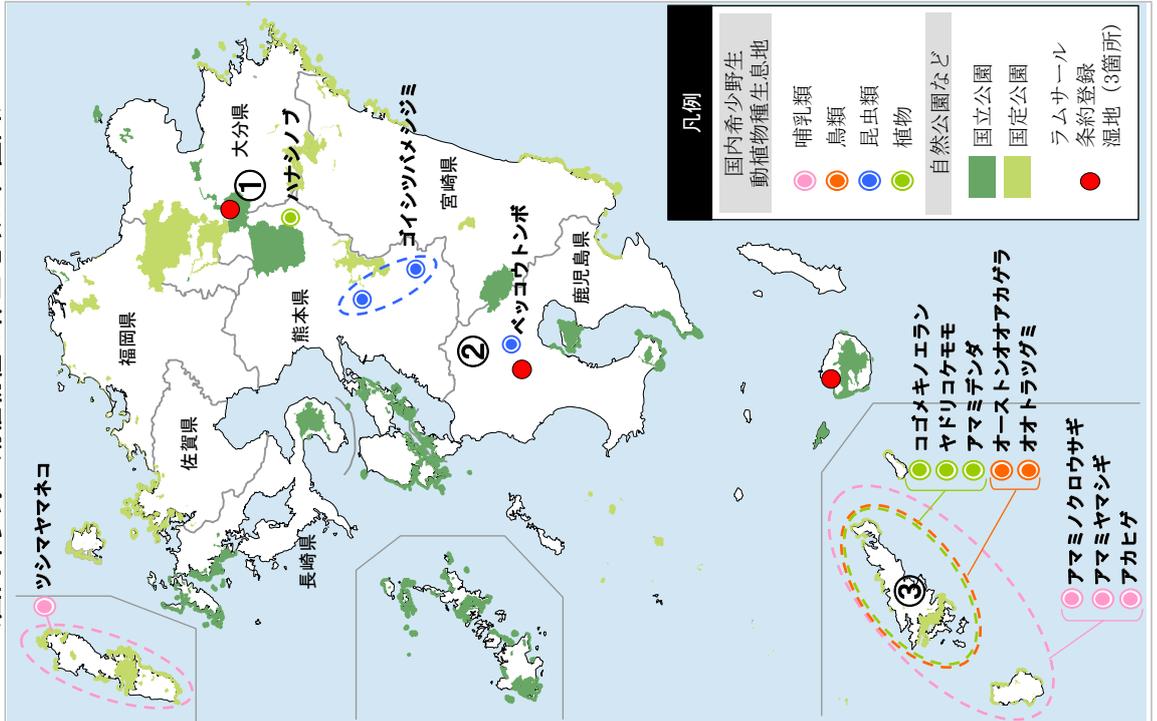
緑地配置方針	
緑地保全ゾーン	地区の核となる公園の整備
農地保全ゾーン	今後拠点となる公園、緑地の配置を検討する区域
河川	山間部、中山間部における森林公園等の整備
共生ゾーン	緑化推進ゾーン (住宅団地)
緑化推進ゾーン	緑化推進ゾーン (既成市街地)
緑化推進ゾーン	街路樹などの整備、充実
都市公園、緩衝緑地の維持	河川沿いの緑化と緑地保全

都市地域等においては、地方自治体レベルでのエコロジカル・ネットワーク構想や緑の配置計画等の具体化を進めるとともに、自然的地域を有機的に連結する取組を推進する。

美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり (人と自然が共生した九州圏の形成 (その2))

・生態系や生物多様性の保全を図るため、国内希少野生動植物種の保護や生息地等保護区の保全を推進するとともに、貴重な自然環境や生態系等に影響を及ぼす特定外来生物への対策を推進する。

<国内希少野生動植物種の保全地域の位置図>



【ハナシノブの保護①】 (国、熊本県、阿蘇地方の関係市町村)

ハナシノブは、熊本県阿蘇地方の一部にのみ生息する多年草であり、近年、生息環境である草原の減少や近縁種との交雑が進んでいる。このため、ハナシノブ保護増殖事業計画を策定し、営農に伴う野焼きや採草等による維持・管理や近縁種の持ち込み防止等に向けた普及啓発等を進めている。



ハナシノブ

野焼き作業



アライグマ

アライグマ駆除 (大牟田市)

アライグマは、九州北部において個体数の増加がみられ、在来種への影響、害虫等への媒介、農林水産物への被害などが問題となっている。このため、アライグマは、特定外来生物に指定され、飼育、栽培、保管及び運搬等を禁止するとともに、長崎県、佐賀県では、県独自の防除を進めている。

【特定外来種への対策① (アライグマ)】 (佐賀県、長崎県など)

【ベッコウトンボの保護②】 (国、鹿児島県、薩摩川内市)

ベッコウトンボは、以前は本土から九州にかけて広く分布していたが、現在では、鹿児島県の蘭牟田池等、生息域が極めて限られている。このため、ベッコウトンボ保護増殖事業計画を策定し、蘭牟田池における生息環境の保全活動を進めるとともに、ベッコウトンボを捕食するオオクチチバスの駆除等も進めている。



ベッコウトンボ

蘭牟田池の湿地
鹿児島自然保護管理事務所



オオクチチバス

オオクチチバス駆除 (蘭牟田池)

【特定外来種への対策② (オオクチチバス)】 (国、鹿児島県、薩摩川内市など)

蘭牟田池は、ベッコウトンボの生息地保護区であるが、現在の魚類相は、オオクチチバス等の外来魚が中心となり、在来種やベッコウトンボを捕食することが問題となっている。このため、蘭牟田池の天然の湖沼を保全しながら駆除を行うため、ボランティア団体等による小規模な外来魚の駆除を進めている。

【アマミヤマシギの保護③】 (国、鹿児島県、沖繩県、関係市町村)

アマミヤマシギは、南西諸島の常緑広葉樹林に生息しており、個体数が少なく、近年、減少傾向にあると推測されている。このため、希少野生動植物種保護管理事業により、種の保護や国有林内の事業の普及啓発のために標識設置やその管理、巡視路の作設や修理等を進めている。



アマミヤマシギ

巡視路における標識の設置
出典)九州森林管理局

【特定外来種への対策③ (マンングース)】 (国、鹿児島県、奄美市ほか周辺市町村)

奄美大島では、1979年にハブ対策としてジャワマンングースが持ち込まれ、アマミヤマシギなど多くの在来種の分布域が減少した。このため、奄美マンングース防除事業等を進めた結果、マンングースの生息密度が低下しており、引き続き、2014年度末までにマンングースの根絶を実現するための対策を進めている。



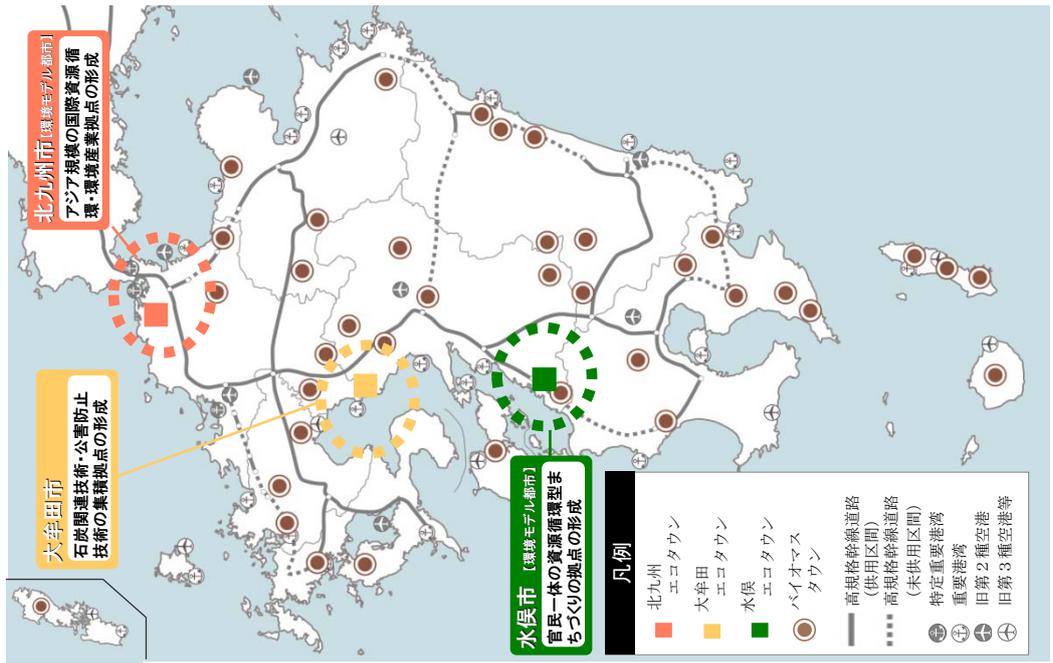
ジャワマンングース

ジャワマンングースの捕獲

我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成 (我が国でも先導的な循環型社会の構築)

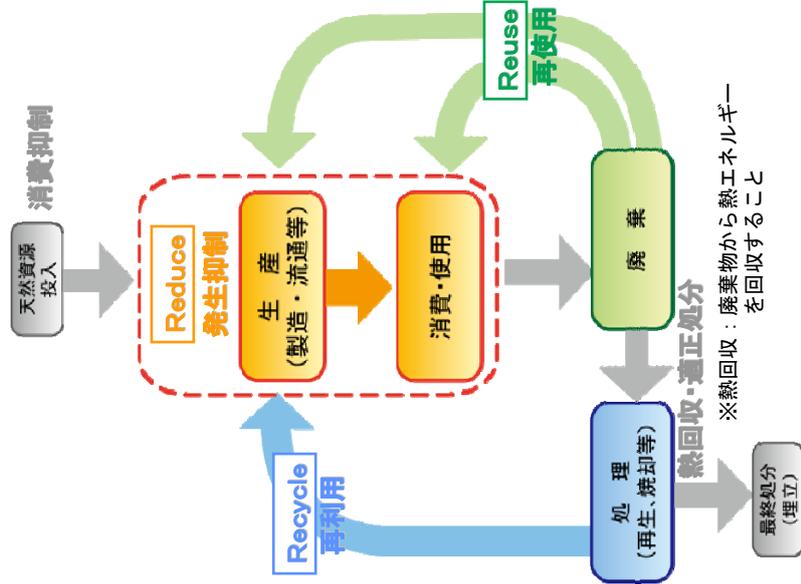
・産業集積の過程で育まれた環境・リサイクル分野の技術・取組等の蓄積を活かし、我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏としての発展を促進していく。

＜循環型社会の実現に向けた広域的な拠点の形成＞



出典) 九州経済国際化戦略 (九州経済産業局 平成19年資料) 九州農政局HPを基に作成

＜3 Rの普及促進 (イメージ)＞



【3 Rの普及促進 (事例)】

【九州統一マイバッグキャンペーン (九州7県)】

九州7県では、県民・事業者・行政が一体となって、レジ袋の削減等に取り組み、ごみの減量化を推進するため、毎年10月を取組強化月間とし、買い物袋を持参するという具体的な行動を通して、意識高揚を図る「九州統一マイバッグキャンペーン」を推進している。

シンボルマーク

【広域的な拠点の形成 (事例)】

【先導的な産業リサイクル拠点】 (北九州市)

北九州エコタウンは、アジア規模の国際資源循環・環境産業拠点を目標した先導的な産業リサイクル拠点の形成を図るため、環境政策と産業振興政策を統合した独自の地域政策を展開している。

また、平成20年7月には、『環境モデル都市』に選定され、今後、「ストック型社会の構築」を基本理念に推進している。

【RDF収集ネットワーク拠点】 (大牟田市)

大牟田エコタウンは、石炭関連技術・公害防止技術等の集積を活かした環有明海地域におけるRDFの収集ネットワーク拠点の形成を目指し、エコタウンを中心にリサイクルプラザ、RDF施設、RDF発電所等の整備を進める。

ゴミ固形化燃料 (RDF)

【資源循環型まちづくりの先駆的拠点】 (水俣市)

水俣エコタウンは、我が国でいち早く資源ゴミの分別収集等による資源循環型まちづくりの先駆的な拠点の形成を目指し、集積された各種リサイクル、リユース、再生工場による総合サイクルに取り組んでいる。

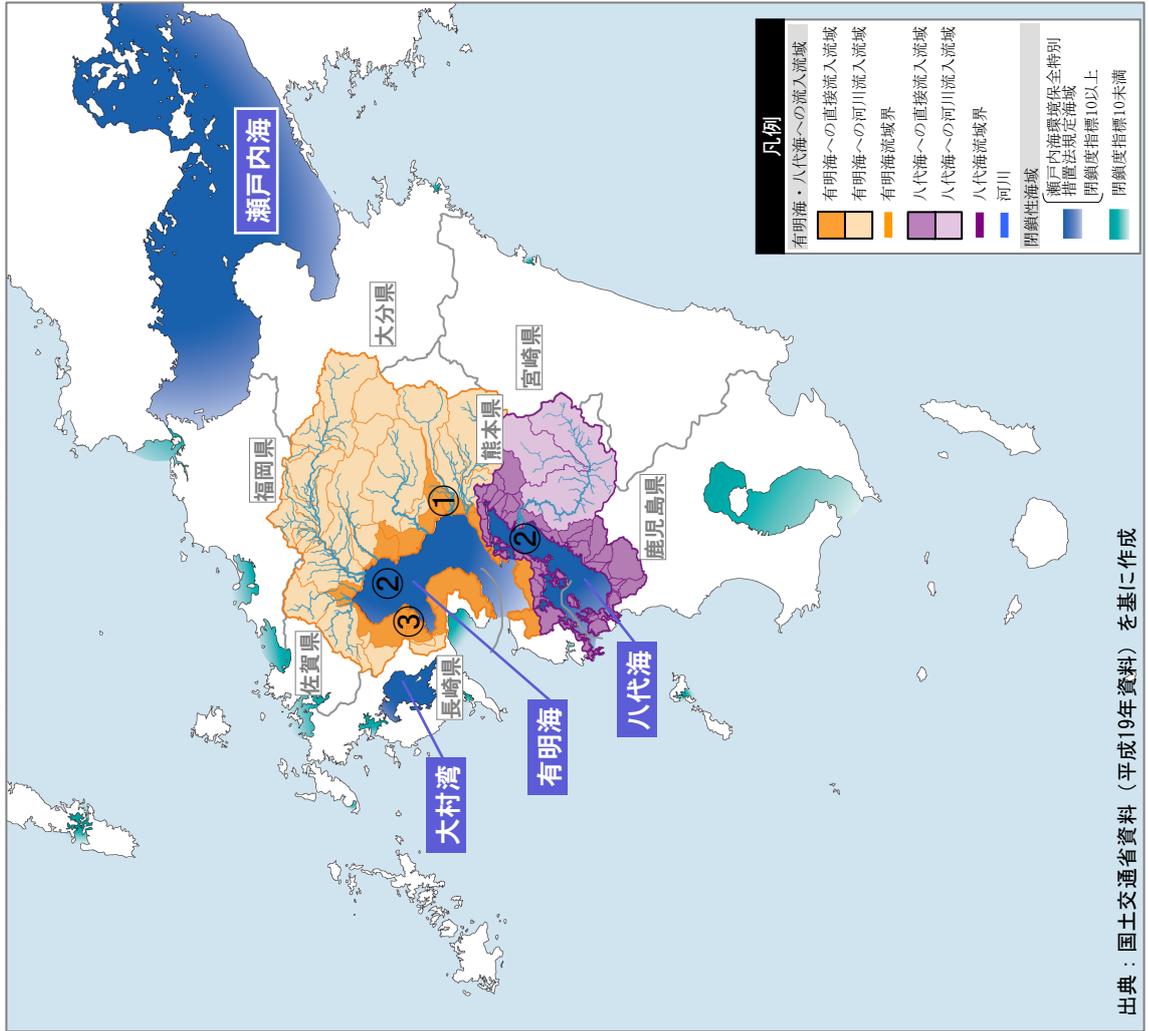
また、水俣市は平成20年7月には、『環境モデル都市』に選定され、今後も環境先進技術力を活かした取組を推進している。

資源ゴミは22種類に分別

我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成 (良好で持続可能な水循環系の形成)

- ・良好で持続可能な水循環系の形成に向けて、河川・湖沼等における水質改善の推進等により、陸域からの汚濁負荷量の削減を図りながら、閉鎖性海域を始めとした海域の自然浄化能力の再生に取り組む。

<閉鎖性海域の保全に向けた総合的な対策（イメージ）>



【有明海・八代海における閉鎖性海域の保全に向けた取組（事例）】



【流域下水道の総合的な整備①】 (熊本市、合志市、菊陽町、植木町)

閉鎖性海域へ流入する河川の流域では、生活排水対策、公共下水道、農業集落排水施設の整備等による水質の保全を推進している。
熊本北部浄化センターは、熊本市だけでなく、合志市や菊陽町、植木町の下水も処理している。



【浮遊ゴミの回収の推進②】 (国、沿岸市町村など)

平成15年11月より、有明海・八代海海域に環境整備船「海輝」を配備し、水質、底質などの各種環境調査の実施や、海域の浮遊ゴミの回収など、総合的な海域環境の整備に取り組んでいる。



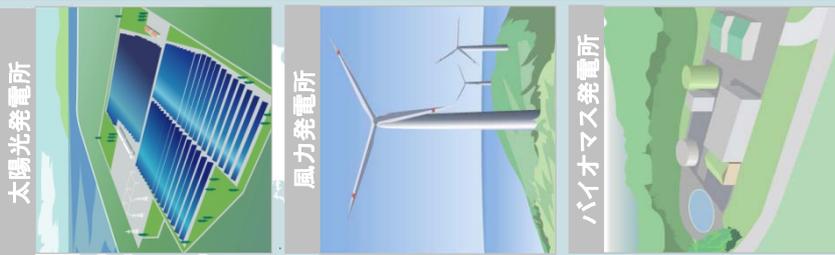
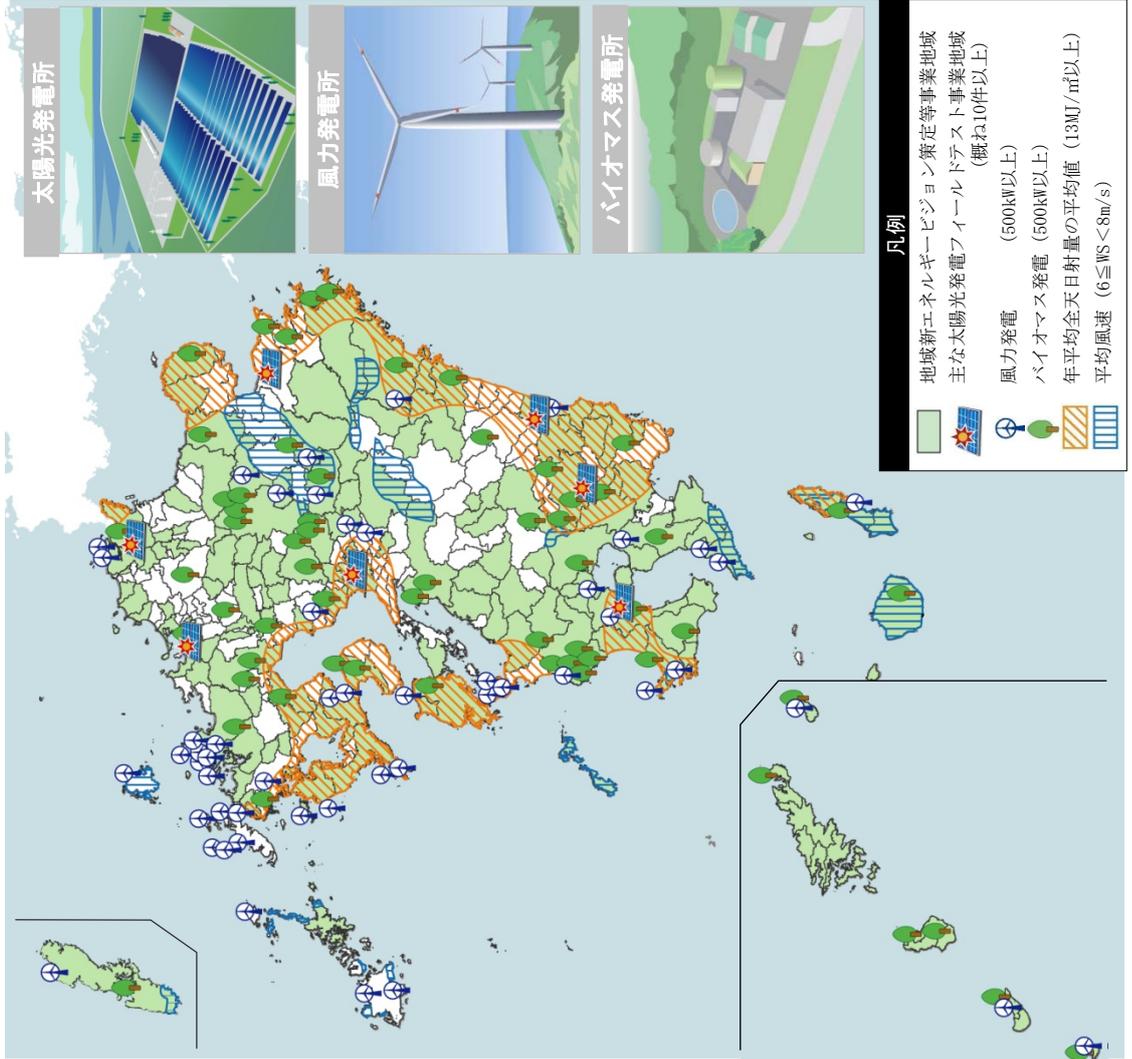
【都市住民や漁業者と連携した森林づくり③】 (国、沿岸市町村など)

水源かん養、土砂崩壊防止等の公益的機能が見込まれる森林の適正管理に向け、都市住民や漁業者が連携した森林づくりが進められている。

地球環境に優しく持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏の形成 (豊富な地域資源を活用した先導的な新エネルギー対策の推進)

・豊富な自然エネルギー資源の貯存量や先導的な環境技術の蓄積等の優位性を活かし、豊富な地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・普及を推進することにより、我が国をリードし、地球環境にも貢献できる持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏としての発展を促進していく。

<九州圏における再生可能エネルギーの導入・普及状況>



【豊富な地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入・普及 (事例)】

【全国No.1大規模太陽光発電 (メガソーラー) 地域構想の実現】

大規模太陽光発電の導入イメージ (熊本県)

九州圏の各地域における大規模ソーラーシステムの設置を支援することにより、太陽光発電施設導入量について全国で最も大きい地域を指している。



【離島におけるグリーン電力供給の拡大の推進】

五島列島・福江島に位置する五島市岐宿町では、九州で初めて地方自治体が出資し、第3セクターが運営する国内最西端の九州でも先導的な風力発電所である。

平成9年、10年の2カ年度にわたり設置を行い、発電した電気は飼養用温室や風車のライトアップに利用し、余った電力を九州電力側に売電している。



【温室効果ガスの排出源対策 (事例)】

【バイオマスタウン構想】

日田市では、基幹産業の畜産業から排出される家畜排泄物や、林業、製材業から排出される木質系廃棄物といった、質・量ともに豊富なバイオマス資源を積極的に活用し、循環型社会の形成を目指している。

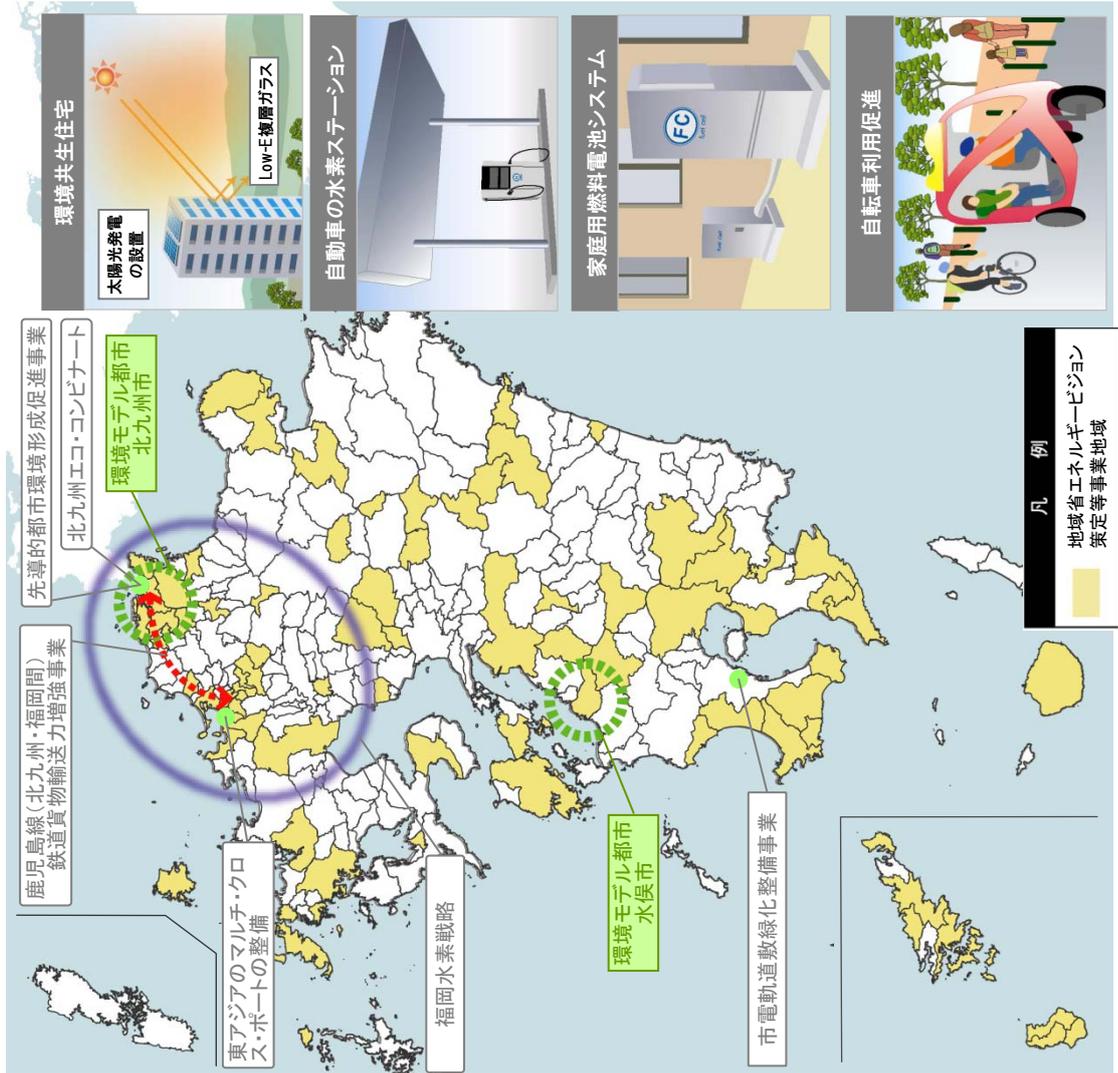
核施設の「バイオマスマス資源化センター」では、食品残さ、家畜糞尿および汚泥 (計80t/日) を受け入れ、堆肥化、液肥化するとともに、処理過程で得られるメタンガスを利用し発電も行っている。



地球環境に優しく持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏の形成 (産業・民生・運輸部門や都市構造等における総合的な省エネルギー対策の推進)

・産業・民生・運輸の各分野や都市構造等における総合的な省エネルギー対策を推進するとともに、環境・エネルギー分野における先導的な取組等を活かし、我が国でも最先端のエネルギー需給構造の実現に向けた取組を推進することにより、我が国をリードし、地球環境にも貢献できる持続可能な低炭素社会・エネルギー先進圏としての発展を促進していく。

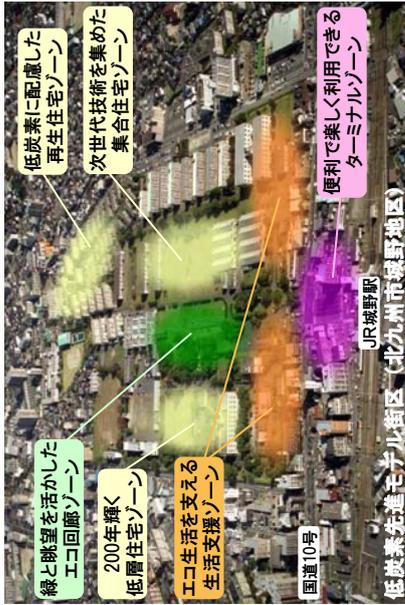
<九州圏における省エネルギー対策の取組 (イメージ)>



【低炭素型都市構造への転換を目指した対策 (事例)】

【低炭素2000年街区の形成】 (北九州市)

北九州市では、市街地における低炭素型のまちづくりの先例となる「低炭素先進モデル街区」を目指し、陸上自衛隊城野分屯地跡地を中心とした城野地区において、次世代普及技術を取り込んだ2000年街区の実現に向けて推進している。



【鹿兒島市電軌道敷線緑化整備事業】 (鹿兒島市)

鹿兒島市では、平成18年度より、本格的な市電軌道敷の緑化整備を進めており、緑化整備により、ヒートアイランド現象の緩和等の効果が表れている。今後も引き続き整備を進め、やさしい魅力あふれるまちづくりを一層推進していく。



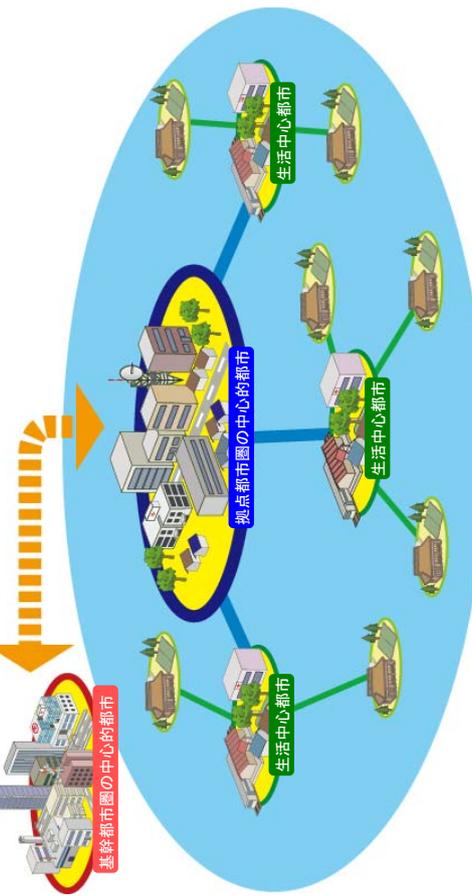
広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成と集約型都市構造への転換 (広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成)

・九州圏に住まう人々に一定規模の生活サービスや就業機会という都市的サービスを提供する地域の自立的発展の拠点を圏域内にバランスよく形成していくことを目指し、拠点都市圏において魅力ある市街地の形成や良好な都市環境の確保や地域の自立に向けた拠点性の向上を図る。

<拠点都市圏の分布状況 (イメージ) >



<拠点都市圏の形成イメージ>



【魅力ある市街地の形成や良好な都市環境の確保 (事例)】

【土地区画整理事業】 (八代市)

八代市では、地方拠点都市地域としての都市機能の集積及び居住環境の向上に向けて、重要港湾八代港へのアクセス道路の整備を行うと同時に、良好な市街地を造成する土地区画整理事業を推進している。



【土地区画整理事業】 (諫早市)

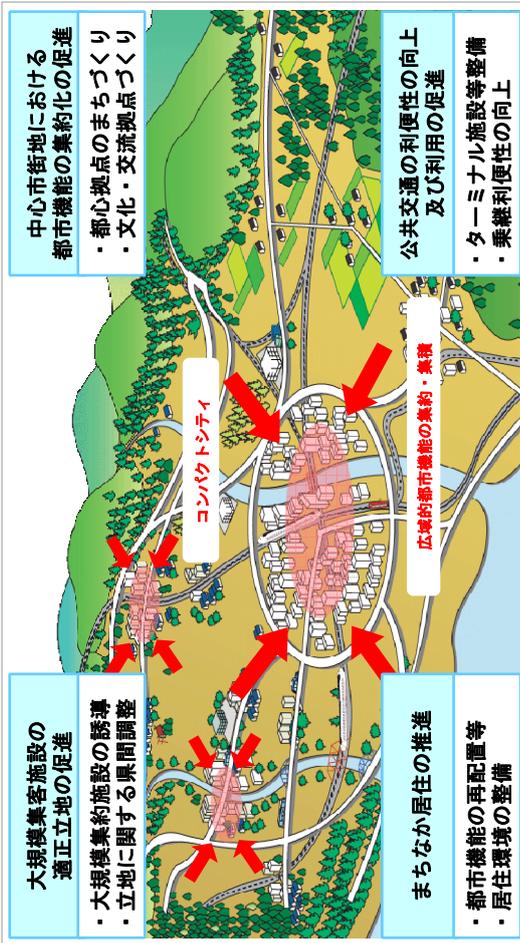
諫早市では、都市計画道路をはじめとする各種公共施設の総合的な整備改善を行い、市の中核をなす市街地の再生と既存商店街の整備拡充を図り、公共の福祉の増進に寄与するため、土地区画整理事業を推進している。



広域的な都市的利便性を実現する拠点都市圏の形成と集約型都市構造への転換 (集約型都市構造への転換)

- ・集約型都市構造への転換を図るため、大規模集客施設の適正立地の促進、中心市街地における都市機能の集約化、まちなか居住や公共交通の利便性の向上等を推進する。

<集約型都市構造への転換（イメージ）>



大規模集客施設の適正立地の促進

中心市街地における都市機能の集約化の促進

まちなか居住の推進

公共交通の利便性の向上及び利用の促進

広域的都市機能の集約・連携

都市機能の再配置等
居住環境の整備

医療・保育・福祉施設

地域拠点の機能向上

まちなか居住環境の整備

中心市街地の整備

医療・保育・福祉施設

地域拠点の機能向上

まちなか居住環境の整備

中心市街地の整備

【大規模集客施設の適正立地の促進（事例）】

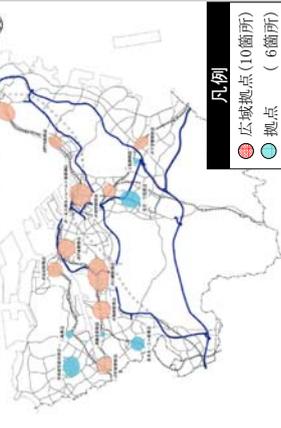
【福岡県大規模集客施設の立地ビジョン】（福岡県）

福岡県では、平成19年6月に策定した「福岡県大規模集客施設の立地ビジョン」によって予め設定されている大規模集客施設の立地を誘導する拠点設定に基づき適正立地を進める。また、北九州市では、当該ビジョンに基づきながら、拠点への立地優遇と拠点以外での立地規制を組み合わせて進めている。

福岡県大規模集客施設の立地ビジョン（イメージ）



北九州市における拠点の設定



【まちなか居住の推進（事例）】

【まちなか居住環境の整備】（熊本市）

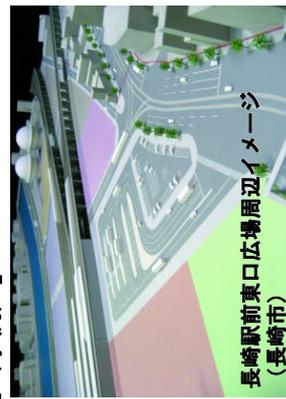
JR熊本駅周辺では、九州新幹線全線開業に向けて「駅前に相応しい賑わいと人にとやさしい都市環境の創出」を図るため、市街地再開発事業により商業・公益施設、高層住宅等の複合的施設の整備を進めている。



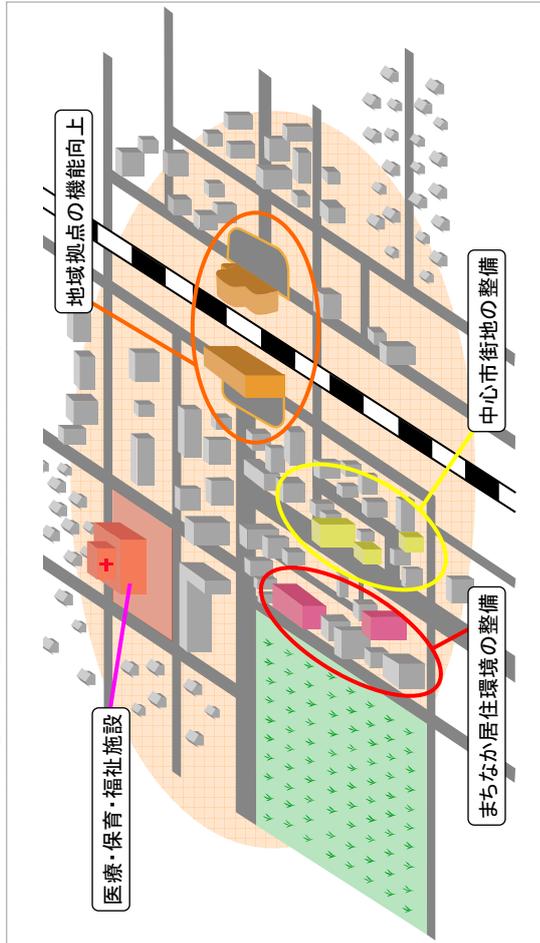
【公共交通の利便性の向上及び利用の促進（事例）】

【トランジットモールの整備】（長崎市）

JR長崎駅周辺では、新駅舎の東口、西口前の両広場、周辺道路、さらに長崎電気軌道本線を現在の路線から分岐して長崎駅構内に引き込むトランジットモールの整備を進めている。



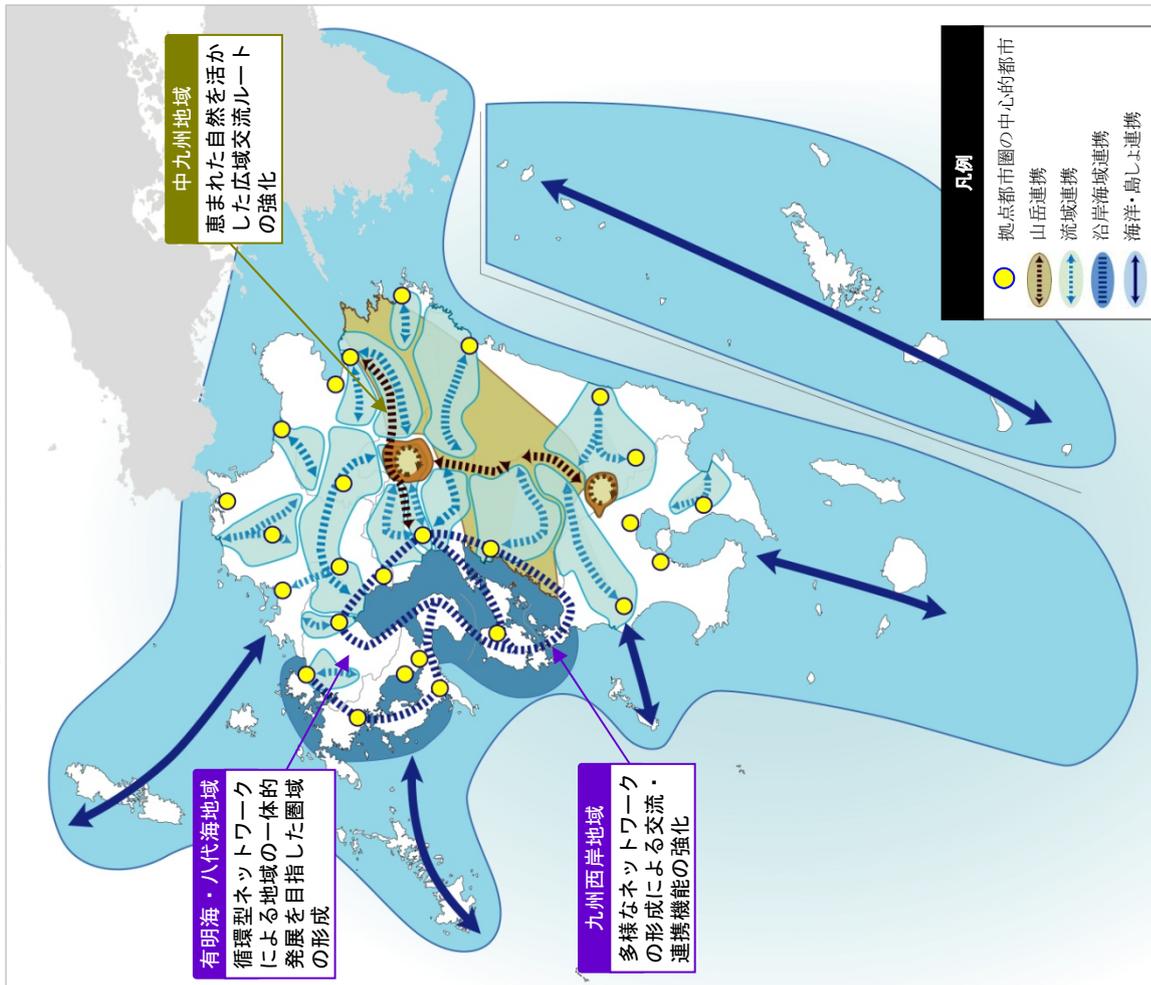
<中心市街地における都市機能の集約化（イメージ）>



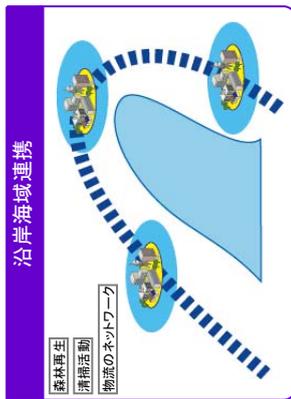
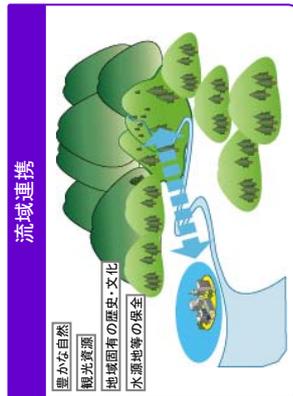
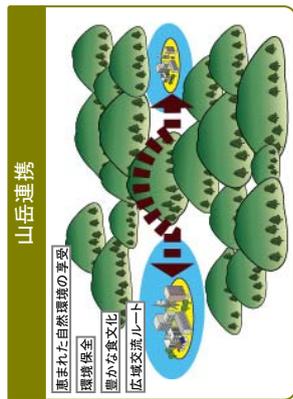
水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流軸の形成 (山岳、流域、沿岸海域等を介した都市自然交流軸の形成)

一定規模の都市機能を有する拠点都市圏と隣接する多自然居住地域間において、双方向の交流を促進し、水・緑・食・安全等を介して結びつきのある都市と多自然居住地域の互恵関係の形成を実現するため、互恵関係にある様々な活動を展開し、これらを広域的に連結する都市自然交流軸の形成を促進する。

<都市自然交流軸の形成 (イメージ)>



<都市自然交流軸の形成イメージ>



【流域を介した都市自然交流軸の形成 (事例)】

【都市と水源地域の上下交流】 (熊本市)

水道水源の全てを地下水で賄う熊本市では、貴重な資源である地下水の保全に向けて、かん養能力の高い白川中流域の転作水田において営農の一貫として行われる湛水に対して、助成金を交付し地下水かん養を促進する。



【沿岸海域を介した都市自然交流軸の形成 (事例)】

【都市住民や漁業者による森林づくり】 (佐賀県)

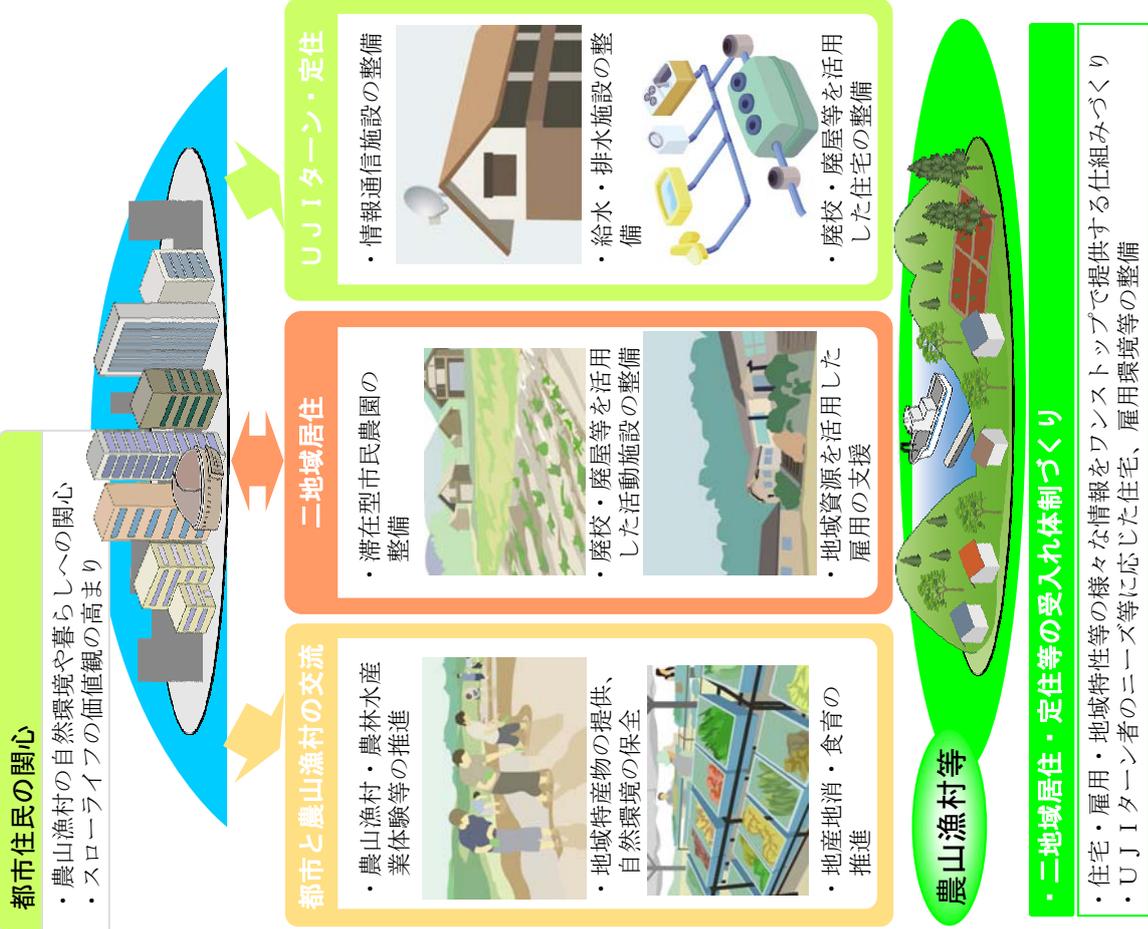
豊富な海産資源を育む有明海の沿岸地域では、有明海へ貴重な栄養分を供給するなど多面的機能を有する森林の保全に向けて、都市住民や漁業者の連携により流域が一体となった植樹活動を進める。



水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流軸の形成 (都市と農山漁村等との交流や魅力ある二地域居住、定住環境の形成)

- ・都市住民を中心とした農山漁村の自然環境や暮らしへの関心やスローライフという価値観の高まりを好機と捉えながら、都市と農山漁村等との交流を促進するため、都市と農山漁村との交流や魅力ある二地域居住、定住環境を形成していく。

<都市と農山漁村の交流の促進(イメージ)>



【都市と農山漁村の交流の促進(事例)】

【有機農法や工芸を地域資源としたスローフード運動の展開】(綾町)

宮崎県綾町では、自然環境が豊富に残る地域として先駆的に導入した有機農法による農作物を利用したスローフード体験や、フアックトリーツーリズム(手作り伝統工芸品の製作体験)など、スローライフを体感できる観光プランを積極的に提供している。



【廃校を活用した地域の交流拠点づくり】(南九州市)

鹿児島県南九州市では、自然との対話、もつくりを重視した暮らしと生き方への転換に向けて、廃校となった長谷小学校跡を活用することにより、ものづくり・生活伝承・自然体験などの多様なプログラムを通じた生活文化や人と自然との関わりを見つめ直す機会の提供や実践の場づくりを推進している。



【魅力ある二地域居住、定住環境の形成(事例)】

【Uターン等人財マッチング事業】(長崎県)

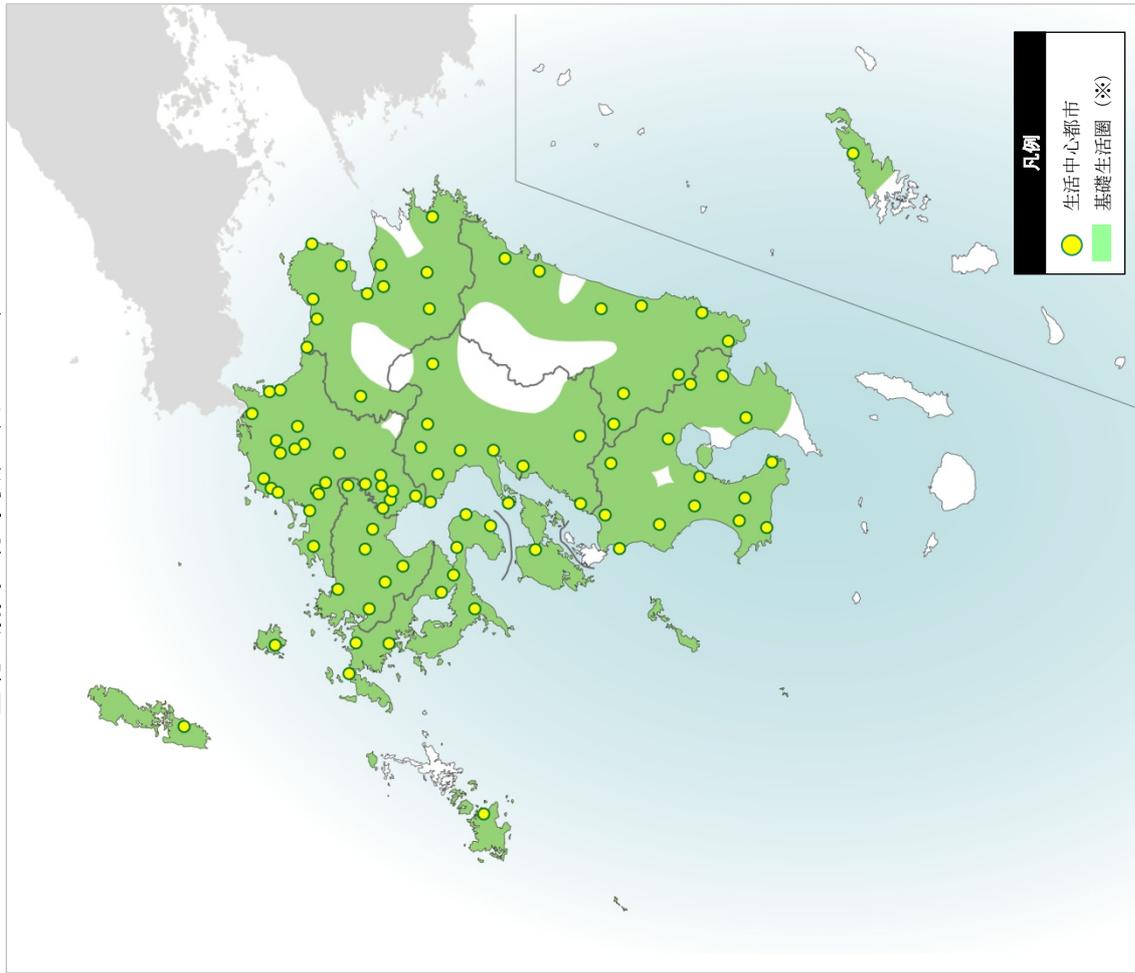
長崎県では、インターネット上に県内企業の求人情報及び県内に就職を希望する者の求職情報を掲載することにより、県内における求人・求職のマッチングを促進し、UJI-Town等のニーズと離職者、学卒者等の就職活動と県内企業の求人活動の支援を推進している。



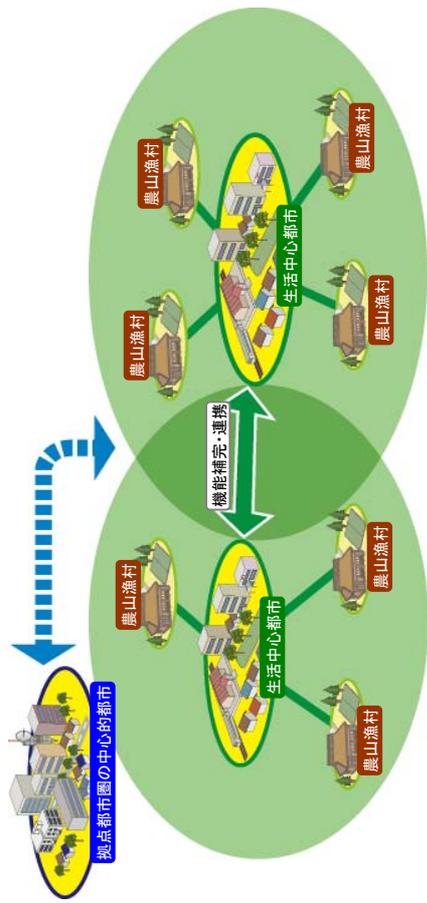
生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圏と生活文化交流軸の形成 (生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圏の形成)

- 多自然居住地域を中心として、価値観や生活様式の多様化に応じた、ゆとりある居住環境と都市的サービスを兼ね備え、多様なライフスタイルが実現できる圏域の形成を目指し、生活中心都市における生活支援機能の充実・強化やにぎわいの再生を図ることにより、生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成を図る。

<基礎生活圏の分布状況 (イメージ) >



<基礎生活圏の形成イメージ>



【生活支援機能の充実・強化の受け皿となる良好な市街地の形成 (事例)】



【土地区画整理事業】

日置市では、伊集院駅北側地域の中心市街地と市街地等に向けて、地区内を流れる河川の改修など公共施設の整備を実施し、良好な居住環境の形成及び商業地域と居住地域の計画的配置を図る土地区画整理事業を推進する。

【生活中心都市における都市機能の集約 (事例)】



【生活支援機能の維持・向上】

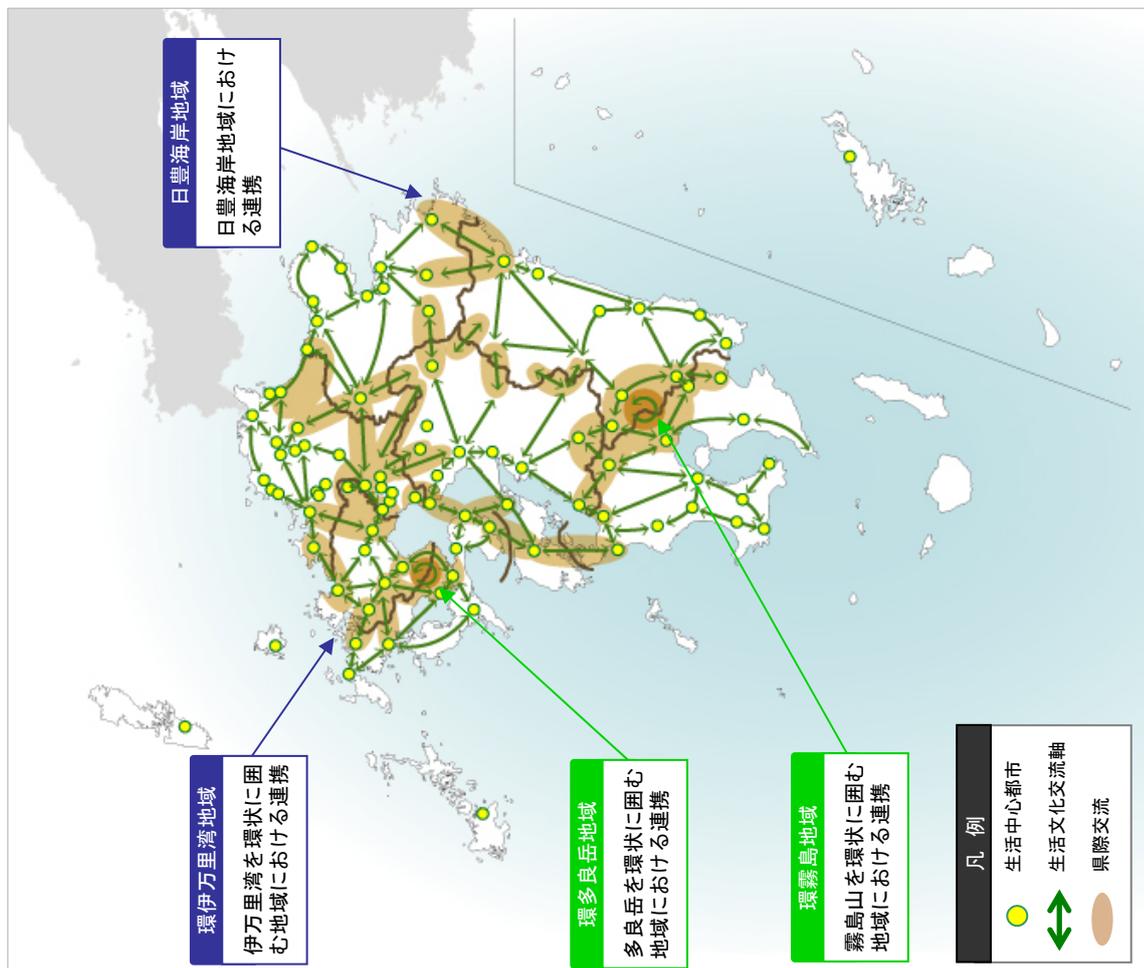
生活中心都市における基礎整備の遅れが著しい中心市街地等について、生活道路の整備、老朽住宅の建替、公園の整備による居住環境の改善等を進めることにより生活支援機能の維持・向上を推進するとともに、若年世帯の定着化、地域の活性化等を図っている。

(※) 生活中心都市への30分圏を目安として作成

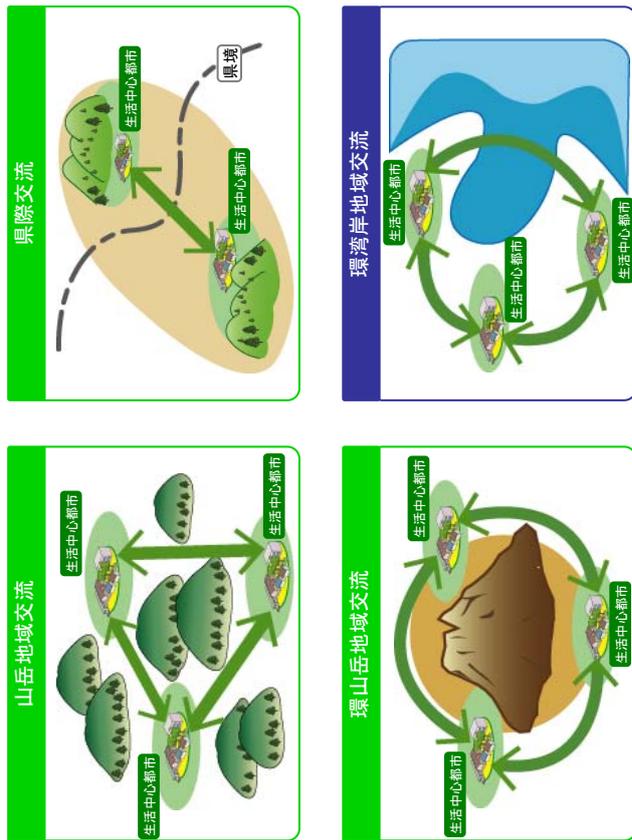
生活支援機能の維持・向上等を実現する基礎生活圈と生活文化交流軸の形成 (生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成)

- 多自然居住地域を中心として、価値観や生活様式の多様化に応じた、ゆとりある居住環境と都市的サービスを兼ね備え、多様なライフスタイルが実現できる圏域の形成を目指し、生活・文化・活動面での一体化を促進するため、これらを有機的に結ぶ生活文化交流軸の形成を促進する。

<生活文化交流軸の形成 (イメージ)>



<生活文化交流軸の形成イメージ>



【県際地域における実際交流の積極的な推進 (事例)】

【環霧島会議】

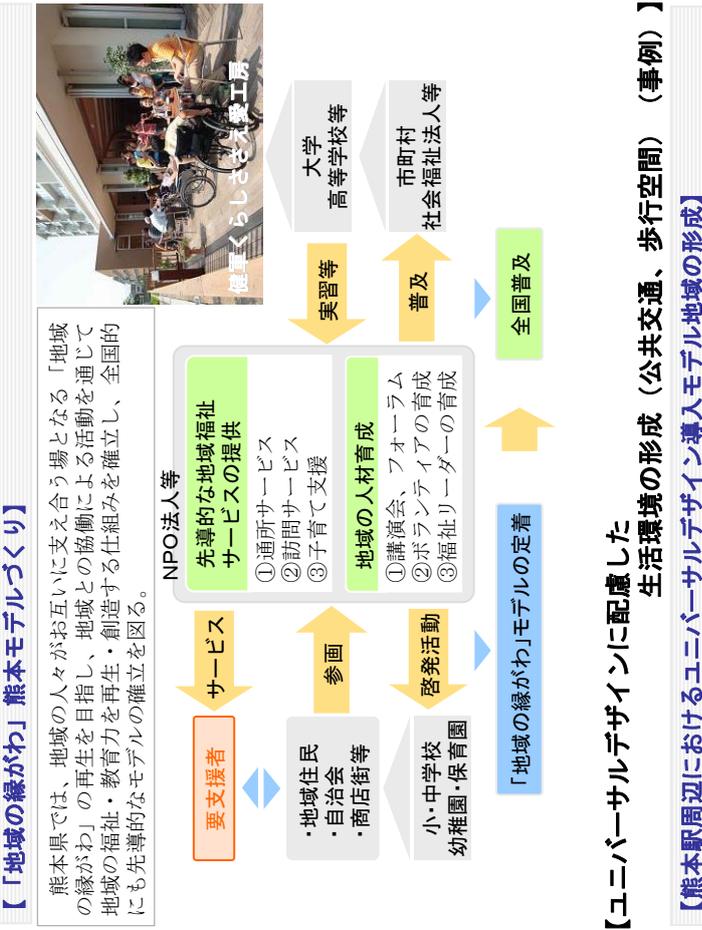
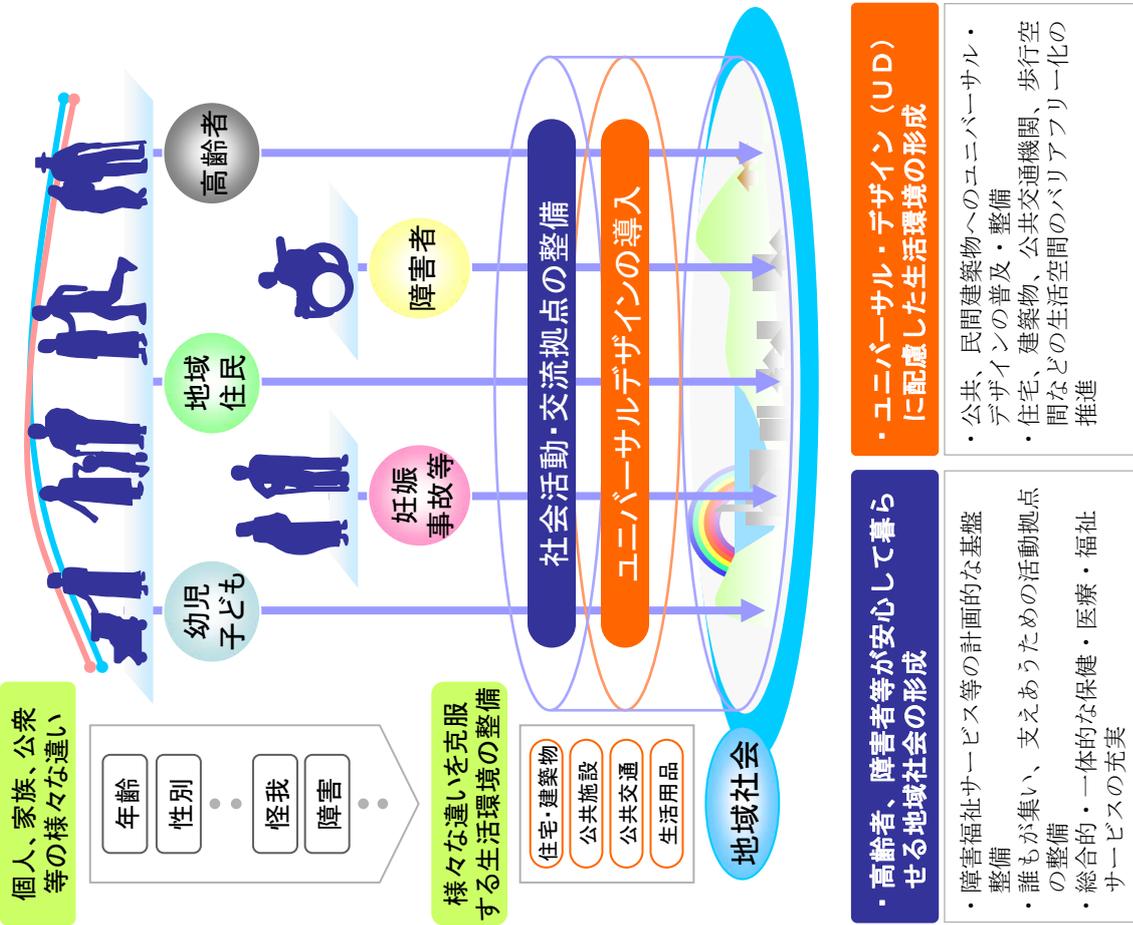
霧島屋久国立公園の「霧島山」を取り巻く宮崎、鹿児島両県の県境にある5市2町の自治体において、環境、観光、防災、スポーツ等の様々な取組について連携・協働を推進している。



誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成（その2）

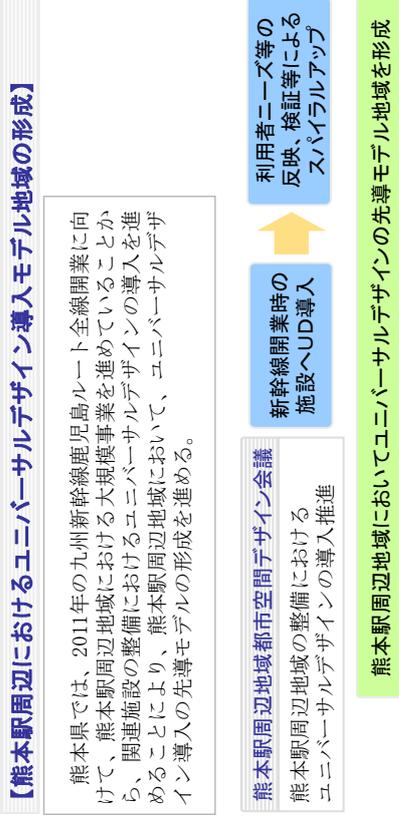
- ・人口減少・少子高齢化、核家族化、地域連帯意識の希薄化等の進行に積極的に対応するため、子どもから高齢者、障害者まで誰もが安心して暮らせる生活環境の形成を図る。

<誰もが安心して暮らせ、活動できる生活環境の形成（イメージ）>



熊本県では、2011年の九州新幹線鹿児島ルート全線開業に向けて、熊本駅周辺地域における大規模事業を進めていることから、関連施設の整備におけるユニバーサルデザインの導入を進めることにより、熊本駅周辺地域において、ユニバーサルデザイン導入の先導モデルの形成を進める。

【ユニバーサルデザインに配慮した生活環境の形成（公共交通、歩行空間）（事例）】



生活活動に密着した地域産業の新たな展開 (農業の新たな展開)

・ 農業の新たな展開に向けて、食料の安定供給と多面的機能の確保を図る観点から、優良農地の確保、農業生産基盤の整備を推進するとともに、農業経営の安定化・効率化、農作物の高付加価値化による新たな事業展開等を図ることにより、次世代に向けた望ましい農業構造を確立し、地域の主要産業として魅力ある就業環境を創出していく。

<次世代に向けた望ましい農業構造の確立 (イメージ) >

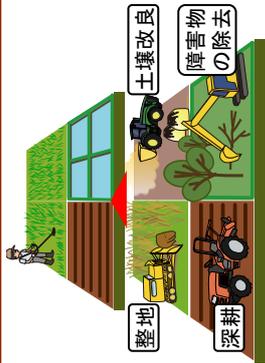
農業経営の基本的条件の整備

優良農地の確保



かんがい・排水対策
農道、農地の整備
農業水利施設等の長寿命化、効率的な更新

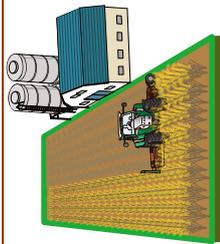
農用地の有効利用



農地情報の共有化
耕作放棄地の早期解消

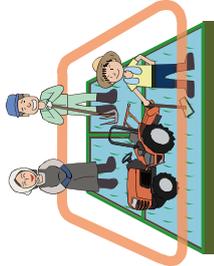
農業経営体の強化

農業経営の安定化・効率化と
農業経営者の一定の所得水準の確保



認定農業者、集落営農組織の育成・確保
ほ場の大区画化や農業機械導入等の支援

農業の次世代の担い手等の確保・育成



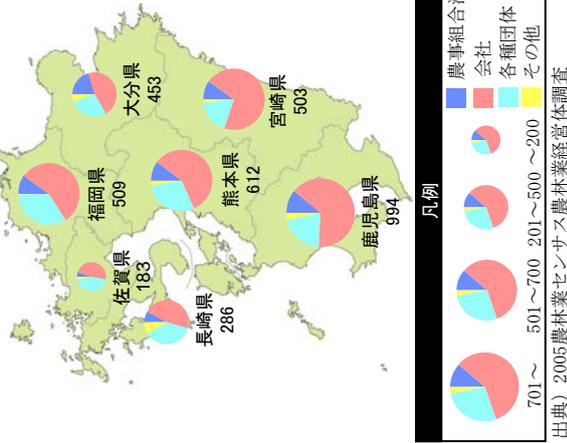
新規就農希望者の受入体制の構築
経営支援体制の構築
農業経営等への女性参画のため環境整備

農産物の高付加価値化による新たな事業展開

- ・ 農業の技術開発や新たな技術の導入・活用
- ・ 安全で安心できる農産物の安定的な供給の推進
- ・ 産地ブランドづくりの推進 等

<法人化している農業経営体数>

農業の生産性の向上や農業経営の安定化・効率化に向けて、農業経営の基礎的条件となる生産基盤の整備や農地の利用集積、意欲と能力ある担い手の育成を推進する。



【農用地の利用の促進 (事例)】

【農地情報のデータベース化】

今後の農地の有効活用方策等を検討するため、各機関が保有する農地情報を一元化して必要な情報を関係機関で共有する農地情報のデータベース化を推進している。



【農業経営の安定化・効率化 (事例)】

【集落営農組織の育成・確保】

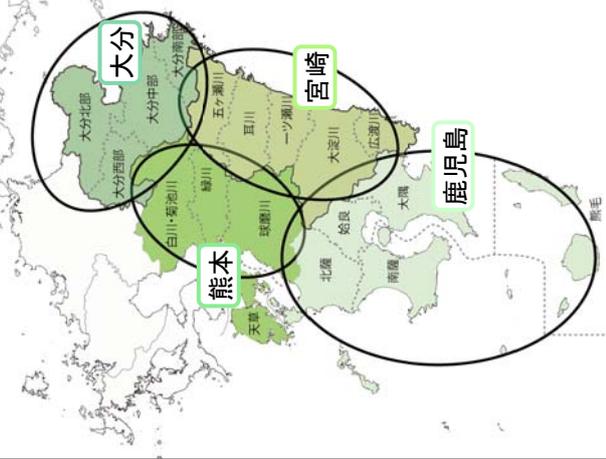
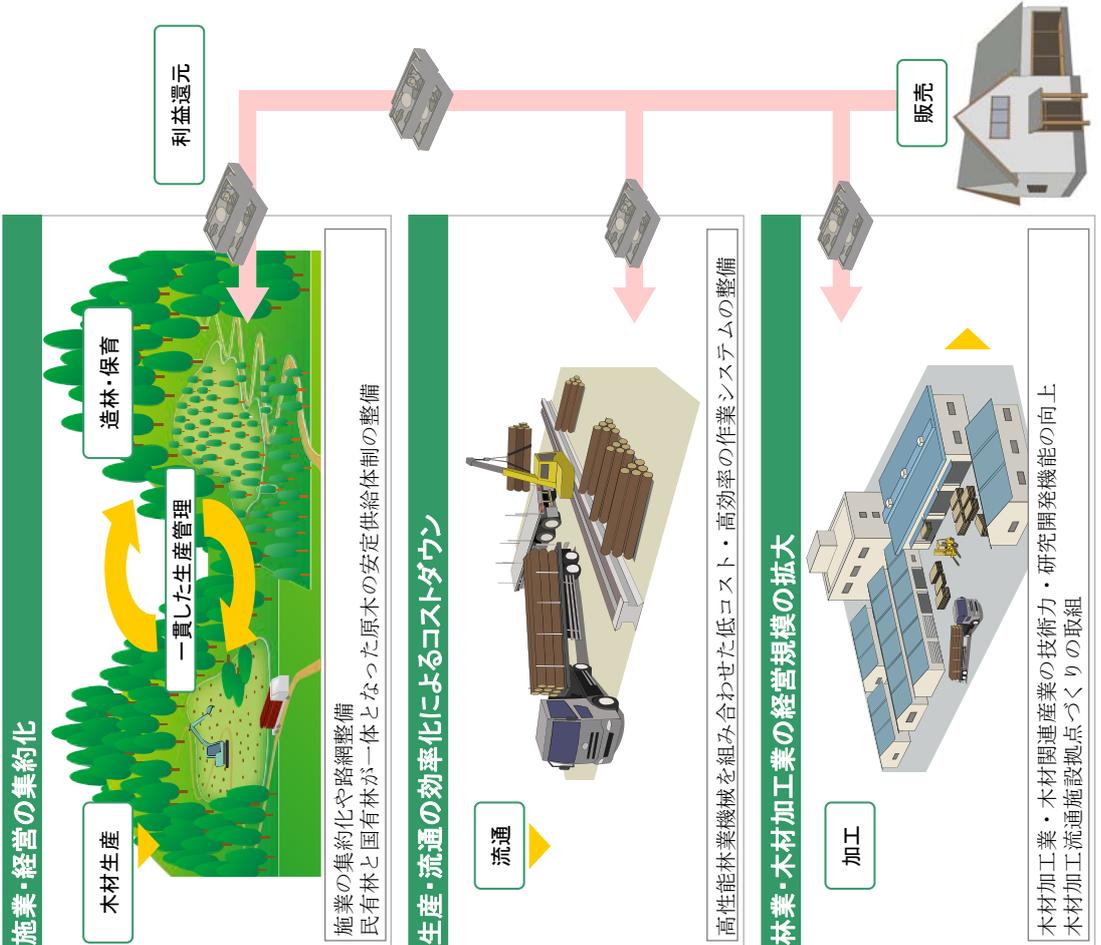
人手を要する育苗作業等を共同で実施するなど、効率のかつ安定的な農業経営体制を確立するため、集落営農の組織化・法人化等、今後の農業を担う人材の育成・確保に向けた取組を推進している。



生活活動に密着した地域産業の新たな展開 (林業の新たな展開)

・林業の新たな展開に向けて、森林の適切な整備を図るため、低コスト・高効率の作業システムの整備、普及・定着等を進めるとともに、林業・木材加工業の経営規模の拡大等を図り、地域材の供給体制の整備等を推進することにより、望ましい林業構造を確立し、地域の主要産業として魅力ある就業環境を創出していく。

<林業再生に向けた望ましい林業構造の確立（イメージ）>



<九州圏における新生産システムの構築>

新生産システムのモデル地域に選定された各流域において、立木データベースを活用した原木の安定供給、流通の集約化、製材・加工の大規模化等を進めることにより、林業の再生、森林の整備等を図っている。

【林業の適切な整備を通じた木材の安定供給（事例）】

【列状間伐】

戦後植林された人工林の多くが間伐時期にある中で、従来の普通間伐と比べて選木が容易で機械化作業に適しており低コストで労働生産性の高い列状間伐を普及している。



列状間伐（宮崎県）

【地域材の利用促進（事例）】

【産直住宅販売】

宮崎県諸塚村では、森林組合などの共同プロジェクチームの製材品供給方式による産直住宅販売などの取組を普及させることにより、木材需要の拡大・利用促進を図っている。



産直住宅（諸塚村）

生活活動に密着した地域産業の新たな展開 (水産業の新たな展開)

・水産業の新たな展開に向けて、沿岸漁場の整備やつくり育てる漁業を総合的に推進するとともに、水産物の高付加価値化等を図ることにより、水産業の生産性向上と資源の持続的利用を促進する漁業構造を確立し、地域の主要産業として魅力ある就業環境を創出していく。

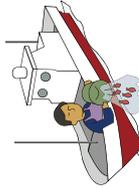
<持続的な資源利用に向けた望ましい漁業構造の確立（イメージ）>

健全種苗の安定供給

健全種苗の安定的供給



稚魚の中間育成・放流



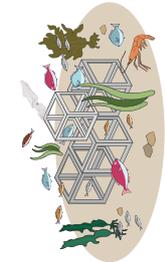
新しい栽培魚種の開発や種苗の量産技術開発等の研究開発機能の強化

漁礁・藻場等の沿岸漁場の整備

幼稚仔保護漁礁等の整備



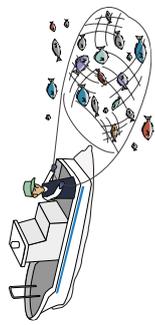
人工漁礁等の整備



栽培漁業、資源管理型漁業等のつくり育てる漁業の総合的な推進

資源回復計画に基づく漁獲

小型魚の再放流、網目合拡大



違反操業・密漁の監視

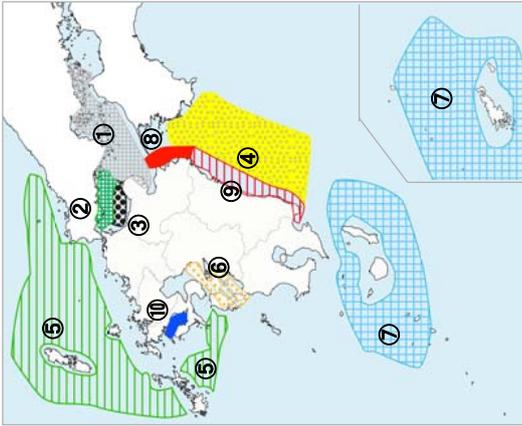


資源管理型漁業の推進、定着化

水産資源の生産性の向上と持続的利用を図るため、水産資源の回復・管理に向けた健全種苗の安定的供給、漁場の整備、資源回復計画に基づく漁獲や取組を推進する。

<九州圏沿岸海域における資源回復計画>

九州圏の沿岸海域では、資源回復計画に基づくトラフグなど10種の魚種について、減船、休漁等を含む漁獲努力量の削減や種苗放流等による資源の積極的な培養、漁場環境の保全などの対策を関係する漁業種間で計画的に推進している。



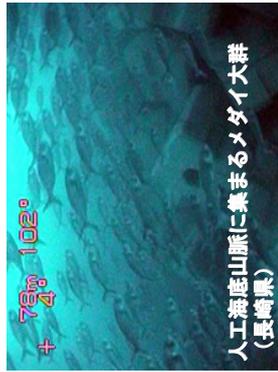
凡例

- ① サワラ 瀬戸内海系
- ② 周防灘 小型機船底びき網 漁業対象種
- ③ 大分県 豊前海アサリ
- ④ ヤリイカ 太平洋群 南部
- ⑤ 九州・山口 北西海域トラフグ
- ⑥ 熊本県 アサリ
- ⑦ 南西諸島海域 マチ類
- ⑧ 大分県 豊後水道域クハムエビ
- ⑨ 宮崎県 成カサゴ
- ⑩ 長崎県 大村湾 海域ナマコ

【水産業の生産性の向上（事例）】

【沿岸漁場の整備】

長崎県では、周辺水域における水産資源の生産力の向上を図るため、漁礁や増養殖場の整備を推進するとともに、底層栄養塩類を表層に供給することができている人工海底山脈等の大規模漁礁漁場の造成を進めている。



【水産資源の持続的利用の促進（事例）】

【栽培漁業等の推進】

鹿児島県の奄美栽培漁業センターでは、全国的にも需要高まるクロマグロの種苗生産に取組むとともに、湾で囲まれた約14haの広大な海面を利用した親魚養成等を進めている。



出典）独立行政法人水産総合研究センター

地理的制約を克服する生活イノベーションの展開 (地理的制約等の厳しい地域における定住条件の改善)

- ・ 離島・半島、中山間地域等の地理的制約等の厳しい地域では、定住条件の改善に向けて、都市部へのアクセス条件の改善、日常生活に必要不可欠な生活交通等の移動手段、医療等の社会的サービス確保や高度な情報通信技術の活用環境の形成等を図る。

<地理的制約等の厳しい地域における定住条件の改善 (イメージ) >



【都市部へのアクセス条件の改善 (事例)】

【生活幹線道路の整備 (イメージ)】



著しく隘路となつている区間は、1.5車線的な整備手法も活用し、日常生活な移動を確保するための道路整備が進められている。また、合併市町村の一体化に向けた連絡道路の整備も進められている。

【日常生活に必要不可欠な生活交通の確保 (事例)】

【生活交通体系の確立】

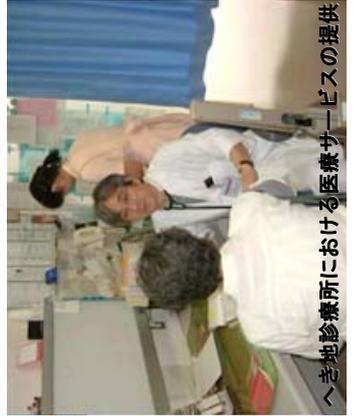
不採算バス路線撤退への対応をするため、コミュニティバス、デマンド交通の導入や乗継施設の整備等を各地で進めている。



【社会的サービス等の充実 (事例)】

【出張診療・巡回診療によるへき地医療の提供】

宮崎県では、必要な医療サービスの提供を受けることが困難なへき地住民の医療を確保するため、医師の常駐しないへき地診療所に最寄りの開業医の派遣や、無医地区への巡回診療等を推進する。



地理的制約を克服する生活イノベーションの展開 (地理的制約の厳しい地域における定住環境の形成)

- ・ 中山間地域等における豊かな定住環境の形成に向けて、定住基盤の整備を図るため、污水处理施設の整備、農産生産基盤と農村生活環境基盤の総合的な整備を推進するとともに、農業者等への支援、防災性向上のための対策等を推進する。

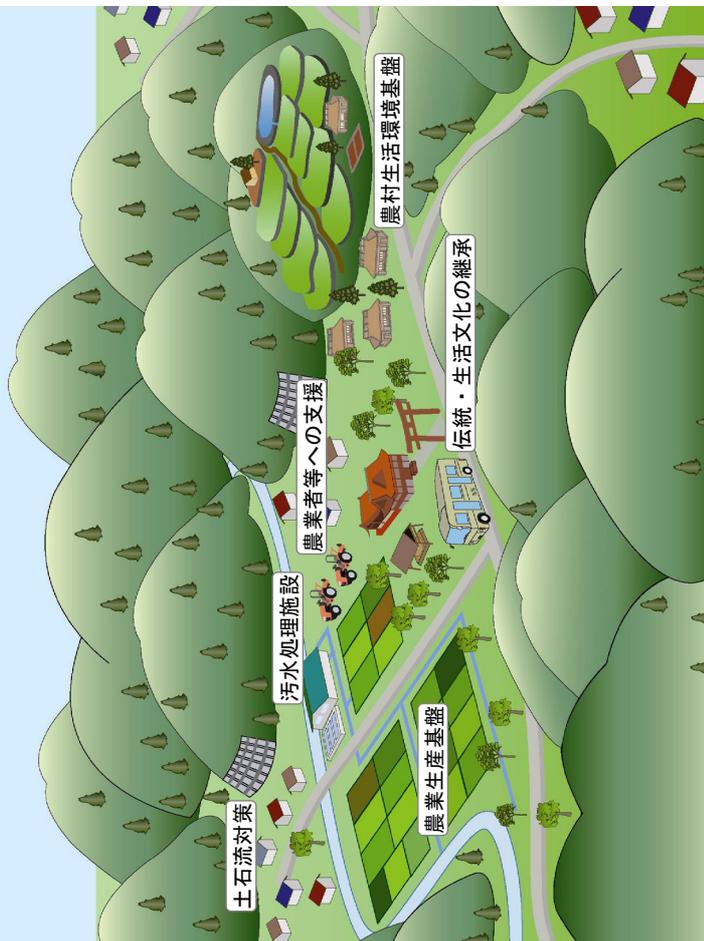
＜地理的制約の厳しい地域における定住環境の形成（イメージ）＞

・ 中山間地域等における定住基盤の整備

- ・ 公下水道、浄化槽、農村集落排水施設等の污水处理施設整備
- ・ 農産生産基盤、農村生活環境基盤整備
- ・ 農業生産活動を行う農業者等への支援
- ・ 地域固有の自然環境、景観の保全、伝統・生活文化の継承

・ 防災性の向上

- ・ 土石流対策



【中山間地域等における定住基盤の整備（事例）】

【中山間地域の総合的な整備】

佐賀県では、中山間地域等の農業・農村の活性化を図るために、農業集落排水施設や農業集落道路を始めとした農村生活環境基盤と農業生産基盤の整備を地域特性に応じたがら総合的に推進する。



【中山間地域直接支払制度の活用】

宮崎県では、毎年耕作・管理されることで、洪水の防止や水源のかん養、美しい景観の提供など、多面的機能を発揮している中山間地域等の農地において、将来に向けて農業生産活動を継続する前向きな取り組みに対して交付金が支払われる制度の活用等を推進している。



【地理的制約の厳しい地域における防災性の向上（事例）】

【土石流対策の推進】

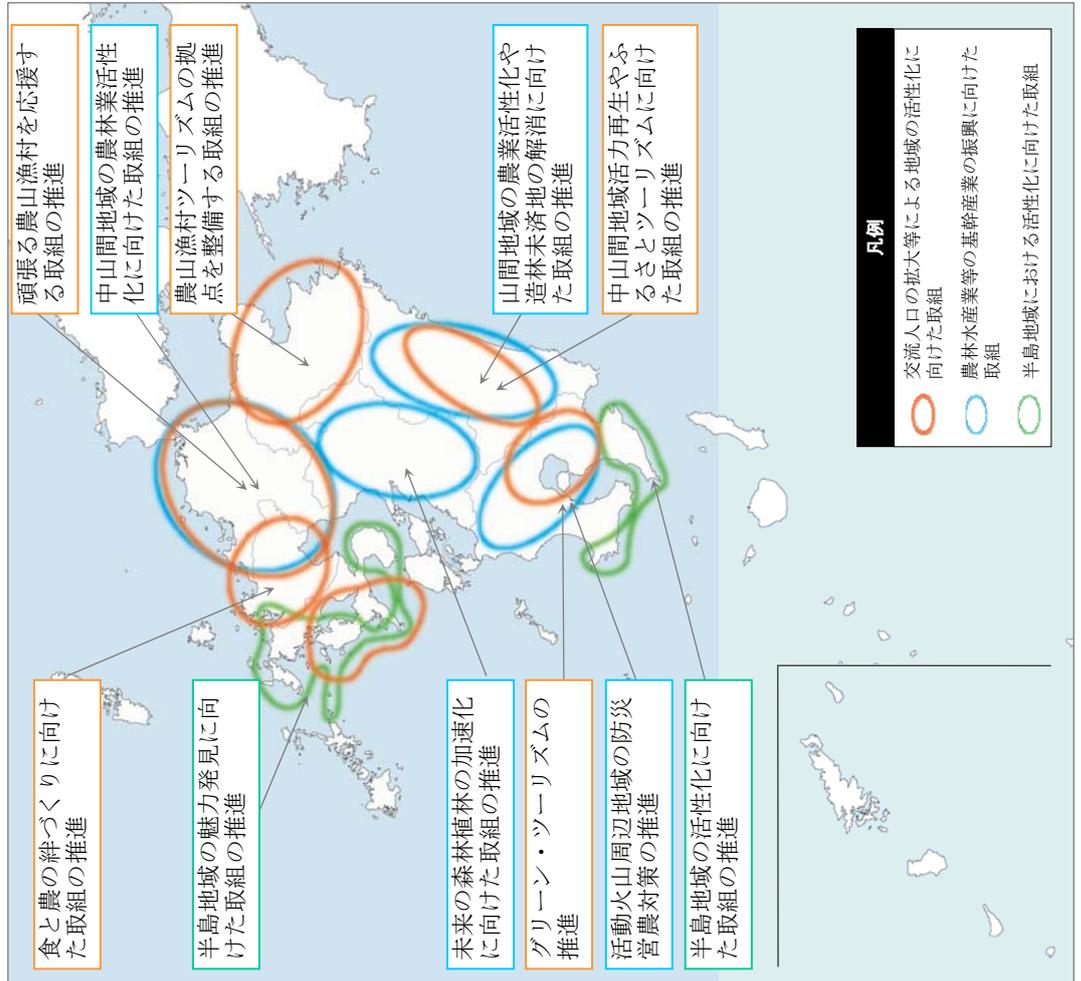
南大隅町では、平成19年の台風4号及び梅雨前線豪雨による山腹の崩壊に伴う土石流の発生によって甚大な被害が発生した地区の荒廃溪流に対し、再度災害を防止するため、おおむね3年間で一定計画に基づく対策工事の実施を推進している。



地理的制約を克服する生活イノベーションの展開 (地理的制約等における特色や地域資源を活用した活性化)

- ・ 中山間地域等における交流人口の拡大等による地域の活性化や農林水産業等の基幹産業の振興、半島地域における観光・交流、定住の促進等の取組を通じて、地理的制約等の厳しい地域における特色や地域資源を活用した活性化を推進する。

<地理的制約等の厳しい地域における特色や地域資源を活用した活性化(イメージ)>



【中山間地域等における交流人口の拡大等による地域の活性化(事例)】

【都市と農山漁村の交流】

都市と農山漁村の共生・対流を促進するため、都市と農山漁村の双方の生活及び文化を享受する新たなライフスタイルの普及・啓発を行うとともに、体験型・滞在型旅行の企画・提案、体験学習による農山漁村と学校との連携強化、都市と農山漁村をつなぐNPO活動の活性化などの取組みを推進している。



【中山間地域等における農林水産業等の基幹産業の振興(事例)】

【造林未済地対策】

宮崎県では、木材価格の長期低迷等による影響で現存する約2,000ヘクタールの造林未済地について、3年で「0(ゼロ)」にすることを目指すなど、総合的な森林整備対策を推進している。



【半島地域における活性化(事例)】

【半島地域魅力発見委員会】

長崎県では、半島振興状況の把握や地域間交流の促進を図るために、半島地域魅力発見委員会を設置し、半島地域への向けた意見交換や、情報発信を進めている。



地理的制約を克服する生活イノベーションの展開

(人口の減少・高齢化が著しく、維持・存続が危ぶまれる集落への対策)

- ・人口の減少・高齢化が著しく進行し、維持・存続が危ぶまれる集落については、集落の将来像に応じた公共的な投資・土地利用等のあり方への検討や集落存続に向けた対策の推進など、集落の実情等を踏まえた対策を進める。

・集落の将来像に応じた公共的な投資・土地利用等のあり方の検討

- ・集落における生活の実態等を行政が継続的に把握するための調査等の実施
- ・集落の暮らしの将来像について行政と住民との間での合意形成

<集落の暮らしの将来像に応じた対策（イメージ）>



・集落存続に向けた対策の推進

- ・暮らしを支える社会的サービス等の確保
- ・防災上特に危険な集落への対策
- ・集落の有する固有の伝統文化・風俗慣習などの継承等への支援

<集落存続に向けた対策（イメージ）>

	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉サービスの確保 ・生活物資を届けるサービスの確保
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の集落の孤立化対策の強化
	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化・風俗慣習等の継承に向けた必要な支援

【集落存続に向けた対策（事例）】

【小規模集落・里のくらし支援事業】

大分県では、集落存続に向けた対策として、県と市町村の連携による小規模集落対策本部会議を設置し、水路や農道等の保全管理の問題対策や、住民が集落に安心して住み続けられるセーフティネットの構築、地域資源の活用、集落外からの応援などの交流人口の増加等による活性化を図るためのしくみを、住民と一緒に地域の実情を把握する様々な団体等の協力も得て検討・構築を図っている。



小規模集落対策本部会議（大分市）



小規模集落支援（豊後大野市）

【元な集落づくりに取り組む「いきいき集落」の推進】

宮崎県では、集落活性化について、住民の主体的で意欲的な集落づくりの取組を促進するため、西米良村における、史跡や伝統文化の伝承等を通じた、住民先導による取組を始めとする意欲的な取り組みを実施している集落を募集し、内容等をホームページで広く発信するとともに、集落同士のネットワーク化等を図っている。



語り部フェスタ（西米良村）

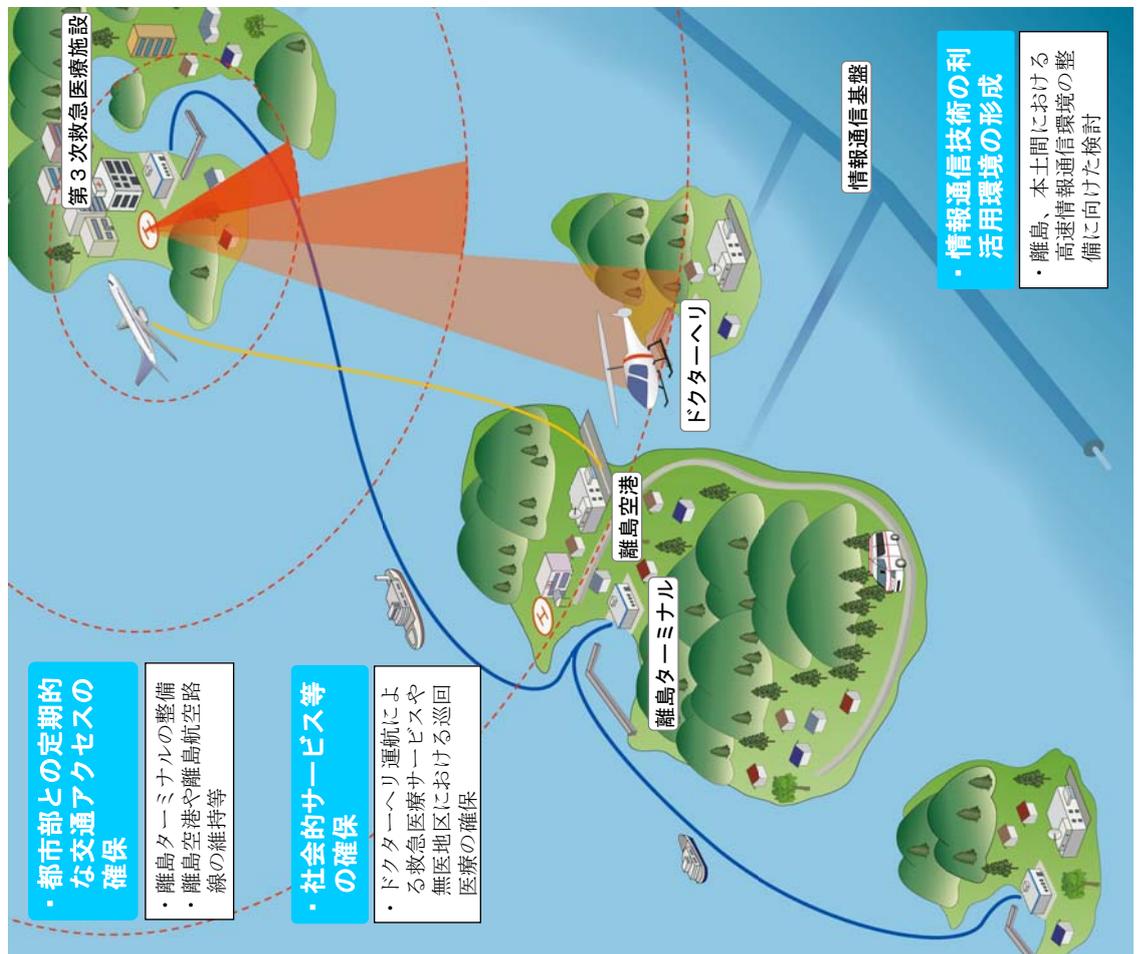


小川城址公園（西米良村）

離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成 (離島地域の自立的発展に向けた定住条件や競争条件の改善)

・島内で一定の生活圏を形成しなければならぬ離島地域では、自立的発展に向けた定住条件や競争条件の改善に向けて、都市部への定期的な交通アクセス、救急医療等の社会的サービスの確保および高度な情報通信技術の活用環境の形成を図る。

<都市部との定期的な交通アクセスの確保 (イメージ) >



・都市部との定期的な交通アクセスの確保

・離島ターミナルの整備
・離島空港や離島航空路線の維持等

・社会的サービスの確保

・ドクターヘリ運転による救急医療サービスや無医地区における巡回医療の確保

情報通信基盤

・情報通信技術の活用環境の形成

・離島、本土間における高速情報通信環境の整備に向けた検討

【都市部との定期的な交通アクセスの確保 (事例)】

【離島空港整備】

旅客と物流の拠点である奄美空港では、本土と奄美群島のネットワークの形成に向けて空港を整備するとともに利用の促進を図っている。



【離島港湾整備】

厳原港は、対馬島の南東に位置し、佐岐及び本土と島を繋ぐ重要港湾の一つである。近年の船舶の大型化及び貨物量の増大等に対応するため、整備を推進している。



【離島地域における社会的サービスの確保 (事例)】

【ドクターヘリの運航】

長崎県では、県内の離島全域を長崎医療センターから概ね60分圏でカバーするため、県内全域の救急現場に医師・看護師を急行させ、すばやく救命措置を開始できる救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）の運航を推進する。



離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成 (島内における一定の生活圏域の形成)

・離島地域における島内循環の活発化の促進や美しい生活環境の形成等により、島内における一定の生活圏域の形成を図る。

<島内における一定の生活圏域の形成 (イメージ) >



【離島地域における美しい生活環境の形成 (事例)】

【自然環境、景観保全】 (長崎県)

老崎市筒城浜では、海水浴場のゴミの持ち帰りを原則とし、海水浴シーズンには毎日清掃作業を実施していく。また、年間を通して地域ボランティアによる清掃を実施している。



筒城浜海水浴場 (老崎市)

【公共下水道の整備】 (鹿児島県)

徳之島町では、生活雑排水による住宅密集地の生活環境の悪化が進行していたため、生活環境の改善と南国特有の自然環境の保全に向けた下水道事業を推進している。



公共下水道の整備 (徳之島町)

【廃棄物処理】 (長崎県)

新上五島町では、汚泥再生処理センターやリサイクルプラザを始め、ごみ焼却施設や一般廃棄物最終処分場を整備することにより、中通島で一括して廃棄物を処理する体制を推進している。

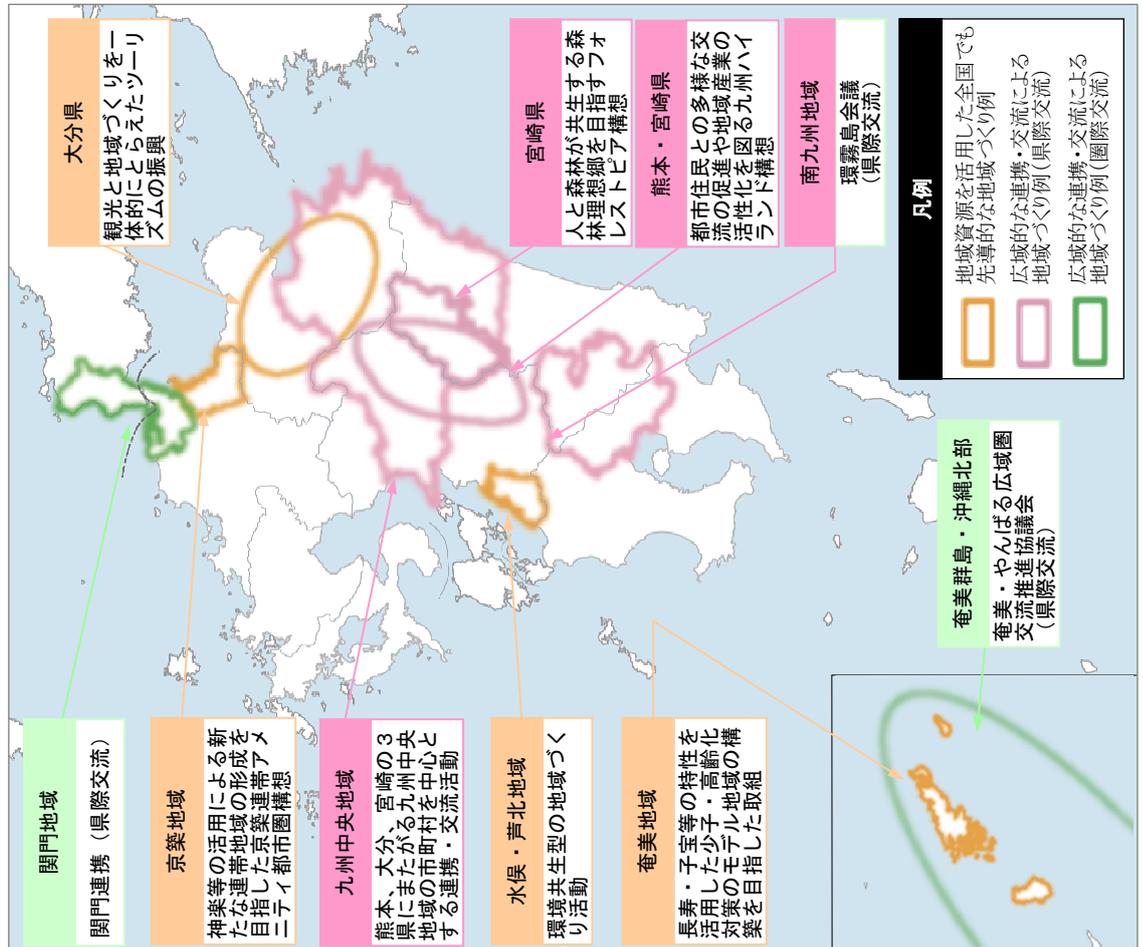


クリーンセンターごみ焼却施設 (新上五島町)

恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり (恵まれた地域資源を活用した個性的で魅力ある地域づくり)

九州圏の恵まれた地域資源を活用した全国でも先導的な地域づくりを推進することにより、個性的で魅力的な地域の創造を図るとともに、広域的な連携・交流による地域づくりの動きを積極的に促進することにより、先導的で創造性あふれる地域づくりを九州各地に展開していく。

<恵まれた地域資源を活用した個性的で魅力ある地域づくり (イメージ)>



【地域資源を活用した全国でも先導的な地域づくりの推進 (事例)】

【京築連帯アメニティ都市圏構想】

京築地域7市町では、神楽等の活用による新たな連帯地域の形成に向けて、神楽や食文化を地域内外で紹介するイベントを実施するとともに、伝統文化の発展継承に向けた「京築神楽の里」づくりを推進するなど、京築連帯アメニティ都市圏構想を具体化する様々な取組を推進している。



【あまみ長寿・子宝プロジェクト】

鹿児島県では、奄美群島の長寿や子宝などの特性を分析・検証した成果を核とし、少子・高齢化に対応したモデルとなる総合的な地域社会づくりと長寿・癒し等の資源や魅力を活用した産業・観光振興を促進することにより、「長寿・子宝・癒しの島 あまみ」の構築を図るため、各種事業を展開している。巡るいのちのキョラジマ創造成果では、奄美群島の市町村が地域住民や関係機関・団体等と協働しながら、群島の「長寿」、「子宝」、「癒し」などの地域資源を有効に生かした事業に取り組んでいる。



【広域的な連携・交流による地域づくり (事例)】

【九州中央地域連携推進協議会】

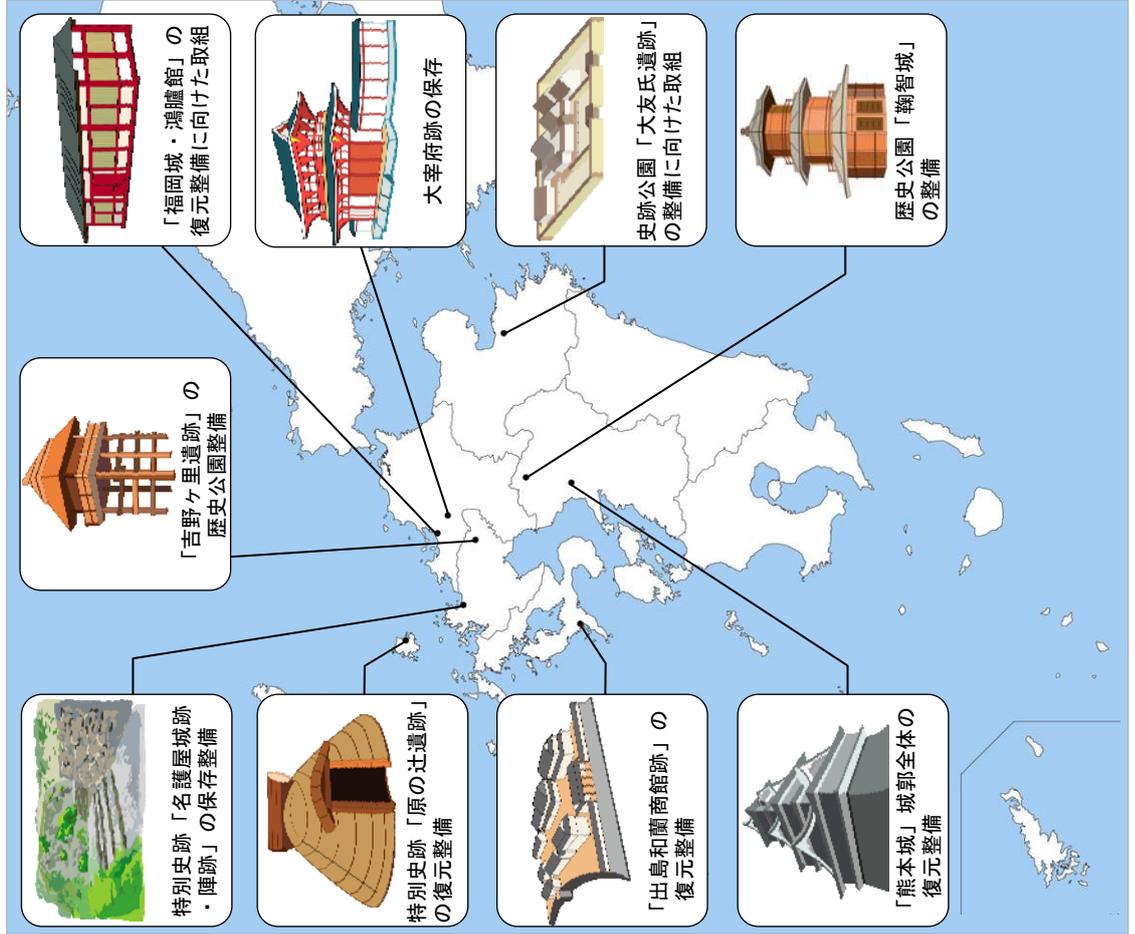
本会議は、熊本・大分・宮崎にまたがる九州中央エリアの産業経済、教育文化、保健福祉、生活環境等の分野において、多面的な交流、連携を図るとともに、交流ネットワーク基盤の整備を促進することにより、地域特性を活かした圏域の一体的な振興整備を目的として発足したものである。毎年、エリア内の36市町村(旧77市町村)における、美しい海や川、雄大な山と緑の景色、そして数々の清流や湧水等の魅力あふれる各地を紹介し、交流を促進するため、スタンブアラリーを実施している。



恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
 (地域への愛着を醸成し、域外との交流促進につながる地域づくり(その2))

・地域への愛着を醸成し、域外との交流促進にもつながる地域づくりの観点から、重要な史跡について、歴史的な建造物等の保存・復元するとともに、周辺地域と一体となった歴史的風土の保全と活用を積極的に推進する。

<九州圏における歴史的な建造物等の保存・復元へ向けた取組>



【歴史的な建造物等を保存・活用した地域づくり(事例)】

【「出島和蘭商館跡」の復元整備】
(長崎県)

鎖国時代における日本と西洋を結ぶ唯一の窓口であり経済・文化・学術の交流拠点として大きな役割を果たしたことから、日本だけでなく世界史上においても貴重な歴史的遺産である出島について、完全復元に向けた施設整備等を推進している。

出典) 歴史の出島ホームページ

【特別史跡「原の辻遺跡」の復元整備】
(長崎県、壱岐市)

中国の正史「三国志」の中の魏志倭人伝に記された「一支国」の王都と特定され、国特別史跡に指定された原の辻遺跡は、弥生時代の大規模な多重濠集落であり、平成3年以降、埋蔵文化財調査が進められており、これら調査とあわせて、史跡の復元整備や長崎県埋蔵文化財センター、壱岐市立一支国博物館の建設を行っている。

【「吉野ヶ里遺跡」の歴史公園整備】
(佐賀県)

弥生時代における「クニ」の中心的な集落の全貌を示し、現存するものとして我が国最大級であり国の特別史跡(22ha)を含む吉野ヶ里遺跡について、遺跡とその周辺の豊かな自然環境を一体的に保存するとともに、広く一般に利用できる空間として整備している。

【「熊本城」城郭全体の復元整備】
(熊本県)

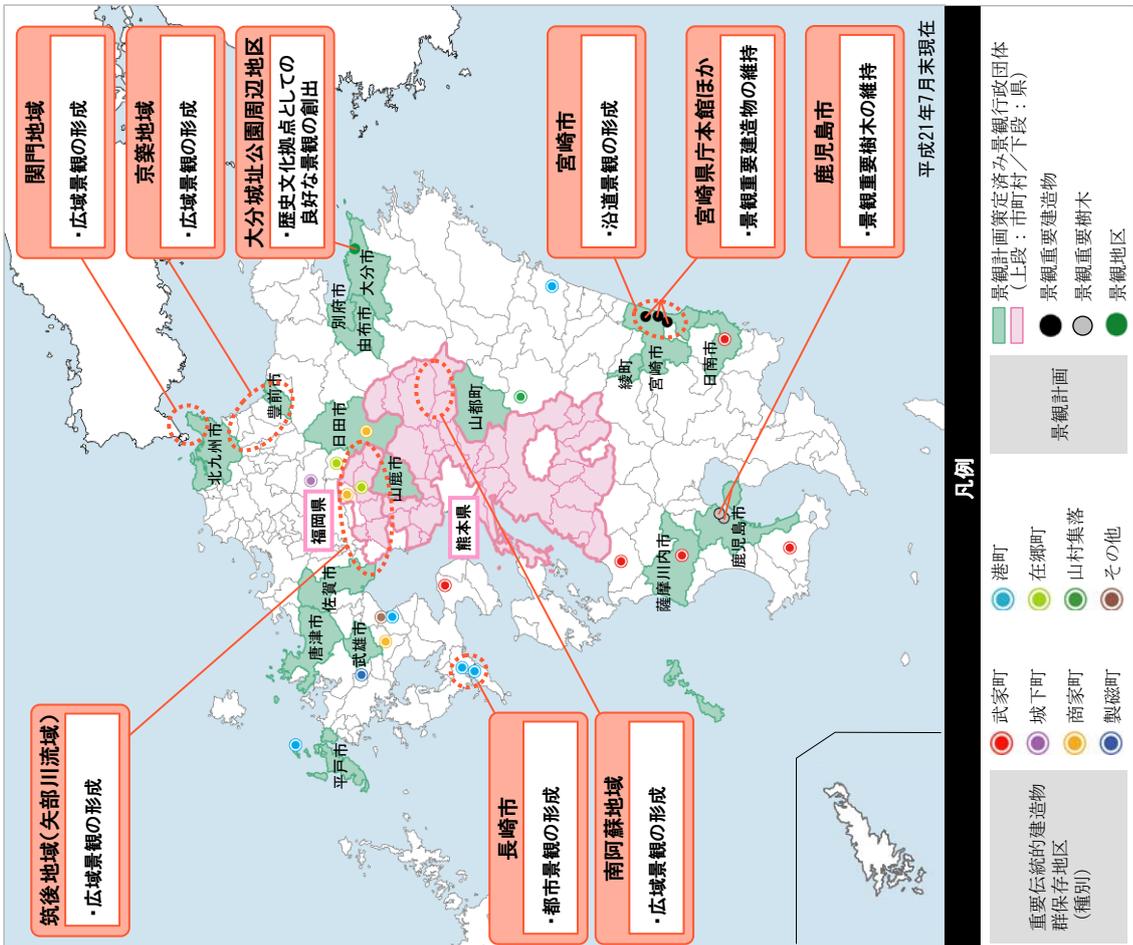
加藤清正が築城した98haの城郭全体を対象に、往時の姿に復元整備することを目指しており、熊本城は絵地図や古文書をはじめとする資料が多く残されているため、この財産を生かし、史実に基づいた歴史的建造物の復元・保存を行うことにより、歴史遺産としての価値をさらに高めている。



恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
(地域への愛着を醸成し、域外との交流促進につながる地域づくり(その3))

・地域への愛着を醸成し、域外との交流促進にもつながる地域づくりの観点から、美しい都市景観や沿道景観の形成を図るとともに、景観計画の策定、まちづくり協定・伝統的建造物群保存地区への指定や歴史的まちなみの保存等を通じて、地域の個性ある景観形成による魅力ある地域づくりを推進する。

<九州圏における地域の個性ある景観形成による魅力ある地域づくり>



【地域の個性ある景観形成による魅力ある地域づくり(事例)】

【広域景観】(南阿蘇地域)

雄大な阿蘇五岳と南外輪山に挟まれた広大な地域において、夏の新緑、秋のススキ、雲海などの南阿蘇独特の景観を維持している。



【景観重要建造物・樹木の維持】(宮崎市・鹿児島市)

宮崎県庁舎は、昭和7年の建築以降、県のランドマークとして市民、県民に親しまれている。外観は重厚な装飾が施され、近世ゴシック様式の特徴があり、宮崎でも数少ない近代建築である。今後も、本館周辺の楠並木通りや前庭の亜熱帯植物と一体となって、宮崎を代表する緑豊かな景観を維持している。



また、鹿児島市南部の谷山地区にある、隣り合うクスノキ、タブノキは、かつて水田に囲まれていたこの辺りの風景に古くから添け込まれた樹木であり、市民に親しまれている景観上重要な樹木である。

【重要伝統的建造物群保存地区】(椎葉村)

椎葉村十根川地区では、主屋とそれに機能的に隣接する馬屋、主屋から離して配置された倉、そして、屋敷および農地を形づくる割り石で積み上げられた石垣などの伝統的建造物群の文化財的価値を維持し、併せて、これと一体となつて歴史的風致を形成する環境を保存し、住民の生活環境の向上を図っている。



【重要伝統的建造物群保存地区】(日向市)

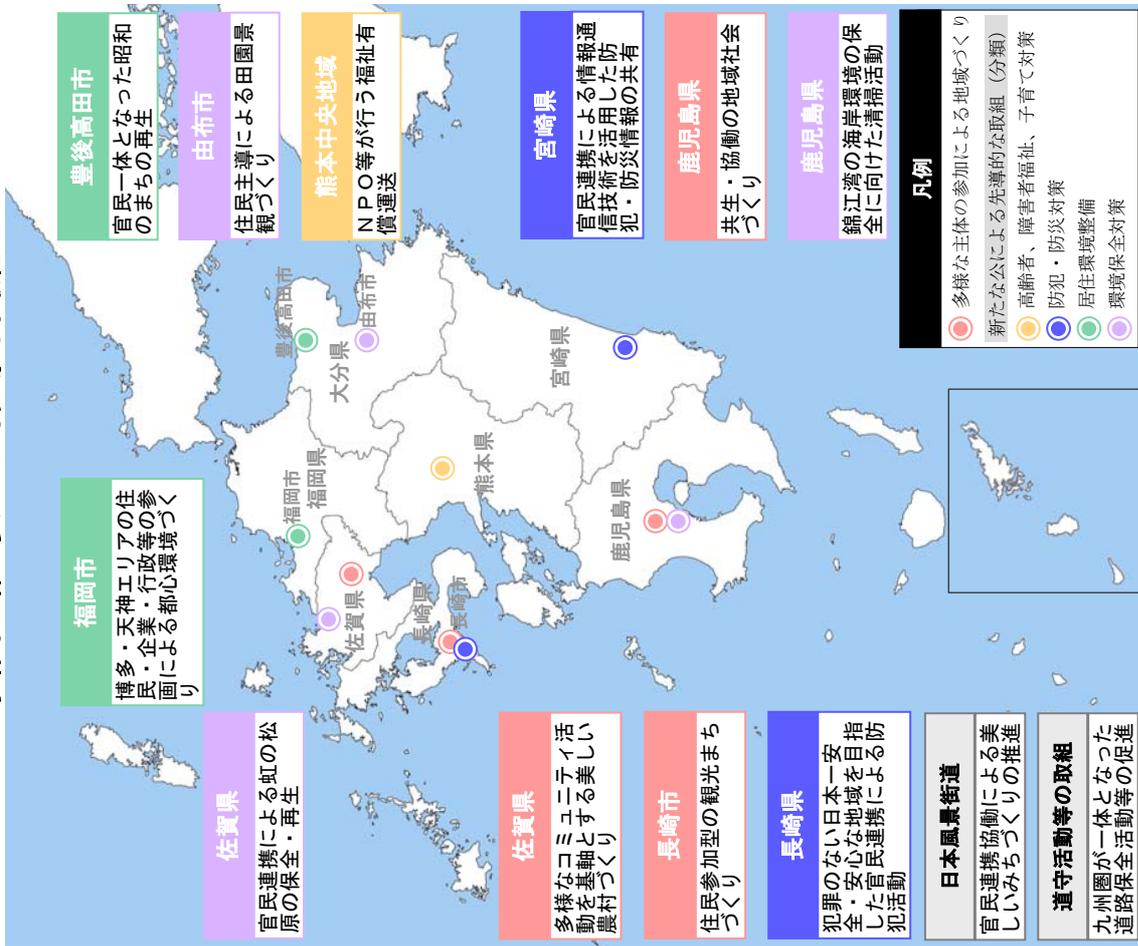
日向市美々津町では、昭和61年に「重要伝統的建造物群保存地区」に認定され、地域住民が中心になり「美々津の歴史的町並みを守る会」「耳川お舟会の会」等の保存会を結成した。これらの保存会や自治会等により、古いまちなみを守っていただくための防災訓練、まちなみを活かした各種イベント等を開催し、美しいまちなみの形成を促進している。



多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成 (多様な主体の参加による先導的な取組の推進)

・個性と魅力のある地域社会を創造するとともに、地域の活性化や地域で顕在化している様々な課題の解決を図るため、地域住民、NPO・ボランティア団体、企業等の多様な主体の参加の下で、地域の創意と工夫に基づき地域づくりや新たな公による取組を広範囲に展開していく。

<多様な主体の参加による先導的な取組>



【多様な主体の参加による先導的な地域づくりの推進(事例)】

【共生・協働の地域社会づくり】(鹿児島県)

鹿児島県では、地域の自治会、ボランティア団体、NPO法人等が、県や市町村と協働で実施する仕組みをつくる事業に対して助成を行っている。



錦江湾の千湯における保安全活動

【住民参加型の観光まちづくり】(長崎市)

長崎市では、平成18年に日本ではじめてのまち歩き博覧会(長崎さるく博)を開催し、住民参加型の観光振興を実施しており、観光客と長崎市民がふれあう新しいスタイルの観光まちづくりを確立を図っている。



長崎さるくによる観光(長崎市)

【新たな公による先導的な取組(防犯・防災対策)の展開(事例)】

【情報通信技術の活用】(宮崎県)

宮崎県では、防犯情報の素早い提供による地域防犯力の強化に向けて、県警とNPOの連携による空き巣や子どもへの不審な声かけ事案などをメールで住民の携帯電話等に提供する取組(わがまちポリス)を推進している。



ごみ拾いを兼ねた防犯パトロール

【身近な国土基盤における多様な担い手の参加・参画の推進(事例)】

【道守活動等の取組】(九州各県)

「道守」と呼ばれる人々・団体が構成される「民」主体の任意団体と行政との協働を基本に、道に関わる様々な活動を通じ、道への関心や愛護の心を育み、道を守り育てる活動の普及を促す取り組みを行っている。



道守「小浜温泉57」による道路美化活動(豊仙市)

